



管理者マニュアル

目次

本マニュアルは3つの章からなっています。

序章では、本システムの構成やログイン方法などの前提事項、

第1章では基本設定について、第2章では日々の運用方法について解説いたします。

序章 「はじめに」 1

1.	本システムの構成	2
2.	推奨ブラウザ	2
3.	ログイン	3
4.	チュートリアル表示.....	3
5.	管理画面の構成	4
6.	クイックスタートガイド	5
7.	オンラインヘルプ	5

第1章 基本設定 6

1.	「設定」概要	7
2.	組織を登録しよう	9
2.1.	「所属設定」	9
2.1.1.	「所属」を登録する	9
2.2.	「タイムレコーダー設定」	11
2.2.1.	タイムレコーダーの2つの分類	11
2.2.2.	画面の説明	12
2.2.3.	編集	13
2.2.4.	タイムレコーダーURL送信.....	14
2.2.5.	証明書の説明	15
2.2.6.	ヘルプ登録.....	16
3.	管理者を登録しよう	18
3.1.	「管理者設定」	18

3.1.1.	「管理者」を登録する	18
3.1.2.	管理者のログイン情報	21
3.1.3.	各種操作.....	22
3.2.	「申請承認フロー設定」	23
3.2.1.	設定方法.....	23
4.	従業員を登録しよう	24
4.1.	「雇用区分設定」	24
4.1.1.	「雇用区分」を登録する	24
4.2.	「従業員設定」	32
4.2.1.	「従業員」を登録する	32
4.2.2.	「従業員」をインポートする	35
4.2.3.	各種操作.....	37
4.2.4.	メール送信.....	38
5.	スケジュール管理のベースを作ろう	41
5.1.	「休暇区分設定」	41
5.1.1.	設定手順.....	42
5.2.	「有給休暇付与機能」を設定する	43
5.2.1.	機能概要.....	43
5.2.2.	「有給休暇付与機能」の設定	46
5.2.3.	自動計算された有休付与を適用する	46
5.3.	「パターン設定」	47
5.3.1.	パターンを作る.....	48
5.3.2.	通常勤務パターンの設定項目	49
5.3.3.	みなし勤務パターンの設定項目.....	51
5.3.4.	全日休暇パターンの設定項目	52
5.4.	「祝日設定」	53
5.4.1.	日本の祝日を登録する	53
5.4.2.	独自の祝日を手動で登録する	53
5.5.	「自動スケジュール設定」	54
5.5.1.	画面の説明.....	54
5.5.2.	設定方法.....	55
5.5.3.	自動スケジュール設定が反映されるタイミング	55
6.	メール通知機能を活用しよう	56
6.1.	「打刻忘れ通知」	56
6.2.	「未申請残業通知」	58
6.3.	「休暇失効通知」	58

7. カスタマイズ機能を活用しよう	59
7.1. 「カスタムデータ項目設定」	59
7.1.1. 「カスタム項目」を登録する	59
7.1.2. 「カスタム項目」を確認する	61
7.1.3. 「カスタム項目」をエクスポートする	63
7.1.4. 「カスタム項目」の並び替え	63
7.2. 「補助項目設定」	64
7.2.1. 「補助項目」を登録する	64
7.2.2. 「補助項目」を編集する	65
7.2.3. 「補助項目」を確認する	66
8. オプション機能を活用しよう	67
8.1. 「オプション」	67
9. 運用を開始しよう	73
9.1. タイムレコーダーを設定する	73
9.2. 従業員画面へログインする	73

第 2 章 運用方法 **74**

1. 「全メニュー」概要	75
2. 勤務データを確認したい	77
2.1. 日別データを確認する	77
2.1.1. 画面の説明	77
2.1.2. 各種操作	79
2.2. 月別データを確認する	80
2.2.1. 画面の説明	80
2.2.2. 各種操作	81
2.3. タイムカードを確認する	82
2.3.1. 画面の説明	82
2.3.2. 各種操作	83
2.4. 年別データを確認する	84
2.4.1. 画面の説明	84
2.4.2. 各種操作	84
2.5. 組織別データを確認する	85

2.5.1.	画面の説明.....	85
2.5.2.	各種操作.....	85
3.	勤務データを修正したい.....	86
3.1.	勤務データを編集する.....	86
3.1.1.	画面の説明.....	86
3.1.2.	各種操作.....	89
3.2.	エラー勤務をチェックする.....	90
3.2.1.	修正方法.....	91
3.3.	在職外勤務をチェックする.....	92
3.3.1.	修正方法.....	93
4.	勤務データを確定したい.....	94
4.1.	締め処理を行なう.....	94
4.2.	締め処理を行なえるアカウント.....	94
4.3.	締め状況をチェックする.....	95
4.3.1.	画面の説明.....	95
5.	申請を承認したい.....	96
5.1.	申請をチェックする.....	96
5.1.1.	画面の説明.....	96
5.2.	申請を承認する.....	97
6.	スケジュールを管理したい.....	98
6.1.1.	スケジュールを登録する方法.....	98
6.2.	スケジュールを登録する.....	99
6.2.1.	画面の説明.....	99
6.2.2.	各種操作.....	100
6.2.3.	スケジュールを登録する.....	101
6.2.4.	一人ずつスケジュールを登録する.....	102
6.2.5.	日別にスケジュールを登録する.....	103
7.	休暇を管理したい.....	105
7.1.	休暇を取得する.....	105
7.1.1.	全日休暇を取得する.....	105
7.1.2.	半日休暇を取得する.....	105
7.2.	休暇の取得数や残数を確認する.....	106

7.2.1.	画面の説明.....	106
7.2.2.	各種操作.....	108
7.3.	従業員ごとに休暇を付与する	109
7.3.1.	画面の説明.....	109
7.3.2.	休暇を付与する.....	110
7.4.	複数の従業員に一括付与する	111
7.5.	休暇残数を CSV インポートする	111
7.6.	月々の休暇取得数を確認する	111
7.7.	自動計算された有休付与を適用する	112
7.7.1.	操作方法.....	112
7.7.2.	項目の説明.....	113
8.	データをエクスポートしたい	114
8.1.	エクスポートメニューについて	114
8.1.1.	画面の説明.....	114
8.2.	出力レイアウトを作成する	115
8.2.1.	カスタム項目を作成する	116
8.3.	エクスポートする	118
8.3.1.	出力対象期間について	119
9.	勤怠項目の定義	120

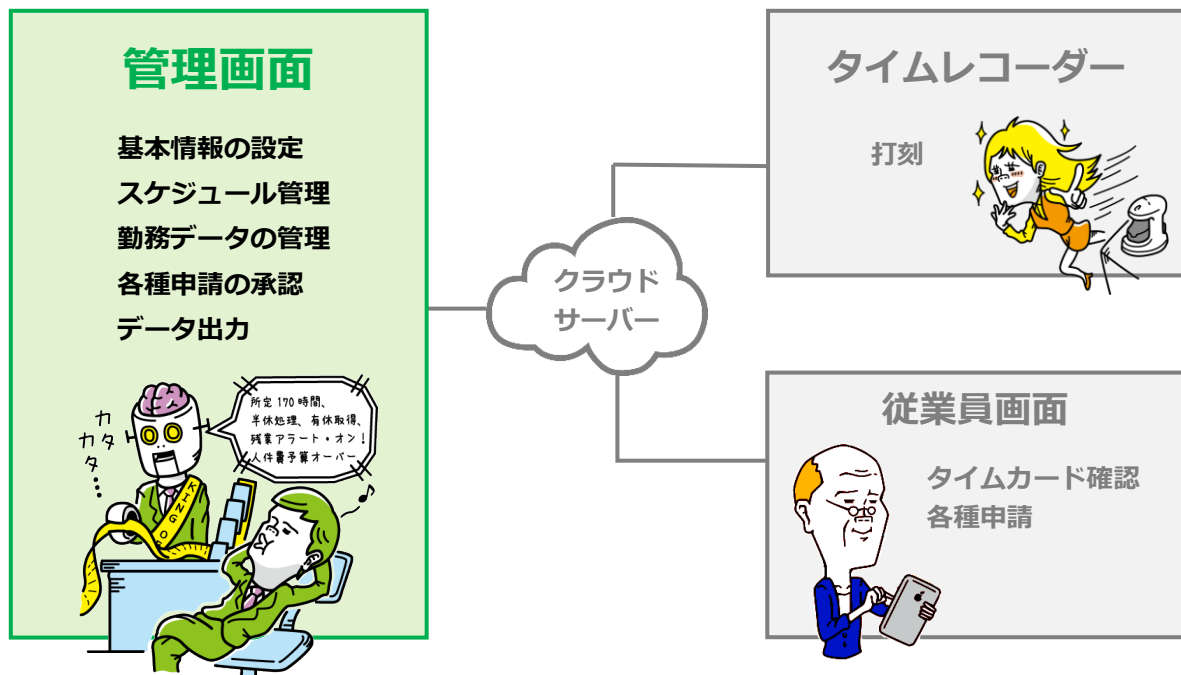
序章 「はじめに」

本システムの構成や推奨ブラウザ、
ログイン方法などの前提事項をご案内いたします。

1. 本システムの構成

勤怠管理システム「KING OF TIME」は、3つの画面で構成されています。

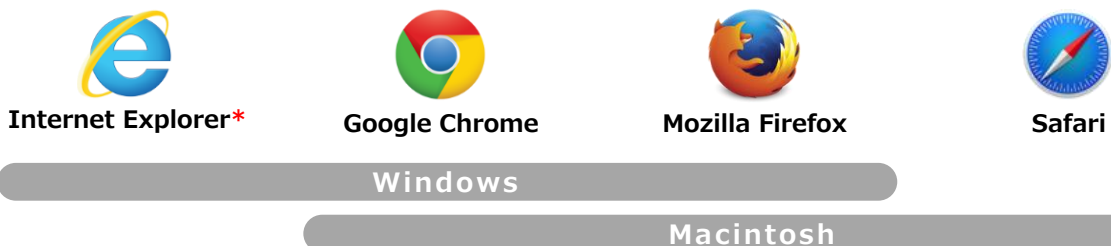
「管理画面」では、基本設定を行なう他、打刻データや集計情報などの管理を行ないます。
 「タイムレコーダー」では、打刻を行ないます。いくつかのタイプからお選びいただけます。
 「従業員画面」では、従業員が自身のタイムカードを確認することができます。



この「管理者マニュアル」では、「管理画面」での設定方法についてご案内いたします。
 ご案内の内容には、全権管理者でのみ操作可能な項目が含まれます。
 対象項目が表示されない、あるいは操作が行えない場合は、管理者権限をご確認ください。

2. 推奨ブラウザ

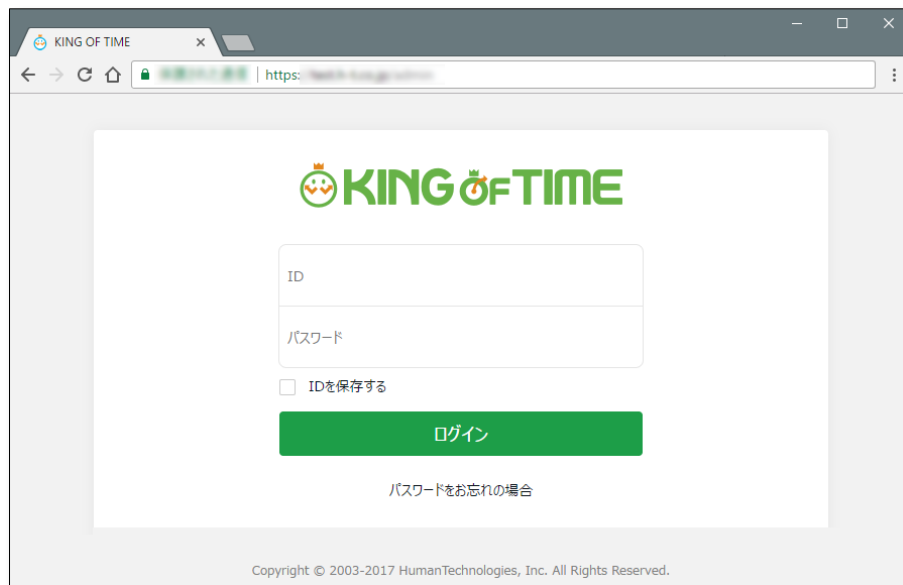
管理画面の推奨ブラウザは以下の通りです。各 OS に対応する最新バージョンをご利用ください。



*Internet Explorer は描画速度の関係上、表示方法を一部変更しています。

3. ログイン

本システムのログイン URL にアクセスすると、以下の画面が現れます。
 貴社に通知されたログイン ID とパスワードを入力し、ログインしてください。



ログイン URL はブックマーク登録しておくことをお勧めいたします。

4. チュートリアル表示

初めてログインするときは「管理画面の構成」についての簡単な説明画面が表示されます。
 この表示は枠外をクリックするとスキップできます。一度最後まで確認すると表示されなくなりますが、ブラウザキャッシュの削除などで再表示されることがあります。



5. 管理画面の構成

ログイン後の「ホーム画面」からスタートします。



1	よく使うメニュー	主なメニューへのショートカットが表示されます。
2	全メニュー	勤務データやスケジュールを確認します。
3	オンラインヘルプ	よくある質問をまとめた FAQ サイトに移動します。
4	対応が必要な処理	エラー勤務や従業員からの申請がある場合はこちらに表示されます。
5	設定	基本データの登録や編集を行ないます。

6. クイックスタートガイド

お急ぎの方は、「クイックスタートガイド」にて最短設定を解説しておりますのでご参照くださいませ。

クイックスタートガイド

http://kotsp.info/manualfiles/kot_quickstart.pdf

7. オンラインヘルプ

本製品の仕様解説、高度な設定方法をFAQサイト【オンラインヘルプ】にまとめておりますのでご活用ください。

オンラインヘルプ

<https://help.kingtime.jp/h-t/web/Search.aspx>



第1章 基本設定

第1章では、基本設定についてご案内いたします。

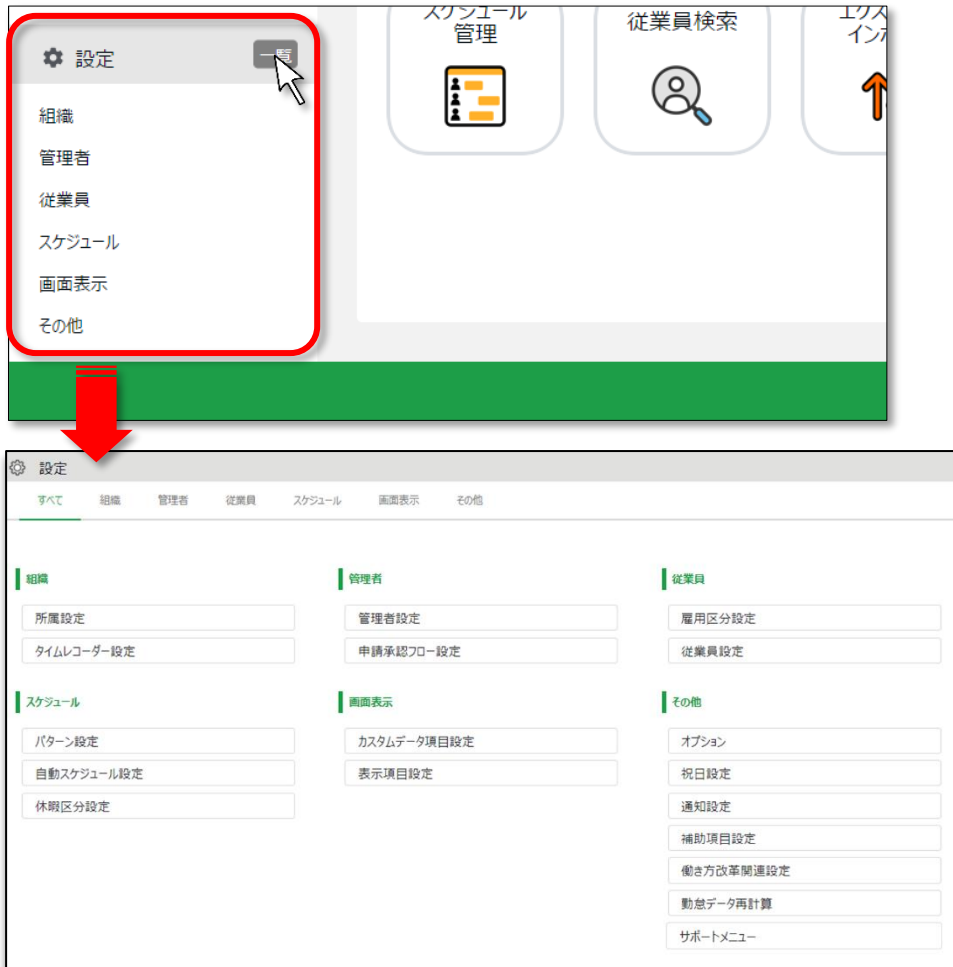
組織や従業員データの登録、管理フローの設定、スケジュール管理のベース作り等々について解説いたします。



オレ達! カイゼン戦隊!!

1. 「設定」 概要

基本設定は、ログイン後のホーム画面の左列にある「 設定」から行ないます。
6つのカテゴリに分かれています。[一覧]のクリックで、全てのカテゴリを表示します。



各設定画面について解説します。

組織

所属設定	従業員の管理単位である「所属」を設定します。	p.9
タイムレコーダー設定	タイムレコーダーのセットアップ情報を確認します。 また、表示や動作の設定変更を行ないます。	p.11

管理者

管理者設定	管理者を作成します。	p.18
申請承認フロー設定	打刻申請やスケジュール申請などに対する承認フローを設定します。	p.23

従業員

雇用区分設定	正社員、アルバイトなどの雇用形態を登録します。 集計ルールの登録はここで行ないます。	p.24
従業員設定	名前、所属、入社年月日などの従業員データを登録します。	p.32

スケジュール

パターン設定	スケジュールパターンを作成します。	p.47
自動スケジュール設定	スケジュールの自動登録設定を行ないます。	p.54
休暇区分設定	管理する休暇を登録します。 「特別休暇」や「産休」など、独自の休暇設定が可能です。	p.41

画面表示

カスタムデータ項目設定	タイムカードに表示させる勤怠項目をカスタマイズし、 任意の項目を作成することができます。	P.59
表示項目設定	タイムカードに表示させる勤怠項目を設定します。 不要な項目は非表示に切り替えることができます。	-

その他

オプション	オプション機能の ON・OFF を切り替えます。	p.67
祝日設定	日本の暦上の祝日や、企業独自の祝日を登録します。	p.53
通知設定	打刻を忘れた際のメール通知設定などが可能です。	p.56
補助項目設定	交通費や手当などの申請項目を設定することができます。	P.64
働き方改革関連設定	働き方改革に関連した項目を設定することができます。 詳細については、働き方改革マニュアル (P.11～) をご参照ください。 https://kotsp.info/manualfiles/kot_work_style_reform_manual.pdf	-
勤怠データ再計算	勤怠データを再計算します。 集計に影響する基本設定 (雇用区分設定やパターン設定など) を 変更後、変更内容を過去の集計済み勤怠にも適用したいときは 「勤怠データ再計算」を行なってください。	-
サポートメニュー	サポートセンターのオペレーターがログインするための操作を行ない ます。	-

2. 組織を登録しよう

組織の構成に関する設定を解説します。タイムレコーダー設定もこちらに分類されます。

- ・「所属設定」
- ・「タイムレコーダー設定」

2.1. 「所属設定」

設定 > 組織 > 所属設定

従業員の管理単位である「所属」を設定します。

基本的にはタイムレコーダーの設置単位（店舗や事務所などの拠点）で作成します。

ただし申請承認機能をご利用いただく場合、申請承認フローを所属毎に設定しますので、同じ拠点内でも、フローが異なる場合は所属を分けていただくことをお勧めいたします。

2.1.1. 「所属」を登録する

1. 設定 > 組織 > 所属設定を開きます。
2. [新規登録] または [編集] ボタンをクリックして登録画面を開いてください。

表示条件の指定
 表示件数などを指定します。
 [表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

新規登録
 新しい所属を登録します。

Excel 出力
 表示されたデータを Excel 出力します。

所属設定

表示条件の指定
 表示件数: 100件 ▼

表示

+ 新規登録

Excel出力

No.	所属コード	所属名	編集	削除	日付 変更時間
1	1000	本社			00:00より後を当日とする
2	2000	札幌事業所			00:00より後を当日とする
3	3000	名古屋事業所			00:00より後を当日とする
4	4000	大阪事業所			00:00より後を当日とする
5	5000	福岡事業所			00:00より後を当日とする

操作ボタン

編集	所属データを編集します。
削除	所属データを削除します。

3. 登録画面にて情報を入力したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

登録

変更内容を登録して
前画面に戻ります。

別名で登録

設定を複製して新しい所属を作成します。
重複したコード・名称では登録できません。

⚙️ 所属登録

登録
別名で登録

基本情報

所属コード(必須):

所属名(必須):

日付変更時間: 時 分

設定項目を以下に解説します。

所属コード	所属を識別するコードを登録します。3～10 文字の半角英数字でご入力ください。重複したコードは登録できません。
所属名	所属の名称を登録します。50 文字以内でご入力ください。重複した名称は登録できません。
日付変更時間	この時刻より前の「出勤打刻」は、前日の打刻として扱われます。「退勤打刻」「休憩開始/終了打刻」は、原則として直前の出勤打刻と同じ日に記録します。ただし 48 時間以内の出勤打刻が見つからないときは日付変更時間を考慮して打刻日を決定します。
表示言語	タイムレコーダーの表示言語を変更します。日本語、英語から選択できます。



アカウント発行時に、サンプルデータ「本社」をご用意しておりますのでご活用ください。

2.2.「タイムレコーダー設定」

タイムレコーダーに関する事前設定を行ないます。

2.2.1. タイムレコーダーの2つの分類

本システムをご利用いただけるタイムレコーダーには「個人用タイムレコーダー」と「所属用タイムレコーダー」があります。



個人用タイムレコーダー

個人のモバイル端末や PC で打刻するレコーダーです。

タイムレコーダーの名称	打刻方法	詳細
My レコーダー	ブラウザでのクリック認証	スマートフォンや PC のブラウザでタイムレコーダー画面にログインします。
携帯ブラウザレコーダー	ブラウザでのクリック認証	携帯電話（ガラケー）のブラウザで固有のタイムレコーダー URL にアクセスします。 ・スマートフォンブラウザでの表示も可能です。 ・PC ブラウザでは開けません。

所属用タイムレコーダー

1 つのタイムレコーダーを共用するレコーダーです。共用スペース（入り口など）に設置して使用します。



タイムレコーダーの名称	打刻方法	詳細
Windows デスクトップ版タイムレコーダー	生体認証 (指紋・指静脈認証)	アプリケーションをインストールした PC に生体認証リーダーを接続し、指をかざして打刻します。
	IC 認証	アプリケーションをインストールした PC に IC カードリーダーを接続し、IC カードをかざして打刻します。
	パスワード認証	アプリケーションをインストールした PC にパスワードを入力して打刻します。
iPad 版タイムレコーダー	カメレオンコード認証・顔認証	iPad アプリで、顔情報やカラーコードを撮影して打刻します。
クラウドレコーダー	ブラウザでのクリック認証	WEB ブラウザでタイムレコーダー URL にアクセスし、パスワードを入力して打刻します。
ピットタッチ・シリーズ	打刻専用機 (IC 認証)	打刻専用の端末で打刻します。
BT-2000 (ビーティ ニセン)	打刻専用機 (IC 認証・生体認証)	打刻専用の端末で打刻します。 生体認証には指ハイブリッド認証を使用します。

2.2.2. 画面の説明

設定 > 組織 > タイムレコーダー設定

タイムレコーダー設定画面では、タイムレコーダーの動作設定や、所属用タイムレコーダーのセットアップ情報確認等を行ないます。

タイムレコーダー設定

表示条件の指定
 表示件数: 100件 ▼

表示

Excel出力

基本タイムレコーダー設定

No.	企業コード	企業名
1	1000	株式会社

所属別タイムレコーダー設定

No.	所屬コード	所屬名	編集	その他	タイムレコーダーID	認証デバイス
1	1000	本社			XXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
2	2000	札幌事業所			XXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
3	3000	名古屋事業所			XXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
4	4000	大阪事業所			XXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
5	5000	福岡事業所			XXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う

編集

所属用タイムレコーダーの種類を選びます。
 また、タイムレコーダーの動作や表示について設定します。
 企業全体に対する設定は、基本タイムレコーダー設定 > [編集] を、所属ごとに対する設定は、所属別タイムレコーダー設定 > 各所属の [編集] をクリックします。

その他


[三] ボタンをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。

タイムレコーダー URL 送信	所属用タイムレコーダーのセットアップ情報を確認します。 タイムレコーダータイプ毎のマニュアルをダウンロードできます。
ヘルプ登録	所属に属する従業員以外の打刻を、事前に許可します。

12

第 1 章 基本設定

2.2.3. 編集

 設定 > 組織 > タイムレコーダー設定

タイムレコーダーの動作や表示について設定できます。
また、利用する所属用タイムレコーダーの種類を選びます。

所属用タイムレコーダーの場合

主な項目を以下に解説します。認証デバイスによって表示される項目が異なりますので、詳しくはそれぞれのタイムレコーダーマニュアルをご参照ください。
タイムレコーダーマニュアルは次頁を参考にダウンロードしてください。

認証デバイス	所属用タイムレコーダーの種類を設定します（IC 認証、指紋認証等）。 タイムレコーダー設定の [タイムレコーダーURL 送信] には、 ここで設定した認証デバイス用のマニュアルやセットアップ情報が 表示されます。
打刻ボタン設定	打刻ボタンの表示／非表示や、動作を設定できます。
タイムカード ボタンを表示	タイムレコーダーに [タイムカード] ボタンを表示するかどうかを 選択します。タイムカードからは勤務データの確認や、各種申請を することができます。
ヘルプ登録 ボタンを表示	タイムレコーダーのメニューに「ヘルプ登録」を表示するかどうかを 選択します。ヘルプ登録を行なうと、他所属従業員も打刻できるよう になります。

個人用タイムレコーダーの場合

「My レコーダー」、「携帯ブラウザレコーダー」の動作について設定します。

位置情報取得モード	打刻の際に位置情報を取得するかどうかを設定します。 「位置情報が取得できない場合には打刻不可能」にチェックを入 れた場合、位置情報を取得していないブラウザでは打刻できな くなります。 ※送信される位置情報の精度は、端末側の測位レベルにより異なります。 ※「打刻時に位置情報を取得する」にした場合、 GPS 非対応の端末では正常に動作しない恐れがあります。
携帯ブラウザ打刻 ログイン時のパスワード入力	携帯ブラウザレコーダー画面を表示する際に、 パスワード入力を行なうかどうかを設定します。
My レコーダー パスワード必須機能	My レコーダーから打刻・タイムカード表示を行なう際に、 パスワード入力を行なうかどうかを設定します。

2.2.4. タイムレコーダーURL 送信

設定 > 組織 > タイムレコーダー設定

所属用タイムレコーダーのセットアップ情報を確認します。

1. タイムレコーダーを設置する所属の「タイムレコーダーURL 送信」をクリックします。

所属別タイムレコーダー設定						
No.	所属コード	所属名	編集	その他	タイムレコーダーID	認証デバイス
1	1000	本社			XXXXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
2	2000	札幌事業所			XXXXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
3	3000	名古屋事業所			XXXXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
4	4000	大阪事業所			XXXXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う
5	5000	福岡事業所			XXXXXXXXXXXX	基本タイムレコーダー設定に従う

2. 送信先メールアドレスを入力して、[メール送信] をクリックします。

タイムレコーダーURL () 送信

[証明書表示](#)

メール内容を編集

送信先メールアドレスを入力

【ステップ1】- タイムレコーダーアクション ダウンロードURL
https://

【ステップ2】- 所属[本社] 指定文字列
ZGV2aWNIX3R

【ステップ3】- 所属[本社] 証明書表示URL
https://

※上記のURLは有効期限は[2018/02/14:5: (日本時間)]です。有効期限を過ぎると接続できなくなります。

※URLが改行されてしまう場合は、1行に隣りからアドレス等に入力してください。

※このURLは送信専用であり、このURLを通じてお問い合わせはできません。

メール送信

3. 上記で入力したメールアドレス宛に、タイムレコーダーのセットアップ情報が送信されます。メール本文に、タイムレコーダーマニュアルのリンクが記載されておりますので、マニュアルに従ってタイムレコーダーをセットアップしてください。



メールの送信元は「no_reply@kingtime.jp」となります。
証明書表示 URL は「タイムレコーダーURL 送信」画面表示後、48 時間以内のみアクセスすることができます。URL を送信するタイミングにご注意ください。

個人用タイムレコーダーのタイムレコーダーURL は、
設定 > 従業員 > 従業員設定より確認いただけます ([p.38](#)) 。

2.2.5. 証明書の説明

 設定 > 組織 > タイムレコーダー設定

デスクトップ版タイムレコーダーには「証明書」という概念があります。「証明書」とは、タイムレコーダーからサーバーへの接続を行なう際に、ユーザー企業、所属を証明するために改ざんできない文字列のことを指します。サーバーで受け取った証明書が不正な場合はアクセスが拒否され、タイムレコーダーが起動できません。

タイムレコーダーのセキュリティを強化するために、証明書の更新を行なうことができます。定期的な更新を行なうことで、悪意のある第三者がタイムレコーダーを動作させることを未然に防ぐことができます。

1. 証明書の更新を行ないたい所属の「タイムレコーダーURL 送信」をクリックします。
2. 「証明書表示」ボタンをクリックします。



3. 注意事項の全てをご確認いただき、チェックすることで「新しい証明書に更新」ボタンがクリックできるようになりますので、更新してください。

証明書の更新を行う場合は以下の項目にチェックし、問題がないか確認してください。

- 現在ご利用中のタイムレコーダーを起動することができなくなります。
- タイムレコーダーから打刻を行うことができなくなります。
- タイムレコーダーからタイムカードを開くことができなくなります。
- 未送信打刻が存在する場合、PCに保存されている打刻が送信できなくなります。
- 証明書を更新して本当によろしいですか？

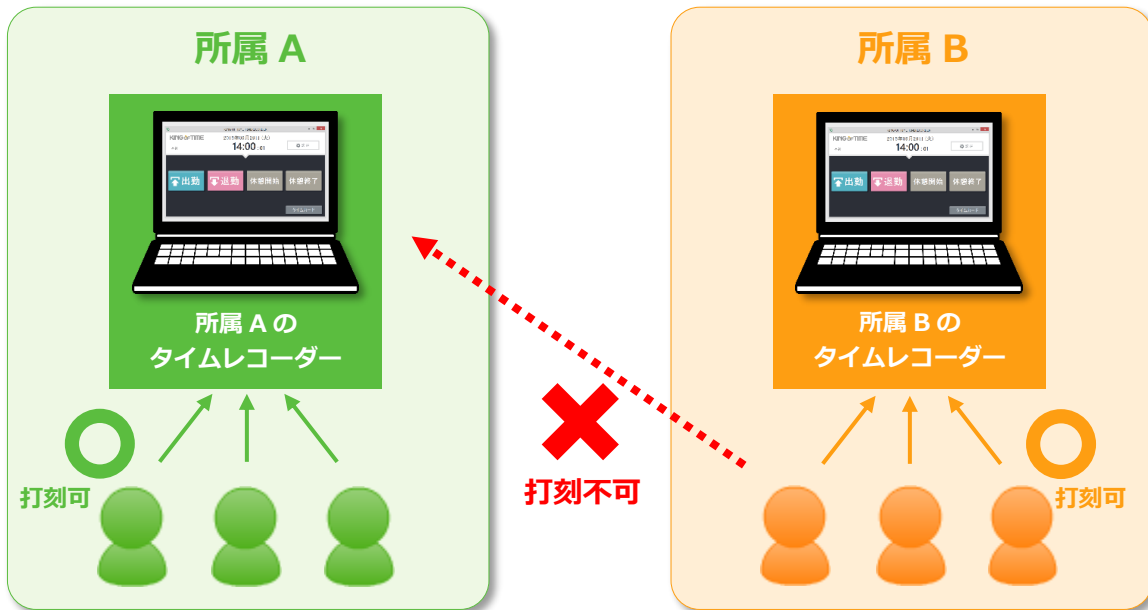


証明書の更新後は、対象所属のタイムレコーダー起動時に証明書を要求する画面が表示されます。「タイムレコーダーURL 送信」から新しい証明書の通知を行ないタイムレコーダーの証明書入力欄に文字列を貼り付けて保存してください。

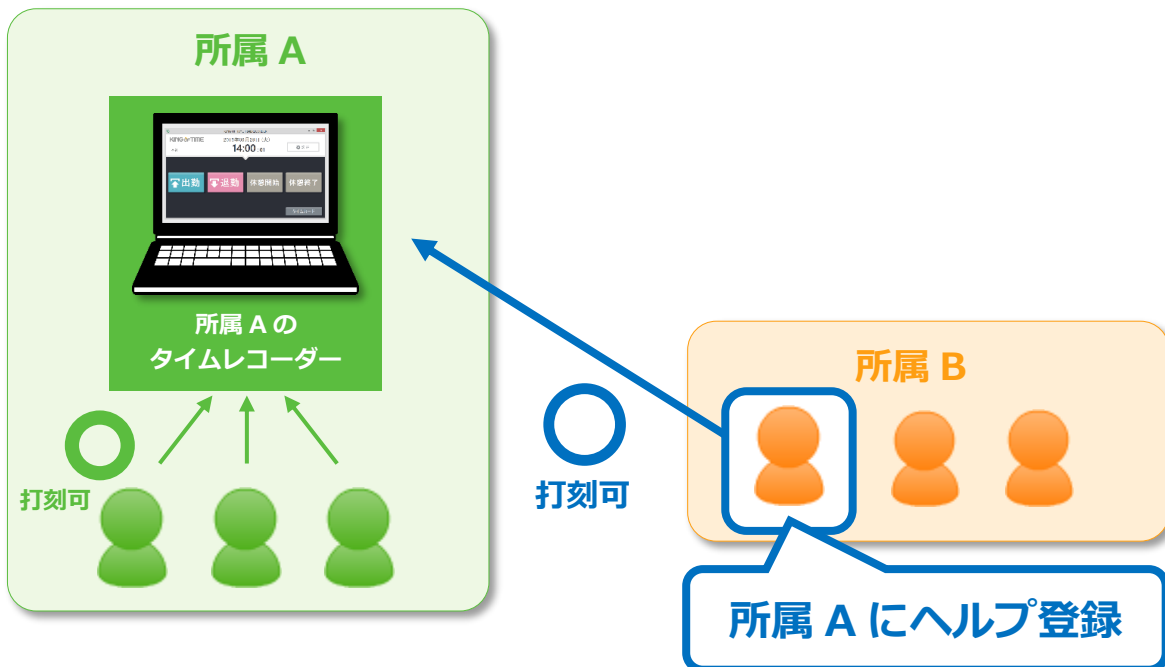
2.2.6. ヘルプ登録

⚙️ 設定 > 組織 > タイムレコーダー設定

「所属用タイムレコーダー」は基本的に所属単位で設置します。初期状態ではタイムレコーダーを設定した所属以外の所属に属する従業員の打刻は受け付けないように制御されています。



異なる所属にヘルプ出勤するとき、
あるいは、複数の所属を1台のタイムレコーダーで管理したいときは、
「ヘルプ登録」を行なうことで、打刻を受け付けるようになります。



ヘルプ登録はタイムレコーダーの「ヘルプ登録」ボタンから、従業員自身で行なうこともできますが、この操作によるヘルプ登録はタイムレコーダー画面を終了するとリセットされます。常に自所属以外のタイムレコーダーで打刻する場合は、管理画面でのヘルプ登録を行なうことをお勧めします。管理画面でのヘルプ登録手順を次頁で解説します。

管理画面でのヘルプ登録手順

1. タイムレコーダーを設置する所属の「ヘルプ登録」をクリックします。

所属別タイムレコーダー設定						
No.	所属コード	所属名	編集	その他	タイムレコーダーID	認証デバイス
1	1000	本社			1000002021	基本タイムレコーダー設定に従う
2	2000	札幌事業所			タイムレコーダーURL送信	基本タイムレコーダー設定に従う
3	3000	名古屋事業所			ヘルプ登録	基本タイムレコーダー設定に従う
4	4000	大阪事業所			1000002024	基本タイムレコーダー設定に従う
5	5000	福岡事業所			1000002025	基本タイムレコーダー設定に従う

2. 次の画面で、[追加登録] ボタンをクリックします。

3. ヘルプ登録する従業員を選択して [登録] ボタンをクリックしてください。

本社で打刻可能な従業員選択

本社で打刻可能な従業員を選択してください。

表示条件の指定

従業員: 4000 大阪事業所 全ての雇用区分 表示

所属従業員

登録	自所属として扱う	所属	雇用区分	従業員コード	名前
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪事業所	正社員	4001	大阪 一
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大阪事業所	正社員	4002	大阪 二

登録

登録	対象者はその所属のタイムレコーダーで打刻をすることができ、ヘルプ勤務として扱われます。
自所属として扱う	対象者はそのタイムレコーダーで打刻できるようになり、かつ、自所属で打刻をした扱いとなります。打刻所属の特定は行なえなくなります。



設定 > 従業員 > 従業員設定 > 各従業員の編集画面 > 「タイムレコーダー情報」カテゴリ > 「打刻可能所属」でも同様の設定を行なうことができます。

3. 管理者を登録しよう

管理者の登録や、誰が申請を承認するかのフローを組むなど、権限に関する設定を解説します。

- 「管理者設定」
- 「申請承認フロー設定」

3.1. 「管理者設定」

 [設定](#) > [管理者](#) > [管理者設定](#)

管理者アカウントは複数作成できます。すべての作業を行なえる「全権管理者」と、限定された権限の中で編集・登録などが行なえる「一般管理者」があります。

3.1.1. 「管理者」を登録する

管理者の名前やメールアドレス等の基本情報の他、そのアカウントの操作権限を設定します。

1. [設定](#) > [管理者](#) > [管理者設定](#)を開きます。
2. [新規登録] または [編集] ボタンをクリックして登録画面を開いてください。



新規登録
管理者を新規登録します。

+ 新規登録 Excel出力

全権管理者

No.	管理者コード	管理者名	編集	その他	ログインID	メールアドレス	表示言語	パスワード最終更新日時
1	admin	全権管理者			u01admin	admin@k-o-t.com.jp	日本語	

一般管理者

No.	管理者コード	管理者名	編集	削除	その他	ログインID	メールアドレス	表示言語	パスワード最終更新日時
1	1000	管理 太郎				u011000	tan@sample.jp	オプションの設定に従う	2017/05/18 11:13
2	2000	管理 二郎				u012000	tan@sample.jp	オプションの設定に従う	2016/09/28 17:18
3	3000	管理 花子				u013000	tan@sample.jp	オプションの設定に従う	2016/09/28 17:18

編集
管理者データを編集します。

※その他の操作ボタンについては [p.22](#) にて解説します。

3. 情報を入力したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。
設定項目を以下に解説します。

基本情報

管理者の基本情報を入力します。

管理者コード	管理者を識別するコードを登録します。3～10文字の半角英数字で ご入力ください。重複したコードは登録できません。 このコードは、ログインに使用するログインIDの一部となります。
管理者名	管理者の名称を登録します。30文字以内でご入力ください。
ログイン パスワード	ログインに使用するパスワードを登録します。6～35文字でご入力ください。 パスワードポリシーは設定 > その他 > オプションで変更できます。 ※設定したパスワードを確認することはできませんのでご注意ください。 パスワードを忘れた場合は、全権管理者がパスワード変更またはパスワードリセットを 行なってください。
メールアドレス	管理者のメールアドレスは、主に以下の目的で使用します。 ・従業員から申請が行なわれた際の通知 ・パスワードリセット時の通知
表示言語	日本語、英語から選択可能です。
管理者権限	チェックを入れると、全権管理者となります。 ※本チェックはアカウント発行時の全権管理者（管理者IDが〇〇〇1admin）のみ 選択が可能です。



全権管理者が可能な操作

- ・ 管理者アカウントの作成・編集
- ・ 管理者アカウント、従業員アカウントへの代理ログイン
- ・ 申請承認フロー設定
- ・ 表示項目設定
- ・ 請求書出力（代理店とご契約のお客様は除く）

全権管理者



・なんでもOK

一般管理者



・シフト制作 ・勤怠データ観覧 ・勤怠データ編集

アカウント発行時の全権管理者（管理者IDが〇〇〇1admin）が可能な操作

- ・ 上記全権管理者が可能な操作全て
- ・ 一般管理者の全権管理者への昇格
- ・ 住所等の企業情報の編集（代理店とご契約のお客様は除く）

基本設定権限

基本設定を行なう権限を設定します。

権限のレベルは以下の3段階となります。

- **閲覧・編集**…………… 設定内容の閲覧と設定変更が可能です。
- △ **閲覧のみ**…………… 設定内容の閲覧のみが可能です。
- × **権限なし**…………… 該当項目は表示されません。

オプション	設定 > その他 > オプション にて、オプション機能の仕様有無を設定できるようになります。この権限が「○閲覧・編集」のときに、全メニュー > インポート / エクスポート での出力レイアウト作成が可能です (対象:月別データ、日別データ、タイムカードデータ)。
所属/タイムレコーダー設定	設定 > 組織 > 所属設定・タイムレコーダー設定に対する権限を設定します。新所属登録や更新、タイムレコーダーURL 確認を行なう場合に必要です。
雇用区分設定	設定 > 従業員 > 雇用区分設定に対する権限を設定します。各雇用形態や集計ルールの登録・更新を行なう場合に必要です。
パターン設定	設定 > スケジュール > [パターン設定] に対する権限を設定します。勤務スケジュールのパターンを登録・更新する場合に必要です。
ログインパスワードの変更権限	設定 > 管理者 > 管理者設定 から自分の管理者ログインパスワードを変更できる権限を設定します。

所属管理権限・雇用区分管理権限

「所属管理権限」と「雇用区分管理権限」の組み合わせによって、各操作の権限レベルと、操作を許可する範囲を設定します。

- まずは、「所属管理権限」にて各操作の権限を選択します。
 - 「全ての所属」の行で設定すると全所属に対する権限が付与されます。
 - [--権限を追加する所属を選択してください--] という項目で所属を選択し、該当の行で設定すると一部の所属のみに対する権限が付与されます。

所属管理権限

※ 「従業員設定」の権限が「× 権限なし」の場合、「従業員単価」も「× 権限なし」になります
 ※ 「実績・打刻」の権限が「× 権限なし」の場合、「締め」・「勤怠データ再計算」も「× 権限なし」になります

(ア) 全ての所属	従業員設定	× 権限なし	スケジュール管理	× 権限なし	実績・打刻	× 権
(イ) 本社	従業員設定	△ 閲覧のみ	スケジュール管理	○ 閲覧・編集	実績・打刻	△ 閲

- 次に、「雇用区分管理権限」でも各操作の権限を選択します。所属と同じように「全ての雇用区分」または一部の雇用区分に対して権限を設定します。
- 上記設定を組み合わせると権限の範囲が決定します。より**権限レベルの低い方**を適用します。

権限レベルは以下の4段階となります。

- **閲覧・編集**…………… 閲覧、新規登録や変更が可能です。
 - **閲覧・申請**…………… 上位管理者に申請を行なうことで新規登録や変更を行ないます。
 - △ **閲覧のみ**…………… 閲覧のみ可能です。
 - × **権限なし**…………… 該当メニューは表示されません。
- ※ [-上位に従う] とした場合は「全ての所属」または「全ての雇用区分」の権限に従います。

各設定項目については以下の通りです。

従業員設定	従業員データの登録や変更に関する権限を設定します。 この権限が「○閲覧・編集」であるときに、従業員設定画面からメール送信操作を行なうことができます。
スケジュール管理	スケジュール編集に関する権限を設定します。 スケジュール登録を行なうには「○閲覧・編集」権限が必要です。
実績・打刻	打刻データに関する権限を設定します。 打刻の修正や削除を行なうには「○閲覧・編集」権限が必要です。
データ出力	全メニュー > エクスポート / インポート での各種出力や、各画面からの Excel 出力に関する権限を設定します。
締め	勤務データの締め処理に関する権限を設定します。 締め処理の行なわれた勤務データは、従業員からの申請や、一般管理者の編集ができません。例外として、全権管理者のみ編集が可能です。
勤怠データ再計算	勤怠データ再計算に関する権限を設定します。集計値に関わる設定変更を行なった際に、過去の勤怠データの集計値にも変更を適用する作業です。

3.1.2. 管理者のログイン情報

管理者アカウントを作成すると、その管理者アカウントでログインできるようになります。
以下のログイン情報を管理者アカウントの使用者に伝えてください。

ログイン情報

ログイン URL	全権管理者のログイン URL と同一です。
ログイン ID	自動的に生成されます。企業コード + 1 + 管理者コードとなります (例: xyz11000)。管理者設定画面にてご確認ください。
ログインパスワード	ログインパスワードは、管理者を作成するときに設定します。 ログインパスワードがわからなくなったときは、設定 > 管理者 > 管理者設定 > 対象管理者の [編集] > 「パスワード」にて、パスワード変更またはパスワードリセットを行なってください。

3.1.3. 各種操作

全権管理者アカウントでログインすると、管理者設定画面にて次の操作を行なうことができます。



位置	操作ボタン	機能概要
1	Excel出力	管理者設定画面を Excel 形式でダウンロードします。
2	(削除)	<p>使用していない管理者データを削除します。</p> <p>※該当の管理者が「申請承認フロー」に設定されているときは削除できません。</p> <p>※削除した管理者名は、勤務データの編集履歴や申請承認の履歴に表示されなくなります。</p> <p>※全権管理者は削除できません。</p>
3	(その他)	<p>クリックすると、プルダウンメニューが表示されます。</p> <p>編集履歴参照 勤務データの編集履歴を、管理者毎に表示します。</p> <p>メッセージ設定 全メニュー > メッセージ管理に関する操作権限を設定します。</p> <p>ログイン 管理者アカウントへ代理ログインします。</p>

3.2.「申請承認フロー設定」

設定 > 管理者 > 申請承認フロー設定

申請承認機能を使って、従業員や管理者からの打刻修正やスケジュール変更依頼を受けることができます。



管理者を申請承認フローに登録する手順を解説します。

3.2.1. 設定方法

1. 申請承認フロー設定より、各所属の「編集」ボタンをクリックします。
2. 承認を行なう管理者を選択し「登録」をクリックしてください。
3. 複数階層のフローを組む場合は、第2承認者、第3承認者…と続けて登録します。
最大5階層まで登録できますが、必ずしも第5承認者まで登録する必要はありません。
4. 承認者の登録が終了したら、画面左上の [< 戻る] ボタンでフロー表示画面に戻ります。

⚙️ 本社の申請承認フロー登録

現在の承認フローを編集

承認フロー	承認者	編集
第1承認者	管理 太郎	同レベルに管理者追加 削除
第2承認者	承認者を選択してください。▼ 承認者を選択してください。 全権管理者 管理 二郎 管理 花子	登録

同レベルに複数の承認者を設定するとき

同レベルに複数の承認者を設定することができます。

この場合、いずれか1名が承認すれば次の階層に申請が渡されるようになります。

上記登録画面で、「同レベルに管理者追加」をクリックすると、下段の管理者選択行が直前の階層と同レベルになります。



申請承認フローは、所属単位での設定となります。

フローに登録されていない管理者は申請の閲覧・承認はできません。
これは「全権管理者」も例外ではありません。

4. 従業員を登録しよう

雇用区分や従業員の名前など、従業員データに関する設定を解説します。

- 「雇用区分設定」
- 「従業員設定」

4.1. 「雇用区分設定」

 [設定](#) > [従業員](#) > [雇用区分設定](#)

「正社員」「アルバイト」などの雇用区分を登録します。雇用区分設定には勤務集計に関する設定項目が含まれますので、集計ルールが異なる場合は雇用区分を複数に分けてご設定ください。

4.1.1. 「雇用区分」を登録する

[新規登録] または [編集] をクリックし、登録画面を開いてください。
 情報を入力したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

登録

変更内容を登録して前画面に戻ります。

別名で登録

設定を複製して新しい雇用区分を作成します。重複した名称・コードでは登録できません。

 雇用区分登録

登録

別名で登録

基本情報 基本 詳細

雇用区分コード(必須): ※10文字以内

雇用区分名(必須): ※20文字以内

詳細

詳細設定項目を展開します。高度な設定を行なうときはこちらもご確認ください。



アカウント発行時に、サンプルデータ「正社員」「パート・アルバイト」をご用意しております。一般的な集計設定となっておりますのでご確認の上ご活用ください。

設定項目は、カテゴリ別に分類されています。

本マニュアルでは「詳細」ボタンクリックで展開される項目も含めて解説します。

基本情報

雇用区分コード	雇用区分を識別するコードを登録します。10文字以内でご入力ください。重複したコードでは登録できません。	基本
雇用区分名	雇用区分の名称を登録します。20文字以内でご入力ください。	基本
締め日	勤怠の締め日を設定します。1日～月末まで選択可能です。例えば「15日」を選択すると、タイムカードの表示期間は16日～翌月15日までとなります。	基本
日の契約労働時間	有給休暇取得時のみなし勤務時間を計上する際に使用します。	詳細
週の契約労働日数	「有給休暇付与機能」を使用する際に設定します。付与日数計算の基準となる契約日数となります。	詳細
月のみなし残業時間	月のみなし残業時間を使用する際に設定します。設定したみなし時間はカスタム項目やデータ出力にて選択が可能です。	詳細
週の締め日	週の締め日となる曜日を設定します。例えば土曜日を選択すると、週別で表示する際は日曜日～土曜日の範囲で表示されます。	詳細
表示言語	従業員画面（タイムカード）や、Myレコーダーの表示言語を設定します。日本語、英語から選択可能です。	詳細



……。

設定項目がたくさんあって難しそうよね。わかるわ～。
最初は「基本項目」だけを確認してはどうかしら。
「詳細項目」では高度な設定ができるけど、どの企業様でも必要な設定とは限らないわ。サンプルデータも活用するのよ。



休憩関連

打刻休憩	従業員の休憩開始・休憩終了の打刻で計算される休憩時間です。この項目で「許可しない」とすると、休憩打刻が行なえないよう制御されます。	基本
休憩時間 1～3	休憩の自動取得設定を行ないます。半角数字でご入力ください。日の労働時間が基準時間を上回るときに休憩を自動取得し、勤務時間から減算します。この項目を空欄にすると、休憩の自動取得は行ないません。「休憩追加」クリックで設定行が追加されます。	基本

雇用区分休憩 減算先の優先順位	前述の「休憩時間 1～3」にて設定した自動休憩を、 どの勤怠項目から減算するかを設定します。	詳細
休憩時間の 優先順位	打刻休憩と自動休憩の両方が発生した場合の 休憩時間の取り扱いについて設定します。 自動判別（デフォルト） 「打刻休憩+スケジュールパターンによる休憩」と、 雇用区分による休憩を比較し、より長い休憩を採用します。 打刻休憩優先 打刻休憩がある場合は、打刻休憩のみを適用します。 各種休憩を合算 打刻休憩、スケジュールパターンによる休憩、雇用区分による 休憩を合算して適用します。	詳細



休憩の種類

休憩を取得する方法は 3種類あります。

1. 打刻休憩

従業員がタイムレコーダーで記録します。
実際の休憩実績を記録したいときに最適です。
使用しないときは雇用区分設定内「打刻休憩」で打刻を制御できます。

2. 自動休憩

日の労働時間が基準時間を上回るときに休憩を自動取得します。
雇用区分設定内「休憩時間 1～3」で設定します。

3. スケジュール休憩

スケジュールに休憩予定を登録します。
シフトによって異なる休憩を取得したいときに最適です。
詳しくは「パターン設定 ([p.47](#)) 」をご参照ください。

貴社に最もフィットする休憩の計算方法をご採用ください。

3種類を併用することもできます。併用するときは雇用区分設定 > 休憩関連 > 詳細項目「休憩時間の優先順位」にて休憩適用の優先順位を設定します。

深夜労働

深夜勤務時間	この時間帯に発生した労働時間は深夜所定時間、深夜所定外時間、深夜残業時間として計上されます。入力形式は「hh:mm」または「hhmm」です。	基本
深夜所定外労働時間割当種別	上記で設定した深夜勤務時間帯に発生した所定外労働時間（スケジュール外かつ残業・深夜所定に該当しない労働時間）の取り扱いを設定します。	詳細

日の時間外集計

残業開始時間	日において、この時間を超過した勤務は残業時間に計上されます。チェックボックスをオンにしてから、残業開始時間を入力してください。スケジュール超過分を残業としたい場合は下段のチェックボックスをオンにしてください。	基本
早出の際の残業起算時刻	予定時刻より早く出勤したときに、打刻した時点から「残業開始時間」超過後を残業とするか、あるいは出勤予定時刻から「残業開始時間」超過後を残業とするかを設定します。	詳細
遅刻の際の残業起算時刻	遅刻したときに、打刻した時点から「残業開始時間」超過後を残業とするか、あるいは出勤予定時刻から「残業開始時間」超過後を残業とするかを設定します。	詳細
所定外労働開始時間	本システムでは原則として、スケジュール外かつ残業・深夜に該当しない労働時間を「所定外労働時間（所定外時間）」として計算しますが、この項目を設定することにより、スケジュールを組まなくても所定外時間として計上します。日々のスケジュールを設定できる場合は、この設定は不要です。	詳細
所定外労働時間割当種別	所定外労働時間（スケジュール外かつ残業・深夜に該当しない労働時間）が算出された場合の取り扱いを設定します。	詳細



残業時間を週あるいは月単位で計算したい場合は、設定 > その他 > オプション > 「勤務管理設定」カテゴリ > 「変形労働設定機能」を「使用する」としてご下さい。
雇用区分設定 > 「月の時間外集計」カテゴリ > 「変形労働」が追加され、週あるいは月毎の残業開始時間が設定できるようになります。

スケジュール

自動スケジュールの適用日数	スケジュールを自動的に登録する日数を設定します（関連: p.54 ）。	基本
出勤予定前の労働時間の取り扱い	出勤予定時刻より前を集計対象とするかどうかを設定します。	基本
退勤予定後の労働時間の取り扱い	退勤予定時刻より後を集計対象とするかどうかを設定します。	基本
出勤予定時刻前の出勤打刻のみなし丸め	<p>出勤予定時刻の○分前までの出勤打刻を出勤予定時刻と同じ時刻として扱うかを設定します。</p> <p>例えば 10 分前と設定されていた場合に、出勤予定時刻が 9:00 であれば 8:50～9:00 までの出勤打刻は全て 9:00 に打刻されたものとして勤怠計算されます。</p> <p>このみなし丸めは勤怠計算時にのみ行なわれ、出勤打刻時刻はそのまま記録されます。</p> <p>最大 30 分まで指定できます。</p>	詳細
退勤予定時刻後の退勤打刻のみなし丸め	<p>退勤予定時刻の○分後までの退勤打刻を退勤予定時刻と同じ時刻として扱うかを設定します。</p> <p>例えば 10 分後と設定されていた場合に、退勤予定時刻が 18:00 であれば 18:00～18:10 までの退勤打刻は全て 18:00 に打刻されたものとして勤怠計算されます。</p> <p>このみなし丸めは勤怠計算時にのみ行なわれ、退勤打刻時刻はそのまま記録されます。</p> <p>最大 30 分まで指定できます。</p>	詳細
出勤予定時刻と同時の打刻の取り扱い	<p>出勤予定時刻と同時刻に出勤した場合に遅刻とする場合は「遅刻打刻として扱う」を選択します。</p> <p>※「遅刻打刻として扱う」場合、上記の「出勤予定時刻前の出勤打刻のみなし丸め」で出勤予定時刻として扱われた打刻についても遅刻と なってしまいますのでご注意ください。</p>	詳細

休暇関連

有休付与方法	有休の自動付与に関する設定を行ないません（関連: p.43 ）。	基本
有休付与日数 選択方法	有休付与の条件を選択します。比例付与を行なう場合は「労働日数に応じて可変的に付与」を選択してください。	基本
半日休暇・ 時間休暇取得時の 所定時間への加算	半日休暇・時間休暇を取得した際に、その時間を所定時間として扱うかどうかを設定します。チェックを行なった休暇区分は半日休暇・時間休暇取得時に所定時間として扱われます。	詳細
休暇みなし時間の 残業計算への算入	<p>残業時間の計算を行なう際に、所定時間に加算した休暇みなし時間の取り扱いを設定します。</p> <p>含めない 加算した休暇みなし時間を含めない時間で残業計算を行ないません。</p> <p>含める（所定外・残業時間へ計上しない） 加算した休暇みなし時間を含めた時間で残業計算を行ないません。但し、「残業開始時間」を超えた分の休暇みなし時間については所定外・残業時間への計上を行ないません。</p> <p>含める（所定外・残業時間へ計上する） 加算した休暇みなし時間を含めた時間で残業計算を行ないます。「残業開始時間」を超えた分の休暇みなし時間についても所定外・残業時間への計上を行ないます。</p>	詳細
休日出勤時の 代休休暇数増減	休日出勤によって代休を付与するかどうかを設定します。 設定 > スケジュール > 休暇区分設定 で共通の設定を行なうことができますが、雇用区分別に動作を変更したい場合は本項目でご設定ください。	詳細

拡張機能

勤怠管理や集計に関するさらに高度な設定を行なうことができます。

打刻や集計の「丸め」設定は拡張機能に含まれます。

カテゴリ名をクリックすると、設定項目が展開します。

従業員による 打刻編集	<p>この設定を許可した場合、各従業員が、自分のタイムカード画面より打刻を編集できるようになります。申請承認によって打刻修正を行ないたい場合は、「許可しない」としてください。</p>
みなし勤務時の エラー勤務判定	<p>前提として、本システムでは直行、直帰などの「みなし勤務パターン」が割り当てられている日に、重複する打刻データが存在するとエラーになります。</p> <p>この項目で「エラー勤務判定をしない」を選択すると、上記の場合でもエラーにせずに打刻データを残しておくことができます。</p> <p>このときの打刻データは勤怠集計に影響を与えません。</p>
タイムカード 出力形式	<p>全メニュー > 日別データ > タイムカードの [タイムカード出力] より、PDF タイムカードを出力できますが、このレイアウトを雇用区分毎に変更できます。</p>
出勤／退勤打刻の 丸め単位	<p>出退勤の打刻に対して丸めを設定します。勤務時間切り捨ての丸めとなります。この設定によって集計結果が丸められますが、記録された打刻時刻はそのまま表示されます。</p>
打刻丸め基準時刻	<p>上記の「出勤／退勤打刻の丸め単位」を設定した場合の、丸めを行なう基準時刻を設定します。</p> <p>常に0分とする</p> <p>0分を基準に丸めます。例えば15分丸めの場合、丸め適用後の時刻は、0分、15分、30分、45分のいずれかとなります。</p> <p>この設定で問題が起きる例として、出勤予定時刻が8:50の場合、8:48に出勤打刻をしても丸め適用後は9:00からの計算がされるため、10分の遅刻が発生してしまいます。その場合は以下のどちらかを選択してください。</p> <p>出退勤打刻を出退勤予定時刻により変動させる</p> <p>該当日の出勤予定時刻を出勤打刻の丸めの基準に、退勤予定時刻を退勤打刻の丸めの基準にします。</p> <p>全ての打刻を出勤予定時刻により変動させる</p> <p>例えば出勤予定8:40、退勤予定17:05のスケジュールの場合、出勤・退勤の打刻を、40分を基準に丸めます。</p>

月別データの丸め単位	<p>1カ月の集計値に対して丸めの設定を行いません。</p> <p>例えば 30分と設定した場合、例えば 170時間 25分の労働時間は 170時間 0分の扱いとなります。チェックをつけたときは「切り上げ」となり、170時間 30分の扱いとなります。</p> <p>「特 60」を設定した場合は集計値の端数が 1～29分の際は切捨て、30～59分の際は 1時間に切り上げとなります。この単位に関しては単位の後ろのチェックは関係ありません。</p>
日別データの丸め単位	<p>日の集計値に対しての丸めの設定を行いません。</p> <p>休憩を打刻で取得させた結果生じる端数を切り上げる、などの細かい設定をする時にご利用ください。</p>
日別データの有効な下限時間	<p>集計値を表示する際の最小限の閾値を設けます。</p> <p>ここに入力した数字より小さい集計結果は表示されません。</p>
丸め・下限時間の適用	<p>以下の 2つの条件を満たしているときに、丸めを集計結果だけでなくスケジュール時間に対しても適用するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「残業開始時間」にて、スケジュール超過の労働時間を残業として扱う設定になっている。 「日別データの丸め単位」にて丸めの設定を行なっている。
休憩開始/終了打刻の丸め単位	<p>休憩開始打刻、休憩終了打刻の丸めを設定します。</p> <p>例えば 15分に設定されていた場合、12時 14分の休憩開始は、12時 00分の休憩開始扱いとなります。同様に、12時 46分の休憩終了打刻は、13時の休憩終了扱いとなります。</p> <p>※休憩時間に対する丸め単位ではありません（たとえば 50分集計された休憩を 45分に丸める設定ではありません）のでご注意ください。</p>
打刻休憩時間丸めのタイミング	<p>「日別データの丸め単位」にて休憩時間を丸める場合、どのタイミングで休憩時間を丸めるかを設定します。</p> <p>丸めを勤怠計算前に行う</p> <p>休憩時間を先に丸めて切りの良い数値にしてから勤怠計算をします。</p> <p>丸めを勤怠計算後に行う</p> <p>休憩時間は実績値で勤怠計算し、後から休憩時間を丸めて切りの良い数値で表示します。</p>

4.2.「従業員設定」

従業員設定画面では、従業員の基本データの登録を行いません。

その他、個人用タイムレコーダーのセットアップ情報や、従業員画面（タイムカード）へのログイン情報を、従業員へメール送信することができます。

4.2.1. 「従業員」を登録する

名前、入社年月日、従業員コードなどの従業員データを登録します。

1. 設定 > 従業員 > 従業員設定を開きます。
2. [新規登録] または [編集] ボタンをクリックして登録画面を開いてください。

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示件数などを指定します。
[表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

新規登録

従業員を新規登録します。

編集

[編集] ボタンをクリックして、従業員データを編集します。

※その他の操作ボタンについては [p.37](#) にて解説します。

3. 登録画面にて情報を入力したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。



登録

変更内容を登録して前画面に戻ります。

従業員登録

登録

基本 詳細

従業員コード(必須): ※3~10文字以内

姓・名(必須): 姓 名 ※各40文字以内

詳細

詳細設定項目を展開します。高度な設定を行なうときはこちらをご確認ください。

設定項目を、以下に解説します。

基本情報

従業員コード	従業員を識別するコードを登録します。3~10文字の半角英数字でご入力ください。重複したコードは登録できません。	基本
姓・名	従業員の名前を登録します。40文字以内でご入力ください。	基本
姓・名(フリガナ)	名前のフリガナを登録します。40文字以内でご入力ください。	基本
メールアドレス	以下の目的で使用します。 <ul style="list-style-type: none"> 従業員が行なった申請が承認・棄却されたことを通知するとき。 打刻忘れを通知するとき。 従業員別タイプのタイムレコーダーの打刻用 URL や、従業員画面(タイムカード)のログイン情報を送付するとき。 管理者によって従業員のパスワードをリセットするとき。 	基本
パスワード	従業員画面へのログインや、パスワード打刻を行なう際のパスワードを設定します。 ※未入力で新規登録したときは、「従業員コード」がパスワードとなります。 ※ここで入力したパスワードは「仮パスワード」となります。 従業員が打刻や勤務申請等でパスワードを使用する際には、パスワードの再設定画面が表示されます。	基本

性別	男・女の設定を行いません。	詳細
生年月日	生年月日の情報を登録します。	詳細

雇用情報

所属	従業員の所属を選択します。	基本
雇用区分	従業員の雇用区分を選択します。	基本
入社年月日	有休の付与日判定などに使用されます。入社日前はタイムレコーダーから打刻を行なえません。	基本
退職年月日	退職した時に入力してください。退職日後は「日別データ」や「月別データ」などの集計画面に表示されなくなりますが、在職中の勤務データは保持されます。退職日後は、タイムレコーダーから打刻を行なえません。	詳細
日の契約労働時間	有給休暇取得時のみなし勤務時間を計上する際などに使用します。「雇用区分設定」にも同項目がありますが、従業員設定での情報が優先されます。	詳細
週の契約労働日数	有給休暇付与機能を使用する際に、付与日数計算の基準となる契約日数を設定します。「雇用区分設定」にも同項目がありますが、従業員設定での情報が優先されます。	詳細
月のみなし残業時間	月のみなし残業時間を使用する際に設定します。「雇用区分設定」にも同項目がありますが、従業員設定での情報が優先されます。	詳細
その他従業員管理コード 1・2	任意のコードを 50 字以内で入力できます。この項目はエクスポートメニューより出力できます。勤怠計算には使用されません。	詳細

タイムレコーダー情報

タイムレコーダーに関する設定項目です。

個人タイムレコーダーへの遷移ボタン	「表示する」と設定した場合、タイムカード画面から、タイムレコーダーの打刻画面に遷移することが可能となります。 お使いのタイムレコーダーにより、タイムカード > メニュー内に「My レコーダー」と「携帯ブラウザ打刻」のどちらかが表示されます。 ※My レコーダー、携帯ブラウザ打刻を使用しているときに表示されます。
打刻可能登録済み所属	所属用タイムレコーダーを利用している場合に、対象者が打刻可能な所属を追加します。この設定がされている所属に対しては、タイムレコーダーでのヘルプ登録を行なうことなく打刻できます。
〇〇登録状態	認証情報（指紋や IC など）の登録の有無を表示します。「有」の場合は認証情報を削除するボタンが表示されます。認証情報を削除すると、タイムレコーダーから認証情報の再登録を行なうことができます。認証情報を削除しても、勤務データには影響ありません。

4.2.2. 「従業員」をインポートする

全メニュー > エクスポート / インポート

従業員データ登録は、CSV ファイルのインポートに対応しています。

まずは「入力レイアウト」を作成します。そのレイアウトの並び順で作成した CSV データを用意し、インポートを行なうことで、簡単に従業員データを登録することができます。

入力レイアウトを作成する（初回のみ）

1. 全メニュー > エクスポート/インポート > 「従業員データ [CSV]」の隣の「入力レイアウト作成」をクリックします。
2. [新規登録] をクリックしてレイアウト登録画面を開き、以下の情報を入力します。

レイアウト名	レイアウトの名称を任意に登録します（「新規従業員登録」など）。
使用区分	従業員を新規登録する際は「新規・更新」を選んでください。 ※「更新のみ」を選択すると、既に登録された従業員に対するデータ更新用のレイアウトとなります。この場合、必須項目は「従業員コード」のみとなります。

3. 次に「入力項目」にて、従業員登録時にインポートしたい項目を選択してください。「選択できる項目」の中からインポートしたい項目をクリックし、[追加→] ボタンをクリックします。「選択された項目」に表示された項目がレイアウトに追加されています。



追加	「選択できる項目」を「選択された項目」に追加します。
解除	「選択された項目」をレイアウトから除外します。
空白追加	「選択された項目」に空白を一行追加します。 インポート時に CSV 側のマッチングを 1 つスキップしたい場合に使用します。
並び替え	「選択された項目」を並び替えます。

4. レイアウトを設定したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

従業員データをインポートする

1. 全メニュー > エクスポート/インポート > 「従業員データ [CSV]」をクリックします。
2. 以下の項目を選択します。

レイアウト名	作成したレイアウトを選択します。
入力項目が空の場合のデータの取扱い	既存の従業員データを更新するときに選択してください。 ※新規登録を行なう場合、この設定の影響はありません。

3. インポートする CSV ファイルを作成します（ご用意済みの場合は4へ進んでください）。

〔入力用テンプレートのダウンロード〕をクリックすると、テンプレート（CSV形式）がダウンロードされますので、デスクトップ等に保存し、Excel やメモ帳等で開きます。

タイトル行（1行目）の通りに情報を入力し、CSV形式でファイルを保存してください。

※値の入力方法や、ファイル作成時のご注意点は、従業員データ入力画面上部の「はじめにお読みください」をご一読ください。

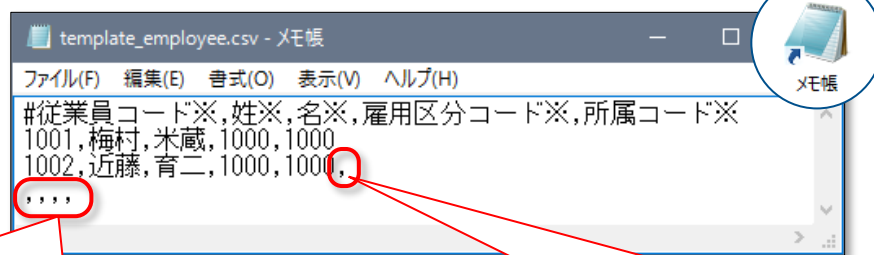
	A	B	C	D	E
1	#従業員コード※	姓※	名※	雇用区分コード※	所属コード※
2	1001	梅村	米蔵	1000	1000
3	1002	近藤	育二	1000	1000

4. インポートする CSV ファイルを選択します。従業員データ入力画面にて〔ファイルを選択〕ボタンをクリックし、用意した CSV ファイルを選択してください。
5. 〔アップロード〕ボタンをクリックすると、確認画面が表示されますので、問題なければ〔登録〕ボタンをクリックしてください。インポートを開始します。



データ確認はテキストエディタで

Excel でデータを作成すると、稀に、意図しないカンマ (,) やスペース (空白) が入ってアップロードエラーとなることがあります。CSV ファイルを確認する際は、必ず「メモ帳」などを使ってテキストファイルとして開いてください。



〔○○にデータがありません。〕エラーの一因。最終行の下にカンマがついている為に、空白項目となっている。

〔項目数が多いです。〕エラーの一因。最終項目の後ろにカンマがついている為に、項目数が多くなっている。

4.2.3. 各種操作

設定 > 従業員 > 従業員設定

従業員設定画面では、従業員データの登録・編集以外に、次の操作を行なうことができます。



位置	操作ボタン	機能概要
1		同じ所属内であれば、従業員の表示順を任意に設定することができます。 ※所属を1つだけ選択して表示しているとき表示されます。
		削除した従業員の一覧表示画面に遷移します。[データ復帰]ボタンをクリックすると、削除を取り消すことができます。 ※このボタンは全権管理者にのみ表示されます。
		複数の従業員にメールを送信します。個人用タイムレコーダーのセットアップ情報や、従業員画面へのログイン情報、パスワードの送信はこちらから行ないます。詳細は次頁をご参照ください。 ※所属を1つだけ選択して表示しているとき表示されます。
2		従業員設定画面を Excel 形式でダウンロードします。
3		使用していない従業員データを削除します。削除された従業員データは勤務データ画面などに表示されなくなります。 ※従業員の登録ミスなどの場合に使用してください。退職した従業員については、 [編集] をクリックし、「基本情報」カテゴリの詳細項目を展開して、「退職年月日」をご入力ください。 ※従業員を削除すると生体情報などの認証情報も削除されます。

4 (その他)	<p>クリックすると、プルダウンメニューが表示されます。</p> <p>タイムレコーダーURL 送信 個人用タイムレコーダーのセットアップ情報を、 1人ずつ個別にメール送信します。</p> <p>ログイン 従業員画面（タイムカード）へ代理ログインします。 ※このボタンは全権管理者にのみ表示されます。</p>
----------------	--

4.2.4. メール送信

[設定](#) > [従業員](#) > [従業員設定](#)

ホーム画面の [設定](#) > [従業員](#) > [従業員設定](#)にて、所属を一つ選択して表示すると [メール送信] ボタンが表示されます。個人用タイムレコーダーのセットアップ情報や、従業員画面へのログイン情報、パスワードの送信はこちらから行ないます。

従業員設定

表示条件の指定

従業員: 1000 本社 全ての雇用区分

表示件数: 100件 表示

+ 新規登録
表示順設定
削除済み従業員の復帰
メール送信
Excel出力

No.	所属	雇用区分	従業員コード	名前	編集	削除	その他	ログインID	メールアドレス	パスワード最終更新日時
1	1000 本社	1000 正社員	1001	勤怠				u331001	me@sample.jp	2017/01/20 14:51



メールの送信元は「no_reply@kingtime.jp」となります。

MyレコーダーURLを通知する

1. メール送信画面を開きます。「メールテンプレート選択」にて「Myレコーダー用」を選択し [反映] ボタンをクリックしてください。
2. 送信対象者を選択して、画面最下部 [メール送信] をクリックします。




タイムコーダー情報がメールで届いたらタイムレコーダー画面を開いて打刻を開始します。
Myレコーダーのご利用方法は「従業員マニュアル」をご参照くださいませ。

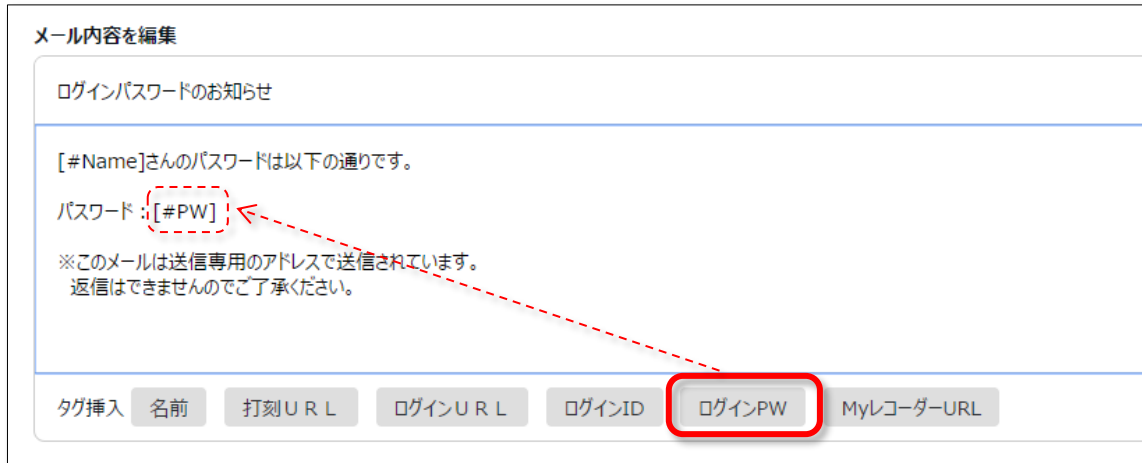
従業員画面へのログイン情報を通知する

1. メール送信画面を開きます。「メールテンプレート選択」にて「タイムカード用」を選択し [反映] ボタンをクリックしてください。
2. 送信対象者を選択して、画面最下部 [メール送信] をクリックします。

パスワードを通知する

パスワード認証によって打刻する場合は、従業員ごとのパスワードが必要となります。
パスワードだけをメール送信するときは以下の手順を行なってください。

1. メール送信画面を開きます。タイトルと内容を自由に入力してください。
2. 「タグ挿入」欄にて「ログインPW」をクリックしてください。[#PW]というタグが挿入されます。このタグはメール送信時に従業員毎のパスワード情報に置き換わります。



3. 送信対象者を選択して、画面最下部「メール送信」をクリックします。



それぞれのタグは以下のように変換されます。

項目名	タグ	機能
名前	[#Name]	従業員コード、姓、名に置換します。
打刻 URL	[#TimeURL]	携帯ブラウザレコーダー用 URL に置換します。
ログイン URL	[#LoginURL]	タイムカードログイン画面の URL に置換します。
ログイン ID	[#ID]	ログイン ID に置換します。
ログイン PW	[#PW]	パスワードに置換します。
My レコーダー URL	[#BprURL]	My レコーダー URL に置換します。

従業員を新規登録する時にパスワード設定欄を入力しなかったときは、
初期パスワードは、従業員データを新規登録した時の「従業員コード」と同一になります。

5. スケジュール管理のベースを作ろう

所定の勤務時間や休暇情報の登録など、スケジュール管理に関する設定を解説します。

- 「休暇区分設定」
- 「有給休暇付与機能」を設定する
- 「パターン設定」
- 「祝日設定」
- 「自動スケジュール設定」

5.1. 「休暇区分設定」

設定 > スケジュール > 休暇区分設定

「休暇区分」とは休暇の集計単位です。

「休暇区分」を作成すると、タイムカード上に休暇集計欄が表示されます。

「休暇区分」は、後述する「全日休暇パターン (p.52)」と紐付けて使用します。

「全日休暇パターン」をスケジュールとして割り当てるとその日は休暇取得日となり、休暇集計欄に取得日数が計上されます。

休暇管理のイメージ

休暇区分

全日休暇パターンをスケジュール登録した数が、取得数として計上されます。

タイムカード画面

日数集計											休暇詳
平日	休日	遅刻	早退	有休	代休	欠勤	公休	特別休暇			
0.0	0.0	0	0	0.0 (残 0.0)	0.0 (残 0.0)	0.0	0.0	1.0			

日別データ											
編集	日付	締	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休憩開始	休憩終了	所定	所定外	残業
	06/01 (水)		特別休暇	平日							
	06/02 (木)		通常勤務	平日							

全日休暇パターン

休暇を取得する日に対して、全日休暇パターンをスケジュール登録します。

5.1.1. 設定手順

「休暇区分」の設定手順を解説します。

[新規登録] または [編集] をクリックし、登録画面を開いてください。
 情報を入力したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。
 設定項目は以下の通りです。

名称	休暇の名称を設定します（有休、代休、振休、特休など）。
半休	「使用する」にすると、半休が取得できるようになります。
休暇取得による 休暇数の計算方法	<p>休暇数の計算方法を以下の2つから選びます。</p> <p>減算 付与日数、取得（消化）日数、残日数 を管理する休暇に使用します。 一般的に有給休暇の管理などに使用します。</p> <p>加算 取得（消化）日数の管理のみを行なう休暇に使用します。 一般的に「欠勤」や「公休」などを管理する場合に使用します。</p>
休日出勤時の 休暇数増減	<p>※「代休」のみに表示されます。</p> <p>「休日出勤で増加させる」を選択すると、勤務日種別が「法定休日」または「法定外休日」となっている日の労働が基準時間を上回ったときに代休を自動付与します。</p>
振休付与	<p>この休暇を振替休日として使用する場合に設定します。</p> <p>「振出スケジュールで振休付与」を選択すると、スケジュール登録画面にて「振替出勤」項目が表示されるようになります。「振替出勤」項目を選択した日の労働が基準時間を上回ったときに振替休日を自動付与します。</p>
負数の許可	<p>休暇残数が足りないときは休暇を取得できないように制限します。</p> <p>※「休暇取得による休暇数の計算方法」が減算の場合にのみ有効になります。</p>
有効期間	<p>休暇の付与日からこの期間内を有効とし、この期間を過ぎると取得できないようにします。この項目を空白とすると、有効期間は設定されません。</p>
時間単位休暇	<p>「使用する」にした休暇は、時間単位で休暇を取得できるようになります。</p> <p>減算タイプの場合は「使用する（最大1～5日分）」という選択肢を選ぶこともできます。これによって時間単位休暇の1年間の最大取得可能日数を制限できます。</p>
休暇申請の際の ファイルアップ ロード	<p>傷病休暇などのスケジュール申請をする際に、従業員が診断書をアップロードできるようになります。休暇区分毎にファイルアップロードが「必須」「任意」「不要」から選択できます。</p>

5.2.「有給休暇付与機能」を設定する

「有給休暇付与機能」とは、有休の付与日と付与日数を自動計算し、アラートでお知らせする機能です。

5.2.1. 機能概要

付与日になると管理画面ホームの「対応が必要な処理」にて、「有休付与対象者」と表示されます。この項目をクリックすると、有休付与対象者画面が表示されます。



付与日、付与日数、またその算出基準が表示されておりますので、確認の上、付与対象者に付与処理を行ないます。

付与対象者数 / 1人

有休付与対象者

有休付与設定 従業員別有休設定 Excel出力

No.	名前	入社日または 前回付与日	付与 方法	有休日数 選択方法	週間契約 労働日数	期間内 日数	全労働 日数	勤務 日数	出勤率(%)	付与 日数	有休 付与日	付与日時点の 勤続年数	付与 すべて	棄却 すべて	保留 すべて
1	1001 勤怠 一	2016年07月06日	入社日基準	契約日数	5日	365日	35日	35日	100.0	18日	2017年07月06日	5年6ヶ月	--	--	--
2	1002 勤怠 二	2015年10月01日	入社日基準	契約日数	5日	366日	141日	115日	81.6	20日	2016年10月01日	6年6ヶ月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	1003 勤怠 三	2017年04月01日	入社日基準	契約日数	5日	365日	1日	1日	100.0	20日	2018年04月01日	7年6ヶ月	--	--	--

有休付与



重要なお注意

次頁からご案内する事前設定をすべて行なった日の、翌日以降に発生する有休に対してアラート表示します。
過去の日付に遡って付与対象とはなりませんのでご注意ください。
過去へ遡って有休付与するときは、手動にて行ってください ([p.109](#))。

また、貴社の有給休暇付与基準が以降にご案内する本機能の仕様内で対応できないときも、本機能を利用せずに手動付与で対応することをお勧めいたします。

【仕様 1】有休付与日について

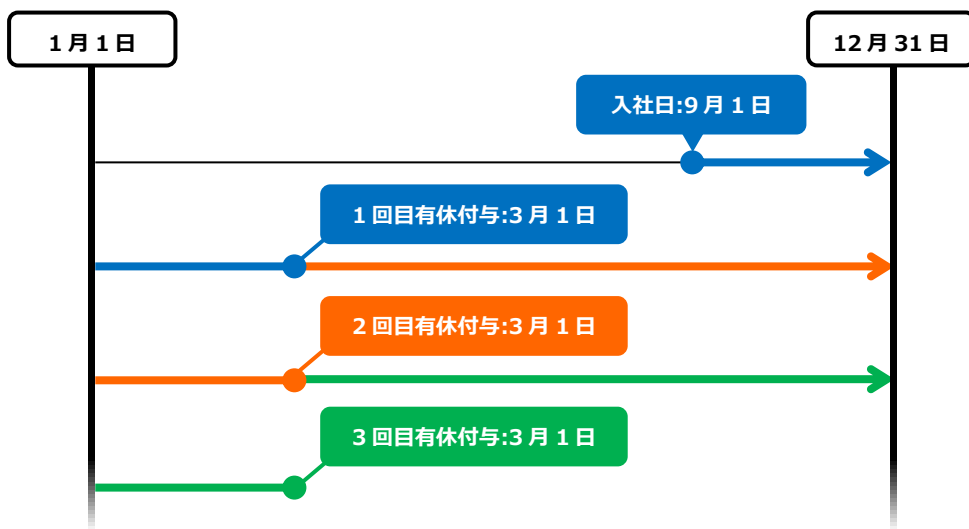
有休付与日を設定する仕組みは、以下の2つに分けられます。

- 入社日基準で付与
- 付与日基準で付与

それぞれの設定について、付与日がどのように設定されるかを解説します。

• 入社日基準で付与

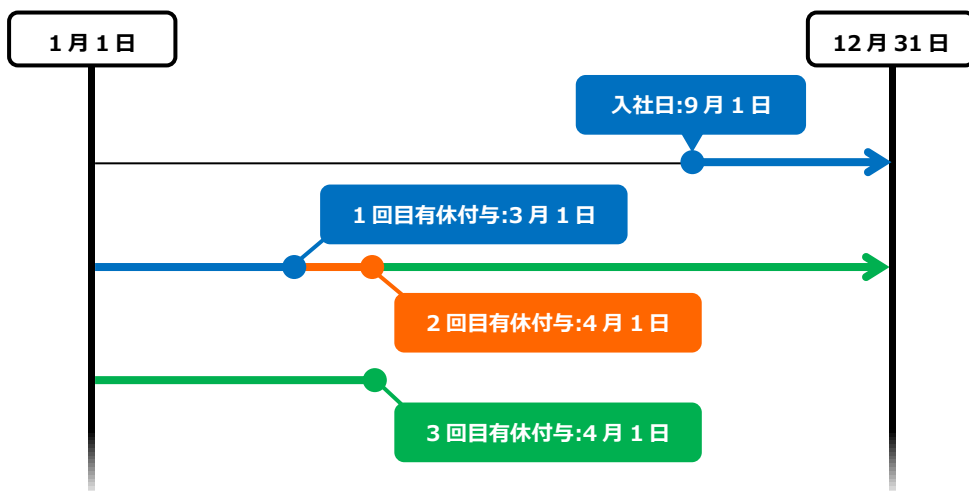
入社日から半年後に初回の有休付与が行なわれ、以後毎年入社日から半年後の日付になると有休が付与されます。



9月1日入社の場合

• 付与日基準で付与

入社日から半年後に初回の有休付与が行なわれます。以後、設定された付与日になると有休が付与されます。



9月1日入社、4月1日付与の場合

【仕様 2】有休日数の算出基準設定

付与する有休の日数を算出する仕組みは、以下の 2 つから選択します。

- 契約勤務日数に応じて付与
- 労働日数に応じて可変的に付与

それぞれの設定について、付与する有休の日数がどのように算出されるかを解説します。

• 契約勤務日数に応じて付与

「雇用区分設定」または「従業員設定」で登録した「週の契約労働日数」を参照し、対応する比例付与日数テーブル内の勤続年数によって付与日数が決定されます。出勤率が 80% を超えていることが付与の条件です。この条件が満たされないと、付与日数は 0 日と算出されます。

• 労働日数に応じて可変的に付与

それぞれの従業員の年間勤務日数に応じて、週間契約日数を仮定して有休を付与します（出勤率は参照しません）。週間労働日数契約を交わしておらず、従業員ごとに設定できない場合の利用をお勧めいたします。

例えば下表の比例付与日数設定では、勤続年数 6.5 年の従業員が年間 200 日の勤務を行なった場合「有給付与の為の最小限の勤務日数」により、「週の契約労働日数」は 4 日と仮定され、付与日数は 15 日と算出されます（勤務日数 200 日は 169 日以上 217 日未満の基準に該当するため）。

表 一 比例付与日数の例（法定基準値）

週の契約労働日数	有休付与の為の最小限の勤務日数	勤続年数						
		0.5 年	1.5 年	2.5 年	3.5 年	4.5 年	5.5 年	6.5 年以上
5 日以上	217 日	10 日	11 日	12 日	14 日	16 日	18 日	20 日
4 日	169 日	7 日	8 日	9 日	10 日	12 日	13 日	15 日
3 日	121 日	5 日	6 日	6 日	8 日	9 日	10 日	11 日
2 日	73 日	3 日	4 日	4 日	5 日	6 日	6 日	7 日
1 日	48 日	1 日	2 日	2 日	2 日	3 日	3 日	3 日

5.2.2. 「有給休暇付与機能」の設定

事前に以下のすべての設定を行なってください。

オプション

1. ホーム画面の「設定」 > その他 > オプション > 「スケジュール設定」カテゴリ内の「有給休暇付与機能」が「使用する」となっていることを確認します。

雇用区分設定

2. ホーム画面の「設定」 > 従業員 > 雇用区分設定 にて対象区分の [編集] を開きます。
3. 「有休付与方法」を選びます。前述の【仕様 1】を参考にしてください。
4. 「有休付与日数選択方法」を選びます。
「契約勤務日数に応じて付与」とした場合は、同画面の「基本情報」カテゴリ内の詳細設定項目で、「週の契約労働日数」を登録する必要があります。
5. 「有休付与方法」内の [付与基準設定] をクリックし、以下を設定します。
前頁の【仕様 2】を参考にしてください。

「比例付与日数」

週の契約労働日数×勤続年数に応じた付与日数です。

初期値は推奨する法定基準ですが、貴社の就業ルールに合わせて編集してください。

「有休算出基準となる勤務日数・全労働日数として数える項目」

出勤率の算出に利用されます（勤務日数 ÷ 全労働日数 × 100）。

「平日出勤」「法定休日出勤」「法定外休日出勤」と、各休暇を選択することができます。

従業員設定

6. ホーム画面の「設定」 > 従業員設定 > [編集] > 「入社年月日」を入力します。
入社年月日の入力が入ると、付与対象者となりませんのでご注意ください。



上記事前設定をすべて行なった日の翌日以降に発生する有休に対してアラート表示します。過去の日付に遡って付与対象とはなりませんのでご注意ください。

5.2.3. 自動計算された有休付与を適用する

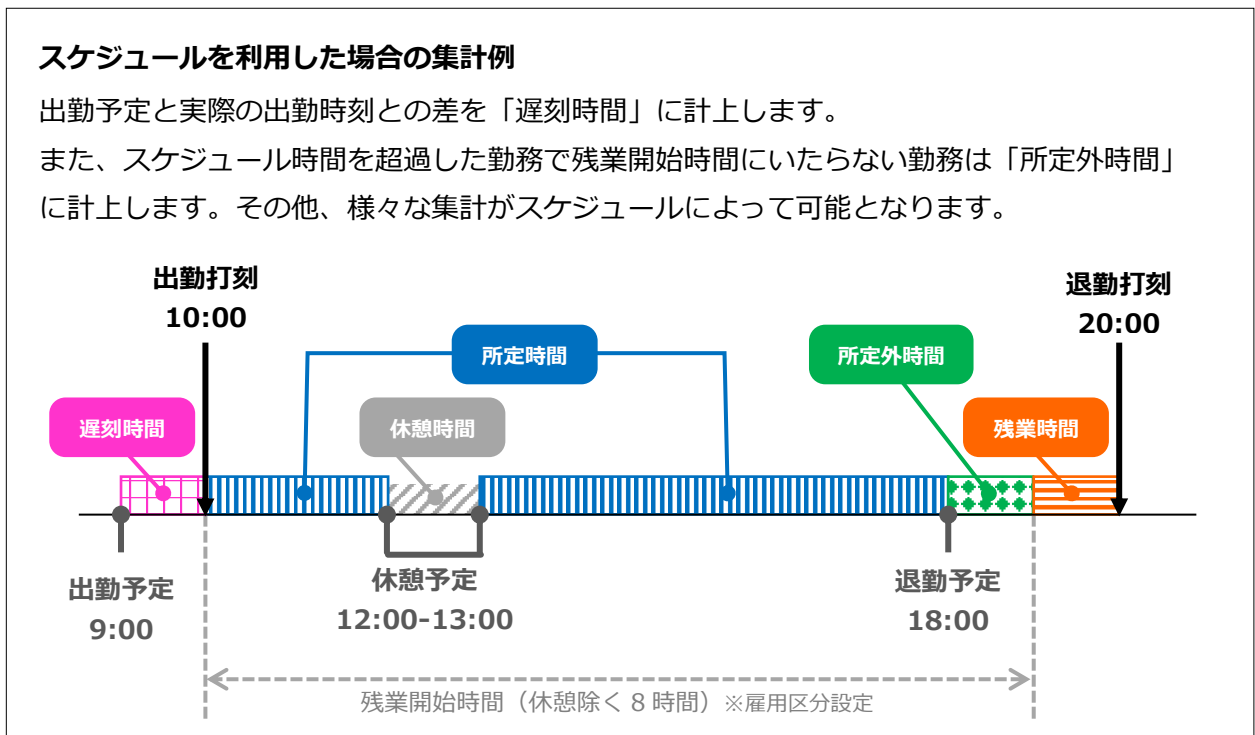
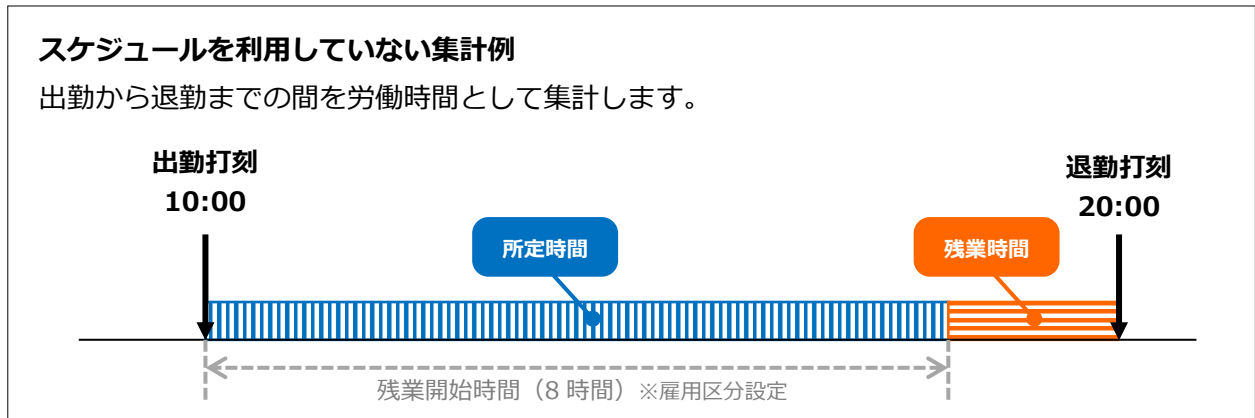
2章 [p.112](#) にて解説いたします。

5.3.「パターン設定」

スケジュールパターンの設定について解説します。

「スケジュール」とは？

スケジュールを設定することで、早番、遅番などのシフト管理だけでなく、遅刻早退や休憩時間、所定外時間の計上、早出時間の扱いの調整など、より詳細な集計が可能になります。



スケジュールパターンを登録する意味

出勤予定や退勤予定を毎日入力するのは手間なので、「パターン設定」でスケジュールやシフトをパターン化しておきましょう。パターンを割り当てるだけで、出退勤予定やそれに付随する設定を適用させることが可能です。

スケジュールパターンは 3 種類

スケジュールパターンは 3 種類あります。それぞれ機能が異なります。

スケジュール種別	機能
通常勤務	出勤や退勤の予定時刻をパターン登録します。 予定時刻を定めることにより遅刻早退の集計が可能になります。 また、休憩予定時刻なども登録できます。
みなし勤務	打刻データが無くても、予定時刻に「打刻した」とみなして集計します。直行、直帰、直行直帰（出張）の際にご活用いただけます。
全日休暇	有休や代休、特別休暇などの休暇パターンを作成します。 このパターンを登録した日は休暇となります。

5.3.1. パターンを作る

 [設定](#) > [スケジュール](#) > [パターン設定](#)

[新規登録] をクリックし、登録画面を開いてください。


情報を入力したら [編集] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。

登録

変更内容を登録して前画面に戻ります。

別名で登録

設定を複製して新しいパターンを作成します。重複した名称、コードでは登録できません。

 パターン登録

登録
別名で登録

基本情報 基本 詳細

パターンコード:

パターン名(必須):

詳細

詳細設定項目を展開します。高度な設定を行なうときはこちらもご確認ください。

5.3.2. 通常勤務パターンの設定項目

 [設定](#) > [スケジュール](#) > [パターン設定](#)

通常勤務パターンを作成するときの設定項目を解説します。

基本情報

パターンコード	パターンを識別するコードを設定します。3～10文字の半角英数字でご入力ください。スケジュールパターンはコードの小さい順に一覧表示されます。重複したコードでは登録できません。	基本
パターン名	パターンの名称を設定します。20文字以内でご入力ください。 ※全角・半角文字が混在していると、PDF出力時に正しく表示されない場合があります。	基本
スケジュール種別	「通常勤務」を選択してください。 ※スケジュール種別はパターン作成後に修正できません。ご注意ください。	基本
パターンの表示色	パターンの色を選択します。背景色と文字色をそれぞれ設定できます。スケジュール管理画面での色表示などに使用されます。	基本
使用する所属	パターンを使用できる所属を制限する場合に設定します。	詳細
使用する雇用区分	パターンを使用できる雇用区分を制限する場合に設定します。	詳細

予定

出勤予定 (コアタイム開始時刻)	出勤予定時刻を設定します。 これより遅く出勤すると遅刻となります。	基本
退勤予定 (コアタイム終了時刻)	退勤予定時刻を設定します。 これより早く退勤すると早退となります。	基本
フレックス種別	「フレックス勤務」を選択すると、所定外時間（スケジュール外かつ残業・深夜に該当しない労働時間）は所定時間として扱われます。フレックス制の運用の場合はこちらをご利用ください。	詳細
遅刻/早退判定	「無効」を選択すると、遅刻や早退はカウントされなくなります。	詳細
勤務開始刻限	勤怠計算を行なう範囲を設定します。勤務開始刻限より前に出勤打刻を行なっても、労働時間はこの刻限からしか計上されません。	詳細
勤務終了刻限	勤怠計算を行なう範囲を設定します。勤務終了刻限後に退勤打刻を行なっても、労働時間はこの刻限までしか計上されません。	詳細

休憩予定

休憩設定 1～3	設定した時刻で、休憩を自動取得することができます。 決まった時刻で休憩を自動取得したい場合はこの項目をご設定ください。[休憩追加] クリックで設定行が追加されます。	基本
休憩予定時間	自動休憩時間を分単位で入力できます。	詳細

半日勤務

<p>午前出勤 パターン登録</p>	<p>午後に半日休暇を取得するときのスケジュールを登録します。 [設定] クリックで登録画面がポップアップ表示されます。</p> <p>「午後半休みなし勤務時間」（登録画面内） 半日休暇を取得したときに、労働したとみなして所定時間に 加算したい場合に入力します。</p>
<p>午後出勤 パターン登録</p>	<p>午前中に半日休暇を取得するときのスケジュールを登録します。 [設定] クリックで登録画面がポップアップ表示されます。</p> <p>「午前半休みなし勤務時間」（登録画面内） 半日休暇を取得したときに、労働したとみなして所定時間に 加算したい場合に入力します。</p>

拡張機能

カテゴリ名をクリックすると、設定項目が展開します。

<p>勤務日種別の 強制設定</p>	<p>このパターンを登録した日に、勤務日種別を強制設定します。</p>
<p>備考</p>	<p>このスケジュールパターンに関する説明文を入力します。 従業員画面（タイムカード）のメニュー内、 「利用できるスケジュールパターン」に表示されます。</p>



勤務日種別とは？

「勤務日種別」には「平日」「法定休日」「法定外休日」の3種類があります。
これによって、その日の勤務時間を平日勤務として集計するか、
休日勤務（法定休日勤務あるいは法定外休日勤務）として集計するかを設定します。

勤務日種別を指定する方法は以下となります。
適用される優先順位は 1 > 2 = 3 > 4 > 5 です。

1. スケジュールパターンに強制設定する
2. スケジュールの手動登録時に勤務日種別を登録する ([p.99](#))
3. スケジュール申請によって勤務日種別を登録する
4. 自動スケジュール設定に登録する ([p.54](#))
5. 勤務日種別を指定しない

上記 1~4 をいずれも設定していない場合、勤務日種別は自動的に「平日」となります。

※勤務日種別は、勤務実績及びスケジュールが入っている勤務日には必ず割り当てられ、
勤務日種別を「なし」にすることはできかねます。

5.3.3. みなし勤務パターンの設定項目

 [設定](#) > [スケジュール](#) > [パターン設定](#)

直行や直帰など、打刻ができない場合にも指定の時刻に打刻したとみなして勤怠計算ができます。

パターンの新規登録時に「スケジュール種別」で「直行（みなし出勤）」「直帰（みなし退勤）」「直行直帰（みなし出退勤）」のいずれかを選択します。

※スケジュール種別はパターン作成後に修正できません。ご注意ください。

その他の設定項目については、通常勤務パターン作成時と同じです。

スケジュール種別	機能
直行（みなし出勤）	出勤打刻が無くても、出勤予定時刻に打刻したとみなして集計を行いません。直行パターンを登録した日には出勤打刻は不要です。退勤打刻だけを行なってください。
直帰（みなし退勤）	退勤打刻が無くても、退勤予定時刻に打刻したとみなして集計を行いません。直帰パターンを登録した日には退勤打刻は不要です。出勤打刻だけを行なってください。
直行直帰（みなし出退勤）	出退勤打刻が無くても、出退勤予定時刻に打刻したとみなして集計を行いません。出張など、終日打刻ができない日の勤務に適しています。直行直帰パターンを登録した日には打刻は不要です。当日になると、みなし勤務時間が計上されます。

5.3.4. 全日休暇パターンの設定項目

 [設定](#) > [スケジュール](#) > [パターン設定](#)

休暇を取得するパターンを作成します。

パターンの新規登録時に「スケジュール種別」で「全日休暇」を選択します。
この時に表示される設定項目に関しては以下の通りです。

休暇情報

休暇単位	<p>パターン使用時にカウントする日数を以下の3種類から選択します。 ※休暇単位はパターン作成後に修正できません。ご注意ください。</p> <p>全日 休暇を1日取得することができます。 <u>特別な場合を除いて、こちらをご選択ください。</u></p> <p>全日（半日×2） 午前に有休、午後に代休を取得するなど、 1日に異なる休暇を0.5日ずつ取得するパターンを作成できます。</p> <p>半日 このパターンを割り当てた日は、休暇を0.5日取得します。ただし、 休暇パターンを登録した日に打刻記録をつけることはできません。 <u>半日出勤の日に半日休暇を取得する場合は、「半休種別」を選択してください（p.105）。</u>特別な場合を除いて半日休暇用のパターンは必要ありません。</p>	基本
休暇区分	<p>このスケジュールパターンを取得した際に日数を計上する休暇区分を設定します。設定 > スケジュール > 「休暇区分設定」で登録した休暇区分を選択してください。 ※休暇区分はパターン作成後に修正できません。ご注意ください。</p>	基本
みなし勤務時間	<p>全日休暇パターンを登録した日は、休暇取得数を計上すると共に「みなし勤務時間」を所定時間へ加算できます。みなし勤務時間を加算したい場合はこの項目に時間を入力してください。 「雇用区分又は、従業員毎に設定されている「日の契約労働時間」をみなし勤務時間として計算する」にチェックを入れると、「日の契約労働時間」をみなし勤務時間とします。 これは数字で入力したみなし勤務時間よりも優先されます。</p>	詳細



アカウント発行時に、全日休暇パターン「有休」「代休」「欠勤」をご用意しておりますのでご利用ください。


5.4.「祝日設定」

祝日を定休日とするなど、他の平日と分けて扱いたい場合は祝日の設定を行いません。

登録された祝日に対してのスケジュールは、次頁の自動スケジュール設定で登録できます。
また、タイムカード画面などで日付が赤色で表示されます。

5.4.1. 日本の祝日を登録する

暦日上の祝日を登録するときは、[日本の祝日登録] をクリックし、祝日一覧を表示します。
表示された祝日を割り当てる所属を選択し、[登録] をクリックします。

 日本の祝日登録

以下の祝日に取り込み対象となります。

取り込まれる祝日

No.	対象日	祝日名称
1	2017/01/01(日)	元日
2	2017/01/02(月)	振替休日
3	2017/01/09(月)	成人の日
4	2017/02/11(土)	建国記念の日
5	2017/03/20(月)	春分の日
6	2017/04/29(土)	昭和の日
7	2017/05/03(水)	憲法記念日
8	2017/05/04(木)	みどりの日
9	2017/05/05(金)	こどもの日
10	2017/07/17(月)	海の日
11	2017/08/11(金)	山の日
12	2017/09/18(月)	敬老の日
13	2017/09/23(土)	秋分の日
14	2017/10/09(月)	体育の日
15	2017/11/03(金)	文化の日
16	2017/11/23(木)	勤労感謝の日
17	2017/12/23(土)	天皇誕生日

所属の選択

選択	No.	所属コード	所属名称
<input checked="" type="checkbox"/>	--	全ての所属	
<input type="checkbox"/>	1	1000	本社
<input type="checkbox"/>	2	2000	支社

登録

5.4.2. 独自の祝を手動で登録する

例えば「会社創立記念日」など、独自の祝日を登録する場合は、[新規登録] をクリックします。
祝日を割り当てる所属、祝日の日付、祝日名称を入力し、[登録] をクリックしてください。

5.5.「自動スケジュール設定」

設定 > スケジュール > 自動スケジュール設定

スケジュールを自動的に登録する機能です。

「所属」×「雇用区分」の単位で、各曜日のスケジュールを設定します。

5.5.1. 画面の説明

表示条件の指定

所属、雇用区分などを指定します。

[表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

自動スケジュール設定

表示条件の指定

従業員: 1000 本社 ▼ 全ての雇用区分 ▼ 表示

1 スケジュール登録

※設定>雇用区分の設定で登録された日数後まで自動でスケジュール登録されます

現在設定されている自動スケジュール

所属	雇用区分	編集	コピー	名称	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	祝日
1000 本社	1000 正社員			勤務日種別	法定休日	平日	平日	平日	平日	平日	法定外休日	法定外休日
				パターン	公休	通常勤務	通常勤務	通常勤務	通常勤務	通常勤務	公休	公休
1000 本社	2000 パート・アルバイト			勤務日種別								
				パターン								

現在設定されている自動スケジュール

自動スケジュールを表示します。

「所属」×「雇用区分」の単位で設定されています。

位置	操作ボタン	機能概要
1	スケジュール登録	現在表示されている範囲に対してまとめて設定します。
2	(編集)	「所属」×「雇用区分」毎に設定を行ないます。
	コピー	自動スケジュール設定をコピーして、別の所属・雇用区分に反映します。

5.5.2. 設定方法

自動スケジュール設定画面にて「スケジュール登録」または「編集」をクリックします。
曜日ごとに割り当てたい「勤務日種別」と「パターン」を選択します。

勤務日種別	「平日」「法定休日」「法定外休日」の3種類があります。 その日の勤務時間を平日勤務として集計するか、休日勤務（法定休日勤務 あるいは法定外休日勤務）として集計するかを設定します。
パターン	自動登録したいスケジュールパターンを設定します。

5.5.3. 自動スケジュール設定が反映されるタイミング

自動的にスケジュール登録されるタイミングは、以下の2つです。

打刻したとき

打刻したとき、または勤務データ編集を行なったときにスケジュールが自動登録されます。
既にスケジュールが登録されている日には上書きされません。

日に1回（夜間）

システムによる定時更新により、日に1回（夜間）登録されます。
ホーム画面の「設定」 > 雇用区分設定 > 各雇用区分の「編集」 >
「自動スケジュールの適用日数」を事前に入力していることが前提です。
設定日の翌日から適用されます。
過去日や、既にスケジュールが登録されている日には登録されません。



従業員設定で退職年月日を登録している場合、退職年月日後は、
自動スケジュールが反映されません。

6. メール通知機能を活用しよう

「通知設定」では様々なルールに従って、従業員や管理者にメールで通知できます。
3種類の通知設定を解説します。

6.1. 「打刻忘れ通知」

[設定](#) > [その他](#) > [通知設定](#) > [打刻忘れ通知](#)

登録されたスケジュールの、予定時刻や刻限時刻になっても打刻が無い場合、通知メールを送ることができます。打刻を忘れないように、勤務の開始前に通知メールを送ることも可能です。

基本情報

通知タイミングと通知対象者を設定します。

通知タイミング設定

打刻種別毎（出勤・退勤・休憩開始・休憩終了など）に通知ルールを設定できます。
打刻忘れチェックの基準時間を 0～60 分の間で設定できます。
またこの基準時間の適用範囲を、「前」、「後」、「前後」で選択可能です。

前	予定時刻または開始刻限の○分前に、メール通知をします。 打刻忘れを未然に防ぎたい場合に設定します。
後	予定時刻または終了刻限に打刻が無かったら○分後に、 メール通知をします。打刻忘れを知らせたい場合に設定します。
前後	上記の「前」と「後」の両方のタイミングでメール通知をします。

※打刻忘れ通知は、日本時間のみ対応しております。

The screenshot shows the '打刻忘れ通知登録' (Clock-in/Out Reminder Registration) screen. It includes a '基本情報' (Basic Information) section with the following settings:

- 通知 ON/OFF:** A checkbox labeled '打刻忘れ通知' (Clock-in/Out Reminder) is checked, indicating that notifications are turned on.
- 通知対象 (Notification Target):** A dropdown menu is set to '出勤' (Clock-in).
- スケジュール選択 (Schedule Selection):** A dropdown menu is set to '予定時刻' (Scheduled Time), indicating that notifications are based on the scheduled time.
- 通知タイミング (Notification Timing):** A dropdown menu is set to '前' (Before), indicating that notifications are sent before the scheduled time.
- 基準時間 (Reference Time):** A dropdown menu is set to '15分' (15 minutes), indicating the time interval before the scheduled time.
- 登録 (Register):** An orange button at the bottom right is used to save the settings.

Callouts provide additional details:

- 通知 ON/OFF:** 通知を行なう打刻種別にチェックを入れます。(Check the clock-in/out type to perform notifications.)
- 通知対象:** 通知対象を設定します。(詳細は次頁) (Set the notification target. (Details on the next page))
- スケジュール選択:** 予定時刻・刻限時刻のどちらを基準にするか選択します。(Choose which one to use as the reference: scheduled time or limit time.)
- 登録:** 変更内容を登録します。(Register the changed content.)


通知対象

対象選択ボタンをクリックすると、設定中の通知対象の一覧が表示されます。

なお、この通知対象の登録方法は、全ての通知設定と共通になります。



位置	操作ボタン	機能概要
1	新規登録	通知対象の設定を作成します。
2	優先度を保存	変更した優先順位を保存します。
3	優先度	複数のチェック条件が重なった場合の優先度を設定します。より上部にある条件が優先して適用されます。上下ボタンで順序を変更します。変更後は[優先度を保存]をクリックします。
4	編集・削除	設定条件の編集・削除を行ないます。

[+新規登録] または  (編集) ボタンで、通知対象の設定を行なうことができます。



位置	操作項目	機能概要
1	条件	通知対象の所属と雇用区分が表示されます。
2	アクション	通知対象の従業員と管理者に対し、通知する/通知しないが表示されます。[選択] ボタンから通知する管理者を選択できます。
3	登録	変更内容を登録します。

6.2.「未申請残業通知」

設定 > その他 > 通知設定 > 未申請残業通知

前日の勤務に対して残業申請が行なわれていない、または残業申請が承認されていない場合にメールで通知することができます。

基本情報

通知機能を「使用する」を設定した場合に、通知タイミングを設定できるようになります。設定後に「登録」ボタンで作成されます。

対象選択
打刻忘れ通知 (p.57) と共通になります。

通知タイミング設定
30分単位で設定できます。

未申請残業時間
未申請残業時間が、この時間以上あった場合に通知します。1分以上～120分以上の間で設定できます。

6.3.「休暇失効通知」

設定 > その他 > 通知設定 > 休暇失効通知

休暇の失効日が近づいていることをメールで通知できます。

基本情報

「休暇取得により休暇数の計算方法」が減算、かつ「有効期間」が設定されている休暇に対して、「休暇失効通知」を設定できます。設定後に「登録」ボタンで作成されます。

対象選択
打刻忘れ通知 (p.57) と共通になります。

通知タイミング設定
30分単位で設定できます。

通知日の設定
何日前に通知するか、日数を入力します。

7. カスタマイズ機能を活用しよう

集計された勤怠データの加減算や任意の集計項目作成など、カスタマイズに関する設定を解説します。

- ・「カスタムデータ項目設定」
- ・「補助項目設定」

7.1. 「カスタムデータ項目設定」

 [設定](#) > [画面表示](#) > [カスタムデータ項目設定](#)

複数の項目を加減算して任意の勤怠項目を作成することができます。

また、表示される勤怠項目の項目名の変更や、並び順の入れ替えをすることもできます。

7.1.1. 「カスタム項目」を登録する

勤怠項目のカスタマイズ項目内容を設定します。

1. 設定 > 画面表示 > カスタムデータ項目設定
2. 「日別」、もしくは「月別」を選択し、[新規登録] をクリックします。
3. 情報を入力したら [登録] ボタンをクリックし、設定内容を保存します。
日別と月別で同じ項目を設定したい場合は、それぞれ登録が必要となります。
※日別、月別それぞれ作成できるカスタム項目は、最大 20 個までとなります。

 日別データ項目登録

基本情報

カスタム表示コード(必須): ※英数字3~8文字

カスタム表示名(必須): ※8文字以内

計算単位: 時間 日 数値

丸め単位(分): 切上

下限値(分): ※0~999分

追加する項目の選択

※(打刻に基づく)とは勤務制限や残業上限、雇用区分内「出勤/退勤予定前の労働時間の取り扱い」にて、勤務時間の制限が適用されていない勤務時間です。

+	-	No.	項目名	計算単位				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	所定時間	時間				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	所定外時間	時間				
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	3	残業時間	時間				
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4	深夜所定時間	時間				
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	深夜所定外時間	時間				
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	深夜残業時間	時間				

カスタム表示名

カスタム項目の名称を設定します。

チェックボックス

「+」は加算、「-」は減算となります。

設定項目を以下に解説します。

カスタム表示コード	カスタム項目を認識するコードを登録します。 3~8文字で入力してください。
カスタム表示名	カスタム項目の名称を登録します。 8文字以内で入力してください。 項目名が長くなり閲覧しづらい場合は、縦書き入力することも可能です。
計算単位	「時間」「日」「数値」から選択してください。単位の異なる項目同士を同じカスタム項目内で選択することはできません。
丸め単位（分）	作成した項目の最数値に対して丸めの処理を行いません。選択した項目設定の最終値に対して丸めを行いません。丸め時の端数を切り上げたい場合は「切上」をチェックしてください。 「切上」をチェックしない場合は、端数は切捨てられます。 丸め単位は雇用区分設定でも設定できますが、どちらも丸め設定を行なった場合、二重に丸められてしまいますので、本項目の設定の際はご注意ください。
下限値（分）	算出された勤怠時間について、ある一定未満の値を無視する場合に設定します。 たとえば、15分以下の遅刻は0分として扱う場合は遅刻の欄に16を入力します。 尚、この値は丸めた後の勤怠時間に対して適用されます。
追加する項目設定	加算する項目は「+」を、減算する項目は「-」をチェックすることによって複数の項目間の加減算が可能です。

7.1.2. 「カスタム項目」を確認する

タイムカード、日別、月別、年別データにて確認することができます。
それぞれの画面表示について説明します。

タイムカード画面

個別タイムカード画面左上「タイムカードカスタム」をクリックし、
画面の切り替えを行なうことができます。

タイムカード(カスタム)

タイムカード **タイムカードカスタム**

表示条件の指定
従業員: A社 / 正社員 / 1000 動慈 太郎
表示月: 2018/10
オプション: 打刻集約 顔画像を表示する 位置情報を表示する **表示**

2018/10/01(月) ~ 2018/10/31(水) < 今月 >

スケジュール編集 タイムカード 出力

月別データ

時間集計

残業合計時間	深夜労働合計時間	在宅
9.00	1.00	1.30

日数集計

平日	休日	遅刻	早退	有休	代休	欠勤	公休
2.0	0.0	0	0	0.0 / 0H (残 3.0)	0.0 (残 0.0)	0.0	4.0

日別データ

編集	日付	種	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休憩開始	休憩終了	残業合計時間	深夜労働合計時間	在宅	備考
	10/01 (月)		通常勤務	平日	HB 09:00	HB 23:00			5.00	1.00		
	10/02 (火)		通常勤務	平日	HB 09:00	HB 22:00			4.00			
	10/03 (水)		通常勤務	平日							1.30	

タブ切替

タブを切り替えることにより、管理者はタイムカード/タイムカードカスタムの両方が確認可能です。(従業員は、デフォルト設定した画面のみ確認することができます。)

月別カスタム

カスタムデータ項目設定「月別」で作成をしたカスタム項目が表示されます。

日別カスタム

カスタムデータ項目設定「日別」で作成をしたカスタム項目が表示されます。

※タイムカードのデフォルト表示を切り替えご希望の場合は、サポートセンターへご連絡ください。

日別データ/月別データ

日別データ、もしくは月別データ > [表示] > 通常 [カスタム] のタブをクリックします。

カスタムデータ項目設定にて登録をしたそれぞれの集計を確認することができます。

詳しくは第2章「日別データを確認する (p.77)」以降をご参照ください。

タブ切替

タブを切り替えることにより、「通常」集計と「カスタム」集計を確認することができます。

集計

「日別データ [カスタム]」、「月別データ [カスタム]」では、カスタム項目集計が表示されます。

No	所属	雇用区分	名前	タイムカード	締	平日出勤日数	休日出勤日数	遅刻回数	早退回数	有休日数	代休日数	欠勤日数	公休日数	残業合計時間	深夜労働合計時間
1	1000 A社	1000 正社員	1000 勤怠 太郎			2.0							2.0	9.00	1.00
2	1000 A社	2000 アルバイト	2000 勤怠 花子										2.0		
3	1000 A社	3000 契約社員	7000 大崎 幸子												
4	2000 B社	1000 正社員	3000 鈴木 一郎			1.0								2.22	
5	2000 B社	2000 アルバイト	4000 勤怠 次郎			1.0								5.30	1.19

年別データ

年別データ > 項目選択: [選択] > 「カスタム」のタブをクリックします。

カスタムデータ項目設定にて作成をした項目名が表示されます。

表示したい項目にチェックを入れ、[選択] > [表示] をクリックします。

(「通常」と「カスタム」からそれぞれ項目を選択し、年別データを表示することもできます。)

カスタム項目選択

タブを切り替えると、年別データでもカスタム項目を選択可能となります。

年別データで集計
※「月別データ」で
Excel出

残業合計時間 深夜労働合計時間 在宅

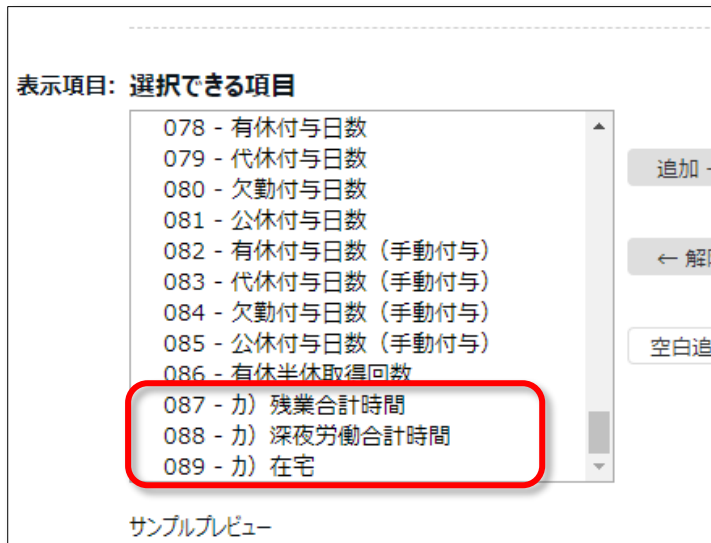
選択 キャン

7.1.3. 「カスタム項目」をエクスポートする

エクスポート/インポート画面にて、登録した「カスタムデータ項目」を出力できます。

1. 全メニュー > その他 > エクスポート/インポート
2. データ出力（エクスポート） > 「出力レイアウト作成」をクリック
3. 月別データレイアウト設定 > 新規作成

カスタムデータ項目設定にて登録をした項目は、名称の前に「カ）」と表示されます。



詳しくは、第2章「エクスポートメニューについて (p.114)」以降をご参照ください。

7.1.4. 「カスタム項目」の並び替え

カスタム項目は並び替えが可能です。

設定 > 画面表示 > カスタムデータ項目設定

並び替えたい項目名をドラックし、並び替えた後に [表示順を登録] ボタンをクリックします。



7.2.「補助項目設定」

 [設定](#) > [その他](#) > [補助項目設定](#)

所属や雇用区分ごとに独自の項目を作成し、工数管理などを行なうことができます。打刻時刻だけでは自動で集計できない数値が計上できたり、「カスタムデータ項目設定」と併用することで様々な集計ができたりします。

7.2.1. 「補助項目」を登録する

入力単位を時間・数値・選択肢の中から選択し、登録します。
項目名は任意に設定できます。

補助項目を利用するには、「補助項目設定」、「利用グループ設定」、「利用条件設定」が必要です。この3つの設定が全て設定されていない場合、補助項目は利用できません。

補助項目設定

まず、補助項目設定ではどのような記録なのかを作成します。
(例えば、待機時間や私用外出時間など)

[設定](#) > [その他](#) > [補助項目設定](#) > [\[新規登録\]](#)

項目コード	補助項目を識別するコードを設定します。3～10文字の半角英数字でご入力ください。重複したコードでは登録できません。
項目名	補助項目の名称を設定します。40文字以内でご入力ください。
入力単位	補助項目で使用する入力単位を設定します。 「時間帯」「数値」「選択肢」から選択してください。 ※「選択肢」を登録した場合は、登録後に「オプション」の設定が必要となります。
上限値	※入力単位「数値」を選択した場合に表示されます。 集計値を表示する際の最大限の閾値を設けます。 ここに入力した数字より大きい集計結果は表示されません。
下限値	※入力単位「数値」を選択した場合に表示されます。 集計値を表示する際の最小限の閾値を設けます。 ここに入力した数字より小さい集計結果は表示されません。
小数点以下桁数	※入力単位「選択肢」「数値」を選択した場合に表示されます。 小数点以下何桁まで表示させるか設定します。 「0」「1」「2」「3」の中から選択してください。
表示単位	※入力単位「数値」を選択した場合に表示されます。 補助項目表示単位を設定します。10文字以内でご入力ください。

利用グループ設定

次に、作成をした補助項目が利用できるようにグループを作成します。

選択希望の補助項目が複数ある場合は、グループ設定にてまとめてください。

設定 > その他 > 利用グループ設定 > [新規登録]

利用グループコード	利用グループを識別するコードを設定します。3~10文字の半角英数字でご入力ください。
利用グループ名	利用グループの名称を設定します。40文字以内でご入力ください。
補助項目	「補助項目設定」にて登録をした補助項目が表示されます。 このグループが使用できる項目にチェックします。

利用条件設定

最後に、所属、雇用区分、スケジュール種別の組み合わせを「利用条件」として設定します。

設定 > その他 > 「補助項目設定」 > 「利用グループ設定」 > [新規登録] ボタンをクリックします。

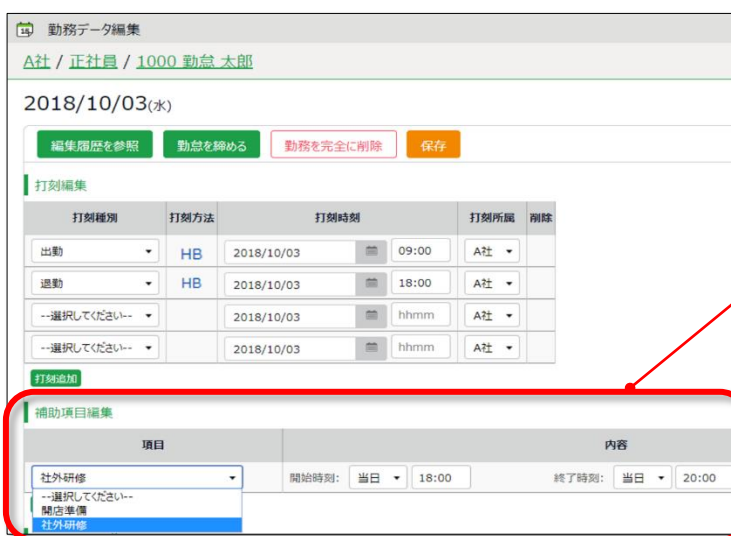
所属	補助項目を利用する所属を設定します。
雇用区分	補助項目を利用する雇用区分を設定します。
スケジュール種別	補助項目が利用できるスケジュール種別を設定します。
利用グループ	「利用グループ設定」にて登録をしたグループが表示されます。 利用条件を適用させるグループを設定します。

7.2.2. 「補助項目」を編集する

管理者は、日別データより補助項目を登録・編集をすることができます。

勤務データ編集 > 補助項目編集 > 項目と内容を入力し、[保存] をクリックします。

勤務データ編集画面



補助項目編集

登録をした補助項目の選択が可能となります。時間・数値・選択肢によって内容の入力は変わります。

7.2.3. 「補助項目」を確認する

カスタムデータ項目設定にて補助項目を登録すると、タイムカード、日別、月別データ上でも確認することができます。
 「追加する項目の選択」内に登録をした補助項目が表示されます。
 基本情報を入力後、補助項目の「+」にチェックを入れ「登録」をクリックします。
 (同じ計算単位であれば、勤怠項目と補助項目の加減算も可能です。)

基本情報

カスタム表示コード(必須): 100 ※英数字3~8文字

カスタム表示名(必須): 電話対応 ※8文字以内

計算単位: 時間 日 数値

丸め単位(分): -- 切上

下限値(分): ※0~999分

追加する項目の選択

※(打刻に基づく)とは勤務刻限や残業上限、雇用区分内「出勤/退勤予定前の労働時間の取り扱い」にて

+ -	No.	項目名	計算単位
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1	所定時間	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2	所定外時間	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	3	残業時間	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	4	深夜所定時間	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5	深夜所定外時間	時間
...			
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	59	プロジェクトA	数値
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	60	プロジェクトB	数値
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	61	交通費	数値
<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	62	電話対応	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	63	開店準備	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	64	社外研修	時間
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	65	自宅作業	時間

登録

カスタム表示名

タイムカード上に表示をさせたい補助項目をカスタム項目で作成します。

項目の選択

カスタムデータ項目設定内の選択肢の中に、登録した補助項目名が追加されます。

補助項目ごとにカスタム項目を作成すると、日別データカスタムでは日の集計、月別データカスタムでは月の集計を確認できます。

8. オプション機能を活用しよう

オプション機能を追加することにより、より高度な集計・管理を行なうことができます。

8.1.「オプション」

 [設定](#) > [その他](#) > [オプション](#)

各種オプション機能について解説します。

利用状況

本システムのご利用状況を確認できます。

今月の利用者数	当月に打刻データ（またはみなし勤務）が存在する従業員数を表示します。削除した従業員も計上対象となりますのでご注意ください。
先月の利用者数	先月の利用者数を表示します。ご導入済みのお客様で、先月分の請求書が発行されている場合は、確定したご請求人数が表示されます。
課金承諾日	ご導入時に、課金開始をご承諾いただいた日を表示します。 (代理店とご契約のお客様は表示がございません。)

企業情報

ご契約いただいている企業の基本情報です。

企業名	ご企業名が表示されます。
事業年度開始月日	年度表示をする際の起算日となります。初期値は4月1日ですが、変更をご希望の場合はサポートセンターへご連絡ください。
パスワードポリシー設定	管理者及び従業員がログインする際のパスワードに対して、最低文字数や有効期間などの条件を設定する機能です。

勤怠管理設定

勤怠管理に関する拡張機能です。

<p>時間帯区分 設定機能</p>	<p>1日を最大8つの時間帯に分割し、それぞれの時間帯に発生した労働時間を集計する機能です。時間帯によって時給が異なる場合などにご活用いただけます。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > スケジュール に「時間帯区分設定」が追加されます。 スケジュール管理画面にて時間帯区分データを登録できるようになります。 勤務データ確認画面に、「時間帯区分」タブが追加され、時間帯区分毎の勤務時間を表示します。 エクスポート/インポート > 月別・日別データ出力画面にて、時間帯区分毎の勤務時間が出力可能になります。
<p>人件費概算出力機能</p>	<p>勤務データについて簡易的な人件費計算を行なう機能です。雇用区分または従業員毎に単価や交通費を設定します。これに基づいて人件費概算を計算します。結果は勤務データ確認画面に表示されます。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 従業員 > 雇用区分設定 または 従業員設定に [単価] ボタンが追加されます。 勤務データ確認画面に、人件費概算が表示されます。 月別、日別データ出力にて、人件費概算の出力が可能になります。
<p>アラート機能</p>	<p>日、週、月別の勤務データについて任意の値以上（超過）あるいは任意の値以下（未満）の場合に、その集計項目へ色をつけることができます。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 画面表示 に「アラート設定」が追加されます。 勤務データ確認画面（月別、日別データ）でアラートとして該当する項目に色がついて表示されます。 月別データ画面の表示条件にて、アラートを選択し、該当データのみを表示できるようになります。
<p>変形労働設定機能</p>	<p>月毎や週毎に設定した閾値の超過時間を残業として扱う機能です。「月に〇〇〇時間以上勤務した場合は、その超過分を残業として扱う」「週に〇〇時間以上勤務した場合は、その超過分を残業として扱う」などの集計が可能です。変形労働時間制やフレックスタイム制の集計にご活用いただけます。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 従業員 > 雇用区分設定 > 「月の時間外集計」カテゴリに「変形労働」が追加されます。 <p>「労働基準時間の表示」項目にチェックをすると、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 月単位の変形労働を使用している場合、月別データ画面とタイムカード画面に基準時間が表示されます。 週単位の変形労働を使用している場合、タイムカード画面の表示条件に「週の集計」が追加され、週毎に基準時間を表示できるようになります。

割増残業集計機能	<p>月間で一定時間を超えた時間外労働を「割増残業」として計上する機能です。「割増残業」は1段階または2段階設定することができます。36協定の割増残業を集計する場合などにご利用いただけます。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 従業員 > 雇用区分設定 > 「月の時間外集計」カテゴリに「割増残業」が追加されます。 月別データ画面とタイムカード画面に「割増残業」項目が表示されます。
勤務データの集計単位	<p>日別データ、月別データ、組織別データの表示及びデータ出力の際に、従業員の所属先または勤務先のどちらで表示するかを設定します。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務データ確認画面の表示条件に「従業員の勤務先で表示」が追加され、従業員の勤務先毎での表示が可能となります。 エクスポート画面に選択項目が追加され、従業員の勤務先毎でのデータ出力が可能となります。
所属グループ機能	<p>複数の所属を1つのグループとして管理したい場合に設定します。グループ単位での集計やデータ出力、グループのツリー構造化を可能にします。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 組織 に「所属グループ設定」が追加されます。 所属グループを登録後は、所属選択リストに所属グループが追加されます。また、データ出力時の所属選択リストにも所属グループが追加されます。
従業員グループ機能	<p>「所属」、「雇用区分」とは別に従業員のグループを設定する機能です。作成した従業員グループは、表示条件の絞り込みに使用します。派遣元会社ごとや、所属よりも細かい部署を設定することができます。また、一人の従業員を複数のグループに所属させることができます。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 従業員 に「従業員グループ設定」が追加されます。 勤務データ確認や、データのエクスポートを行なう際に、従業員グループで絞り込めるようになります。
勤務間インターバル不足カウント機能	<p>前日最後の退勤時刻～当日最初の出勤時刻（勤務間インターバル）の間隔が不足している回数をカウントする機能です。勤務間インターバルが設定した「インターバル時間」に満たない場合、インターバル不足1回としてカウントします。</p> <p>「使用する」を選ぶと、以下の画面で「インターバル不足回数」が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 月別データ画面、タイムカード画面 設定 > エクスポート / インポート > 月別データ、タイムカードの出力レイアウト作成画面

スケジュール設定

スケジュール管理に関する拡張機能です。

予実機能	<p>予実機能とは、予定の勤務、実際の勤務、その差異を勤務データ確認画面にて確認できる機能です。</p> <p>「時間帯区分機能」を使用している場合は、予実データを時間帯区分毎にも、確認できます。</p>
	<p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 勤務データ確認画面に「予実」タブが追加されます。 「確定されたスケジュールとも比較可能」にチェックをすると、以下の設定が可能になります。 スケジュール管理画面に「予実比較用に登録」ボタンが追加され、このボタンをクリックした時点のスケジュールと勤務実績との比較が可能となります。
有給休暇付与機能	<p>有給休暇の付与日や付与日数を自動計算する機能です。</p> <p>アカウント発行時の初期値は「使用する」となっています。</p>
	<p>「使用する」を選ぶと、以下の設定が可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定 > 従業員 > 雇用区分設定 > 「休暇関連」カテゴリに「有休付与方法」、「有休付与日数選択方法」が追加されます。 全メニュー > スケジュール > 休暇管理に「有休付与対象者」リンクが追加されます。
入社年度の 有休付与日	<p>入社年度の初回有休付与は通常、各従業員の入社日から6ヵ月後に付与しますが、この項目で「半期毎に付与」を選択することで、事業年度の上半期に入社した従業員は下半期開始日に付与、事業年度の下半期に入社した従業員は次年度上半期開始日に付与することが可能となります。</p> <p>「半期毎に付与」の場合、事業年度開始月日が4月1日とすると、4月1日~9月30日入社の従業員は10月1日が、10月1日~3月31日入社の従業員は4月1日が、初回の有休付与日として扱われます。</p>
スケジュール登録 画面で残数表示する 休暇区分	<p>全メニュー > スケジュール管理 > 「スケジュール登録」の画面で、休暇の残数を表示し、スケジュール登録時の参考にできます。チェックした休暇区分の残数が、スケジュール登録画面で表示されます。</p>

申請承認設定

申請承認機能に関する設定を切り替えることができます。

申請承認メール 送信機能	<p>申請時や承認時にメールを送信することができます。</p> <p>設定 > 管理者 > 管理者設定</p> <p>設定 > 従業員 > 従業員設定</p> <p>にて、メールアドレスの登録がされている人に対して送信されます。</p>
-------------------------	--

スケジュール・打刻・残業の申請先	各種申請を行なう際に、勤務先所属の管理者に対して申請を上げるか、自分が属す所属の管理者に対して申請を上げるかを選択します。
申請メッセージ必須機能	各種申請の際に、申請メッセージの入力を必須にするかどうかを選択します。「使用する」にすると、申請時にメッセージを入力しないと申請できなくなります。
携帯申請画面の打刻所属表示設定	携帯申請画面で打刻所属を表示、選択することが可能です。「--」は自所属扱いとなります。

表示設定

表示に関する設定を切り替えることができます。

表示言語	アカウント全体で基本的に利用する表示言語を選択します。 日本語、英語から選択可能です。
表示形式	従業員の名前に関する表示形式を選択します。ミドルネームを含むと、設定 > 従業員 > 従業員設定 にミドルネーム入力欄が追加されます。
時間表示形式	時間表示形式を選択します。 60 進数 時間表示を以下のように行ないます。 1 時間 15 分 → 1.15 1 時間 30 分 → 1.30 1 時間 45 分 → 1.45 10 進数 時間表示を以下のように行ないます。 1 時間 15 分 → 1.25 1 時間 30 分 → 1.50 1 時間 45 分 → 1.75
10 進表示の際の小数第 3 位の取扱い	「時間表示形式」を 10 進数で選択している場合、7.6666…のような数値を小数点第 3 位で処理します。この時の処理方法を設定します。
休憩打刻	休憩打刻欄を、日別データ画面、タイムカード画面、勤務データ編集画面などで表示するかどうかを設定します。
勤怠データ表示	※「時間帯区分機能」を使用している場合に表示されます。 日別、月別データの集計画面における初期表示タブを選択します。
画像ファイルアクセス URL 期限	画像 URL、勤怠データ連携ファイルへのアクセス URL の有効期限の制限を選択します。制限ありの場合は URL へのアクセスは 5 分となります。 ※iPad 版タイムレコーダーの画像が対象となります。

退職済み従業員の従業員一覧表示期間	退職済みの従業員を従業員設定画面に表示する期間を設定します。退職してから指定した期間を過ぎた従業員は従業員設定画面に表示されなくなります。期間の指定は月単位で行ないます。
デフォルト表示件数	一覧を表示する際、1 ページに表示する件数を設定します。「全て」選択時のアラート表示を「表示する」とした場合には、表示件数にて「全て」を選択した際に 表示条件によっては表示に時間がかかるという旨のダイアログが表示されます。
表示/非表示設定	各メニューを開いた時に一覧に表示される項目を設定します。
デフォルト値設定	各画面に存在するチェックボックスやラジオボタンの初期値を設定します。
月の表示範囲	締め日が月末でない場合の月の表示範囲を設定します。例えば締め日が10日の場合で4月度を表示する際は、「前月を含む範囲を表示」だと3月11日～4月10日を表示します。「翌月を含む範囲を表示」だと4月11日～5月10日を表示します。

エラー勤務設定

エラー勤務とするデータの範囲を拡張します。

打刻なし / スケジュールあり	スケジュールが設定されているにも関わらず、出勤・退勤ともに打刻がないデータをエラー勤務として扱うことができます。欠勤日の抽出や休暇の申請漏れチェックに活用できます。
打刻あり / スケジュールなし	スケジュールが設定されていない日に打刻データが存在する場合を、エラー勤務として扱うことができます。スケジュールの登録漏れチェックに活用できます。
連続勤務チェック	一定日数以上の連続勤務があった場合に、全メニュー > エラー勤務 > 「連続勤務」タブに表示することができます。
連続勤務の対象にする休暇区分	上記「連続勤務チェック」を設定している時に、連続勤務の判定に含める休暇区分を設定します。チェックを入れた休暇区分については連続勤務チェックの際に勤務日として扱います。
退勤打刻の自動上書き機能	退勤打刻が連続した場合に、最後の退勤打刻で上書きするかどうかを選択します。「使用する」にすると、WebAPI 打刻と打刻端末利用時に起こる連続打刻のエラー勤務などを自動的に解消できます。

9. 運用を開始しよう

基本設定を終えたら、従業員に展開する準備を行ないます。

- ・タイムレコーダーを設定する
- ・従業員画面へログインする



9.1. タイムレコーダーを設定する

個人用タイムレコーダー

[p.38](#) を参考に、個人用タイムレコーダーのセットアップ情報を従業員にメール送信します。

所属用タイムレコーダー

[p.14](#) を参考に、所属用タイムレコーダーのセットアップ情報をメール送信します。
メールに記載されたマニュアルを元に、タイムレコーダーをセットアップしてください。

9.2. 従業員画面へログインする

申請承認機能を使って、従業員からの打刻修正やスケジュール変更依頼を受けるときは、事前に従業員画面へのログイン方法を周知しましょう。ログイン方法は2通りあります。

従業員へログイン方法を通知する

[p.38](#) を参考に従業員のログイン情報をメール送信します。

タイムレコーダーからログインする

タイムレコーダーにて [タイムカード] ボタンをクリックした後、指情報、ICカード、パスワード等で認証します。認証に成功するとブラウザにてタイムカードが表示されます。

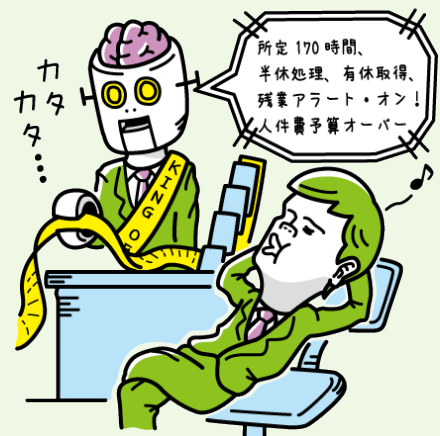


ピットタッチ・シリーズ等の打刻専用機からは、タイムカードにログインできません。

第2章 運用方法

第2章では、運用方法についてご案内いたします。

打刻データやスケジュール、休暇の管理方法を解説しますので、
引き続きご覧くださいませ。



1.「全メニュー」概要

日々の運用は、画面上部の「全メニュー」から操作します。

勤務データの閲覧・修正や、スケジュール管理、休暇管理、データのエクスポート方法などを行なうことができます。



各操作項目について解説します。

勤務データ

日別データ	日別の打刻データ、スケジュール、自動計算された勤怠集計を表示します。	p.77
月別データ	月別の出勤日数や休暇取得数、労働時間などの集計データを表示します。	p.80
年別データ	最大 12 ヶ月間の出勤日数や休暇取得数、労働時間などの集計データを表示します。	p.84
組織別データ	所属および雇用区分単位で集計した勤務データを、月別に表示します。	p.85

スケジュール

スケジュール管理	スケジュールの確認や登録を行ないます。	p.98
休暇管理	休暇の取得数や残数などを確認できます。	p.106

確認

エラー勤務	エラー勤務（打刻忘れや休暇残数の不足などによって正しく勤怠計算されていない勤務）を抽出して表示します。	p.90
締め状況	締め処理の状況を確認します。	p.95
申請承認	従業員や管理者からの申請を承認・棄却します。	p.96
働き方改革	働き方改革関連設定（時間外労働の上限規制、高度プロフェッショナル制度、年5日有休取得義務）のアラート対象従業員を表示します。詳細については、働き方改革マニュアル（P.11～）をご参照ください。 https://kotsp.info/manualfiles/kot_work_style_reform_manual.pdf	-

その他

従業員検索	従業員の姓や従業員コードから従業員を検索します。 検索結果から以下の操作などを行なうことができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・タイムカード画面の閲覧 ・従業員データの編集 ・タイムレコーダーURL送信（個人用タイムレコーダー） ・日別データ出力 ・タイムカード出力 ・従業員データの削除 ・代理ログイン（全権管理者のみ） など	p.119
エクスポート/ インポート	データの入出力操作を行ないます。 日別データや月別データ、タイムカードデータ等をエクスポートできます。 また、従業員データ等をインポートすることができます。	p.114
メッセージ管理	「Windows デスクトップ版タイムレコーダー」に、メッセージを表示させるときは、こちらのメニューにて登録します。	-

2. 勤務データを確認したい

記録された勤務データの確認方法を解説します。日、月、年単位の集計データを表示できます。

2.1. 日別データを確認する

日別の打刻データ、スケジュール、自動計算された勤怠集計を表示します。

【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 日別データ

2.1.1. 画面の説明

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示日などを指定します。
 [表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

オプション:

従業員の勤務先で表示…選択された所属で勤務した従業員のデータを確認します。
 打刻集約……………打刻データを1つのセルに表示します。



No.	名前	タイムカード	編集	締	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休始	休終	所定	所定外	残業
1	1001 勤怠一				通常勤務 <input type="checkbox"/>	平日	P 06/01 08:58	P 06/01 18:02			8.00		0.04
2	1002 勤怠二			<input checked="" type="checkbox"/>	シフト (10:30-19:30)	平日	P 06/01 10:35	編 06/01 19:42			7.55		0.12
3	1003 勤怠三				有休 <input checked="" type="checkbox"/>	平日							
				合計			出勤 2 人	退勤 2 人	休始 0 人	休終 0 人	15.55		0.16

日別データ

該当日に登録された打刻データ、スケジュール、自動計算された勤怠集計を確認します。
 確認方法は次頁をご参照ください。

日別データの各項目について

No.	名前	タイムカード	編集	締	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休始	休終	所定	所定外	残業	深
1	1001 勤怠一				通常勤務 <input type="checkbox"/>	平日	P 06/01 08:58	P 06/01 18:02			8.00		0.04	
2	1002 勤怠二			<input checked="" type="checkbox"/>	シフト (10:30-19:30)	平日	P 06/01 10:35	編 06/01 19:42			7.55		0.12	
3	1003 勤怠三				有休 <input type="checkbox"/>	平日								
				合計			出勤 2 人	退勤 2 人	休始 0 人	休終 0 人	15.55		0.16	

締	「締め処理 (p.94)」が行なわれた日にはチェックマーク (✓) が表示されます。
スケジュール	出退勤予定あるいは休暇取得を表示します。「パターン (p.47)」が登録されているときはパターン名が表示され、パターン登録されていない予定時刻が登録されているときは「シフト」と表示されます。
勤務日種別	当日の「勤務日種別 (p.50)」が表示されます。
出勤/退勤	打刻時刻と、打刻方法が表示されます。 打刻方法の表示例は打刻編集(p.87)をご参照ください。
備考	勤務データ編集画面 (p.86) にて備考を入力できます。また、申請メッセージを備考に反映するか否かを申請承認時に選択できます (p.97)。









勤怠項目の定義は、[p.120](#) をご参照ください。

2.1.2. 各種操作

日別データ画面では、以下の操作を行なうことができます。



位置	操作ボタン	機能概要
1	 	勤怠の締め/解除を行ないます (p.94)。 ※締め権限を持つ管理者のみに表示されます。
		該当日のスケジュールを、所属別に確認・編集します (p.103)。 ※所属が1つだけ選択表示されている時に表示されます。 ※スケジュールに管理権限を持つ管理者のみに表示されます。
2		日別データ画面を Excel 形式でダウンロードします。 ※データ出力権限を持つ管理者のみに表示されます。
3	 (タイムカード)	タイムカード画面 (p.82) を開きます。
	 (編集)	勤務データを編集します (p.86)。

2.2. 月別データを確認する

月別の出勤日数や休暇取得数、労働時間などの集計データを表示します。

【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 月別データ

2.2.1. 画面の説明

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示期間などを指定します。

【表示】 ボタンのクリックでデータが表示されます。

表示期間:

月別…月単位の集計データを確認します。

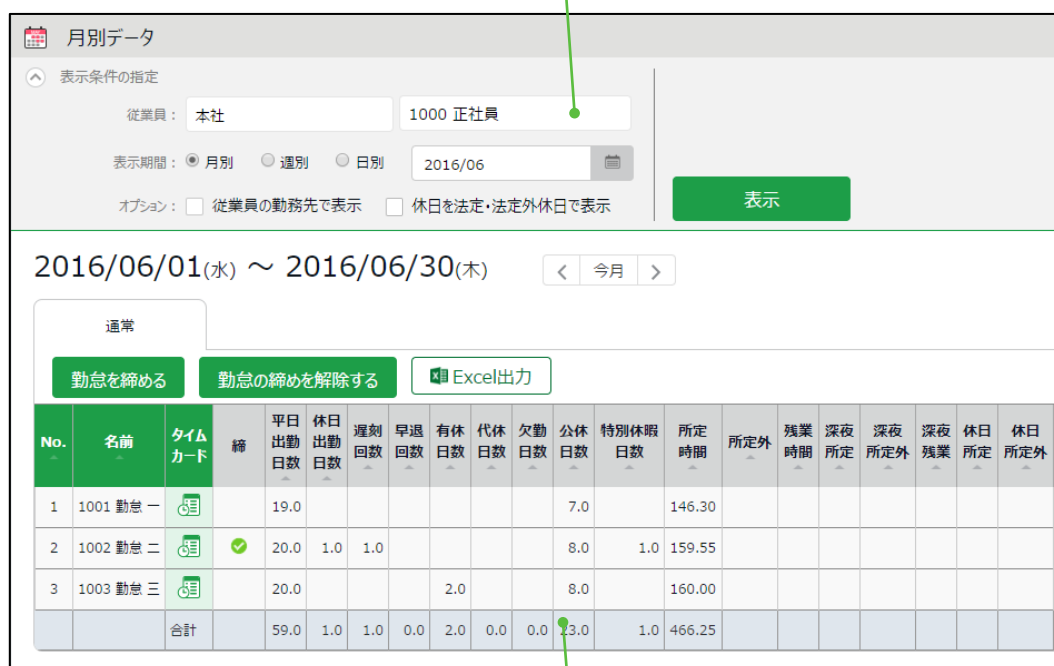
週別…週単位の集計データを確認します。

日付…指定した期間（最大3ヶ月間）の集計データを確認します。

オプション:

従業員の勤務先で表示…選択された所属で勤務した従業員のデータを確認します。

休日を法定・法定外休日に表示…休日労働時間を勤務日種別で分けて確認します。



月別データ

表示条件の指定

従業員: 本社 1000 正社員

表示期間: 月別 週別 日別 2016/06

オプション: 従業員の勤務先で表示 休日を法定・法定外休日に表示

表示

2016/06/01(水) ~ 2016/06/30(木) < 今月 >

通常

勤怠を締める 勤怠の締めを解除する Excel出力

No.	名前	タイムカード	締	平日 出勤 日数	休日 出勤 日数	遅刻 回数	早退 回数	有休 日数	代休 日数	欠勤 日数	公休 日数	特別休暇 日数	所定 時間	所定外	残業 時間	深夜 所定	深夜 所定外	深夜 残業	休日 所定	休日 所定外
1	1001 勤怠一			19.0							7.0		146.30							
2	1002 勤怠二		✓	20.0	1.0	1.0					8.0	1.0	159.55							
3	1003 勤怠三			20.0				2.0			8.0		160.00							
	合計			59.0	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	23.0	1.0	466.25							

月別データ

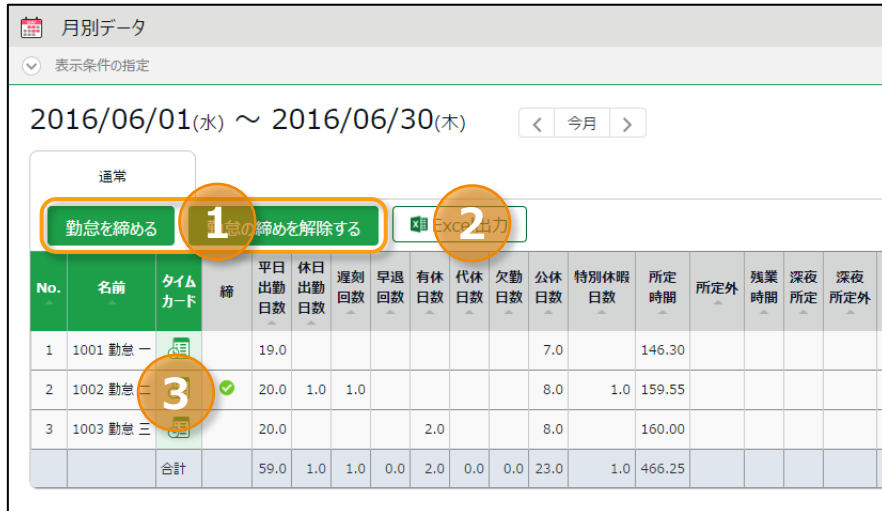
出勤日数や休暇日数、労働時間などの集計データを確認します。

「締」…締め処理の状況 (p.94) を表示します。

表示期間のすべての日が締められている場合は マークが表示されます。


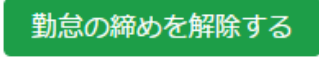
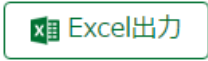

2.2.2. 各種操作

月別データ画面では、以下の操作を行なうことができます。



The screenshot shows the '月別データ' (Monthly Data) screen for the period 2016/06/01 (水) ~ 2016/06/30 (木). The interface includes a '表示条件の指定' (Specify display conditions) dropdown, a date range selector, and a '通常' (Normal) filter. Three callouts are present: '1' points to the '勤怠を締める' (Summarize attendance) and '勤怠の締めを解除する' (Unsummarize attendance) buttons; '2' points to the 'Excel出力' (Excel export) button; and '3' points to the 'タイムカード' (Time card) icon in the table header.

No.	名前	タイムカード	締	平日 出勤 日数	休日 出勤 日数	遅刻 回数	早退 回数	有休 日数	代休 日数	欠勤 日数	公休 日数	特別休暇 日数	所定 時間	所定外	残業 時間	深夜 所定	深夜 所定外
1	1001 勤怠一			19.0							7.0		146.30				
2	1002 勤怠二		✓	20.0	1.0	1.0					8.0	1.0	159.55				
3	1003 勤怠三			20.0				2.0			8.0		160.00				
	合計			59.0	1.0	1.0	0.0	2.0	0.0	0.0	23.0	1.0	466.25				

位置	操作ボタン	機能概要
1	 	勤怠の締め/解除を行ないます (p.94)。 ※締め権限を持つ管理者のみに表示されます。
2		月別データ画面を Excel 形式でダウンロードします。 ※データ出力権限を持つ管理者のみに表示されます。
3	 (タイムカード)	タイムカード画面を開きます (p.82)。

2.3. タイムカードを確認する

従業員一人ひとりの月別データと日別データを、月別に表示します。

- 【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 月別データ > [タイムカード] ボタン
 ※ [タイムカード] ボタンは、日別データ、スケジュール管理にも表示されています。

2.3.1. 画面の説明

表示条件の指定

表示月を指定します。
 [表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

オプション:

打刻集約.....打刻データを1つのセルに表示します。
 休日を法定・法定外休日に表示...休日労働時間を勤務日種別で分けて確認します。

The screenshot shows the 'タイムカード' (Time Card) interface. At the top, there's a '表示条件の指定' (Specify display conditions) section with a dropdown for '従業員' (Employee) set to '本社 / 正社員 / 1001 勤怠' and a date selector for '表示月' (Display month) set to '2016/06'. There are checkboxes for '打刻集約' (Summarize time cards) and '休日を法定・法定外休日に表示' (Display holidays as legal/extra-legal holidays), and a green '表示' (Display) button.

Below this is the main data area for '2016/06/01(水) ~ 2016/06/30(木)'. It includes a 'スケジュール編集' (Edit schedule) button, a 'タイムカード' dropdown, and an '出力' (Output) button. The '月別データ' (Monthly data) section contains a '時間集計' (Time summary) table:

	所定時間	所定外	残業	深夜所定	深夜所定外	深夜残業	遅刻	早退	休憩	労働合計
平日	143.49	0.11	6.33			1.38	0.11		19.00	165.50
休日	11.45		1.54							

Below the time summary is a '日数集計' (Days summary) table:

平日	休日	遅刻	早退	有休	代休	欠勤	公休
18.0	2.0	1	0	0.0 (残 18.0)	0.0 (残 0.0)	0.0	7.0

The '日別データ' (Daily data) section shows a table with columns for '編集', '日付', '種別', 'スケジュール', '勤務日種別', '出勤', '退勤', '休憩開始', '休憩終了', '所定', '所定外', '残業', '深夜所定', '深夜所定外', '深夜残業', '休日所定', and '休日所定外'. The data rows show dates from 06/01 to 06/04 with corresponding schedule and time card details. A red triangle warning icon is visible next to the date 06/02.

月別データ

出勤日数や休暇日数、労働時間などの集計データを確認します。

日別データ

打刻データ、スケジュール、勤務集計を確認します。
 日付の横に ⚠️ マークが表示され、薄赤色にハイライトされている日は「エラー勤務」となり、修正が必要です。

2.3.2. 各種操作

タイムカード画面では、以下の操作を行なうことができます。

The screenshot shows the 'タイムカード' (Time Card) management screen. At the top, there are filters for employee type (社員 / 正社員 / 1001 勤怠) and a date selector set to '2016/06'. A '表示' (Display) button is on the right. Below this, the period '2016/06/01(水) ~ 2016/06/30(木)' is shown with navigation arrows. A 'スケジュール編集' (Schedule Edit) button is highlighted with a '1' callout. A 'タイムカード' dropdown menu is highlighted with a '2' callout, showing options for 'タイムカード' and '出力' (Output). The main area contains two summary tables: '時間集計' (Time Summary) and '日数集計' (Day Count Summary). The '日数集計' table has a '休暇詳細表示' (Show Vacation Details) button highlighted with a '3' callout. At the bottom, a '日別データ' (Daily Data) table is shown with an '編集' (Edit) button highlighted with a '4' callout. The table lists dates from 06/01 to 06/04 with columns for attendance, start/end times, and various leave types.

位置	操作ボタン	機能概要
1		1ヶ月のスケジュールをまとめて編集できます (p.102)。 ※スケジュール設定について申請以上の権限をもつ管理者のみに表示されます。
2		タイムカードを、PDF形式、またはExcel形式でダウンロードします。
3		休暇詳細画面を開きます (p.109)。
4		勤務データを編集します (p.86)。

2.4. 年別データを確認する

最大 12 ヶ月間の出勤日数や休暇取得数、労働時間などの集計データを表示します。

【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 年別データ

※集計値を表示する前に「月別データ」から該当月の集計データを表示してください。

「月別データ」で表示した集計情報が「年別データ」に反映されます。

2.4.1. 画面の説明

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示期間（最大 12 ヶ月）を選びます。

[選択] ボタンをクリックすると勤怠項目の選択画面が表示されますので、表示したい項目にチェックします。

[表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。



2017 年別データ

表示条件の指定

従業員:

表示期間:

項目選択:

No.	名前	04		05		06		合計	
		残業時間	深夜残業時間	残業時間	深夜残業時間	残業時間	深夜残業時間	残業時間	深夜残業時間
1	1001 勤怠一			0.12		13.33	2.27	13.45	2.27
2	1002 勤怠二			0.07		0.19		0.26	
3	1003 勤怠三					4.57		4.57	
	合計			0.19		18.49	2.27	19.08	2.27

年別データ

選択した期間の集計を表示します。

2.4.2. 各種操作

Excel出力

年別データ画面を Excel 形式でダウンロードします。

2.5. 組織別データを確認する

所属および雇用区分単位で集計した勤務データを、月別に表示します。

【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 組織別データ

2.5.1. 画面の説明

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示期間などを指定します。

【表示】 ボタンのクリックでデータが表示されます。

集計単位:

「所属」、「雇用区分」など、集計値を確認したい単位を選択します（複数選択可）。

オプション:

従業員の勤務先で表示…選択された所属で勤務した従業員のデータを確認します。

休日を法定・法定外休日で表示…休日労働時間を勤務日種別で分けて確認します。

組織別データ

表示条件の指定

従業員: 全ての所属 全ての雇用区分

表示期間: 月別 連別 日別 2016/06

集計単位: 所属 雇用区分

オプション: 従業員の勤務先で表示 休日を法定・法定外休日で表示

表示

2016/06/01(水) ~ 2016/06/30(木) < 今月 >

通常

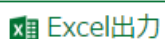
Excel出力

No.	所属名	在籍従業員数	平日出勤日数	休日出勤日数	遅刻回数	早退回数	有休日数	代休日数	欠勤日数	公休日数	特別休暇日数	所定時間	所定外	残業時間	深夜所定	深夜所定外	深夜所定外	
1	1000 本社	6	59.0	2.0	2.0		0.5			23.0	2.0	458.25	0.37	18.49	5.30		2	
2	3000 名古屋事業所	1	1.0				1.0					8.00						
3	4000 大阪事業所	2																
合計		9	60.0	2.0	2		1.5			23.0	2.0	466.25	0.37	18.49	5.30		2	

組織別データ

出勤日数や休暇取得数、労働時間などを、所属または雇用区分の単位で集計した値を表示します。

2.5.2. 各種操作



組織別データ画面を Excel 形式でダウンロードします。

3. 勤務データを修正したい

打刻忘れやスケジュールの誤りによってエラーとなった勤務データを修正することができます。

3.1. 勤務データを編集する

打刻データやスケジュールの編集画面について解説します。

【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 日別データ > [編集] ボタン
 ※ [編集] ボタンは、タイムカード画面にも表示されています。

3.1.1. 画面の説明

保存
変更内容を保存します。

打刻編集
打刻データを編集します。

スケジュール編集
スケジュールデータを編集します。

時間計算結果
この日の計算結果が表示されます。 [計算手順の表示] ボタンをクリックすると勤怠計算の算出過程を表示します。

勤務データ編集
 本社 / 正社員 / 1001_勤怠二
 2016/06/02(木)
 編集履歴を参照 勤怠を総める 勤務を完全に削除 保存

打刻編集

打刻種別	打刻方法	打刻時刻	打刻所属	削除
出勤	P	2016/06/02 08:29	本社	<input type="checkbox"/>
退勤	編	2016/06/02 18:00	本社	<input type="checkbox"/>
--選択してください--		2016/06/02 hhmm	本社	<input type="checkbox"/>
--選択してください--		2016/06/02 hhmm	本社	<input type="checkbox"/>

打刻追加

スケジュール編集

通常スケジュール編集

パターン: 通常勤務

出勤/退勤予定: 出勤: 当日 09:00 退勤: 当日 18:00

勤務制限: 開始時刻: 当日 hhmm 終了時刻: 当日 hhmm

休憩予定: 休憩開始: 当日 12:00 休憩終了: 当日 13:00
 休憩開始: 当日 hhmm 休憩終了: 当日 hhmm

休憩予定追加

休憩予定時間: 予定時間: 分

勤務日種別: 平日

半休種別: --

出勤所属: 本社

自動休憩無効: --

備考

時間計算結果

平日							遅刻	早退	休憩
所定	所定外	残業	深夜所定	深夜所定外	深夜残業				
8.00		0.31							1.00

計算手順の表示

保存

打刻編集

打刻データを編集します。

打刻編集					
打刻種別	打刻方法	打刻時刻		打刻所属	削除
出勤	P	2016/06/02	08:29	本社	<input type="checkbox"/>
退勤		2016/06/02	18:00	本社	
--選択してください--		2016/06/02	hhmm	本社	
退勤		2016/06/02	hhmm	本社	
休憩開始		2016/06/02	hhmm	本社	
休憩終了		2016/06/02	hhmm	本社	
<input type="button" value="打刻追加"/>					

打刻種別	出勤、退勤、休憩開始、休憩終了など、打刻の種別を選択します。
打刻方法	打刻手段が自動表示されます。
打刻時刻	打刻時刻が表示されます。編集する時は時刻を入力してください。 入力形式は「hh:mm」または「hhmm」です。
打刻所属	打刻を行なったタイムレコーダーの所属名が自動的に反映されます。
削除	打刻データを削除したいときにチェックします。
打刻追加	このボタンをクリックすると打刻編集欄が1行追加されます。 1日の打刻回数に制限はありません。



打刻方法の種類は、以下のものがあります。

HB	指ハイブリッドリーダー または BT-2000
静	指静脈リーダー
指	指紋リーダー
IC	ICカードリーダー または ピットタッチ・シリーズ または BT-2000
顔	顔認証レコーダー
CC	カメレオンコードレコーダー
P	パスワード認証
C	クリック認証（パスワードなし） ※
携帯	スマートフォン または 携帯電話での打刻
位置	位置情報を取得した打刻
A	WebAPI サービスを利用した外部システムからの打刻
LW	LINE WORKS を利用した打刻
AK	Akerun を利用した打刻
SL	セキュアログイン を利用した打刻
編	打刻編集による打刻
認	申請承認による打刻

※Myレコーダーなどで位置情報を取得せず、パスワード入力もせず打刻をすると、「クリック認証」となります。

スケジュール編集

「パターン」を選択すると、あらかじめパターン設定にて登録した予定時刻が適用されます。その他、各項目を直接入力することもできます。

スケジュール編集

通常スケジュール編集

パターン: 通常勤務 ▼

出勤/退勤予定: 出勤: 当日 ▼ 09:00 退勤: 当日 ▼ 18:00

勤務制限: 開始制限: 当日 ▼ hhmm 終了制限: 当日 ▼ hhmm

休憩予定: 休憩開始: 当日 ▼ 12:00 休憩終了: 当日 ▼ 13:00
 休憩開始: 当日 ▼ hhmm 休憩終了: 当日 ▼ hhmm
休憩予定追加

休憩予定時間: 予定時間: 分

勤務日種別: 平日 ▼

半休種別: -- ▼

出勤所属: 本社 ▼

自動休憩無効: -- ▼





備考:

パターン	パターンを選択します。パターンは「パターン設定 (p.47)」で作成します。
出勤/退勤予定	出退勤の予定時刻を入力します。
勤務制限	勤怠計算を行なう時間帯を設定します。 開始制限以前、終了制限以降の勤務は計算結果に含みません。
休憩予定	「休憩開始予定」から「休憩終了予定」までを休憩時間とします。
休憩予定時間	入力した時間を休憩時間として自動計算します。 休憩とする時間帯は指定できません。
勤務日種別	休日勤務かどうかを判定します。指定がない場合は「平日」となります。 「法定外休日」または「法定休日」を選択した場合、その日の勤務は「休日出勤日数」「休日所定時間」「休日所定外時間」「休日深夜所定時間」「休日深夜所定外」に計上されます。
半休種別	半日休暇（午前休み、または午後休み）を取得します。
出勤所属	勤務した所属を表示します。 最後に打刻を行なったタイムレコーダーの所属名が自動的に反映されます。
自動休憩無効	スケジュール、または雇用区分設定による自動休憩取得を無効にします。
備考	この日の勤怠に関する備考を 100 文字以内で入力できます。

3.1.2. 各種操作


勤務データ編集画面の各ボタンについて解説します。



位置	操作ボタン	機能概要
1		勤務データの編集履歴を参照します。 ※編集履歴が存在する日の編集画面に表示されます。
		勤怠の締め処理を行いません (p.94)。 ※締め権限を持つ管理者のみに表示されます。
		その日の勤務データをすべて削除して初期化します。 ただし編集履歴は残ります。
2		変更を保存します。保存後、前の画面に戻るには画面上部の [< 戻る] ボタンをクリックしてください。

3.2. エラー勤務をチェックする

エラー勤務とは、打刻忘れや休暇残数の不足などによって正しく勤怠計算されていない勤務です。

エラー勤務が存在すると、ホーム画面の「対応が必要な処理」に「」マークが表示されます。これらの項目をクリックすると、エラー勤務画面が表示されます。

(全メニュー > エラー勤務 からアクセスできます。)



タブ切替

ホーム画面から遷移すると、クリックした種類のエラー勤務一覧が表示されます。タブを切り替えて、他の種類のエラー勤務を確認することができます。

打刻エラー勤務

表示条件の指定

従業員: 全ての雇用区分

表示期間: 月別 週別 日別 2017/05

2017/05/01(月) ~ 2017/05/31(水) < 今月 >

所属	雇用区分	名前	タイムカード	編集	締	勤務日	出勤時刻	退勤時刻	休始時刻	休終時刻	エラー理由
1000 本社	1000 正社員	1001 勤怠一				2017-05-02		P 05/02 18:31			出勤打刻が最初に行われていません。
1000 本社	1000 正社員	1001 勤怠一				2017-05-15	P 05/15 09:00				出退勤のペアが揃っていません。
1000 本社	1000 正社員	1001 勤怠一				2017-05-20	P 05/20 11:24	P 05/20 17:29			休暇パターンに対して打刻が行われています。

操作ボタン

タイムカード	タイムカード画面を開きます。
編集	勤務データを編集します。

3.2.1. 修正方法

エラー勤務の修正方法を解説します。

打刻エラー勤務

主なエラー理由と修正方法は以下となります。打刻あるいはスケジュールの修正が必要です。

主なエラー理由	修正方法
出勤打刻が連続しています。	不整合な打刻データが存在します。 編集または申請承認によって、 打刻データを修正してください。
出退勤のペアが揃っていません。	
出勤打刻が最初に行われていません。	
休暇パターンに対して 打刻が行われています。	休暇パターンを割り当てた日（休日）に打刻データが存在するとエラー理由となります。 当日のスケジュールを勤務パターンへ変更することで正しく集計されるようになります。

休暇残数不足

休暇残数を超えて休暇取得されている勤務です。

休暇管理画面 ([p.106](#)) にて、残数の調整を行なってください。



以下の設定を事前に行なうことで残数以上の休暇を取得できなくなり、休暇残数不足エラーを未然に防ぐことができます。

負数の許可

ホーム画面の「設定」 > スケジュール > 休暇区分設定 > 編集 > 負数の許可にて、「0日を切る場合は取得不可とする」のチェックボックスをオンにする。

現在から、過去2ヶ月以内にエラー勤務が存在するときに、ホーム画面の「対応が必要な処理」に表示されます。

3.3. 在職外勤務をチェックする

在職外勤務とは、退職年月日より後、あるいは入社年月日より前に存在する打刻データやスケジュールデータを指します。

在職外勤務が存在すると、ホーム画面の「対応が必要な処理」に「**▲ 在職外勤務**」と表示されます。この項目をクリックすると、エラー勤務画面内の「在職外勤務」タブが表示されます。

(全メニュー > 確認 > エラー勤務 > 「在職外勤務」タブからもアクセスできます。)



▲ **在職外勤務**

表示条件の指定

従業員： 表示

※「従業員設定」より入社日、または退職日を変更することで、表示されている在職外の勤怠情報を日別データ等より参照することができます。

打刻エラー勤務
休暇残数不足
在職外勤務

Excel出力

No.	所属	雇用区分	名前	従業員設定	一括削除	入社日	退職日	打刻件数		スケジュール件数	
								入社前	退職後	入社前	退職後
1	1000 本社	1000 正社員	1004 勤怠 四	従業員設定	一括削除	2007-04-01	2016-05-30		3		65

操作ボタン	
従業員設定	従業員設定画面を開きます。
一括削除	入社日前・退職日後の勤務データを一括で完全に削除します。

打刻件数 / スケジュール件数
入社日前・退職日後に以下の日数が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 打刻されている日数 スケジュール登録されている日数

3.3.1. 修正方法

在職外勤務は、以下のいずれかの方法で修正します。

詳細を確認して、退職日または勤務データを修正する

1. 在職外勤務画面にて「従業員設定」ボタンをクリックすると、従業員登録画面に遷移します。「雇用情報」カテゴリの「詳細」ボタンをクリックし、退職日（または入社日）を、一旦、削除して登録してください。



雇用情報

所属(必須): 本社

所属変更/履歴

雇用区分(必須): 正社員

雇用区分変更/履歴

入社日: 西暦 2007 年 04 月 01 日

退職日: 西暦 2016 年 05 月 30 日

2. 全メニュー > 勤務データ > 月別データを開き、対象者の「出勤表」をクリックします。退職日（または入社日）を削除したことで、退職日より後（入社日より前）の勤務データが表示されますので、詳細を確認してください。

日付	締	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休憩開始	休憩終了	所定	所定外	残業	深
05/29 (日)		公休	法定休日								
05/30 (月)		通常勤務	平日	P 08:56	P 18:10			8.00		0.14	
05/31 (火)		通常勤務	平日	P 08:51	P 18:04			8.00		0.13	

3. 退職日が誤りであった場合は、従業員設定に戻り、正しい退職日を登録してください。勤務データが誤りであった場合は、勤務データの削除後に退職日を入力し直してください。

在職外の勤務を一括削除する

在職外勤務画面にて「一括削除」ボタンをクリックすると、確認画面表示の後に、退職日より後、入社日より前の打刻データとスケジュールデータを一括削除することができます。

この操作は在職期間内の勤務データや、従業員データに影響はありません。

勤務データが何らかの誤りによって記録されたものである場合は、この操作によって在職外の打刻データとスケジュールデータを削除してください（編集履歴は残ります）。

4. 勤務データを確定したい

締め処理によって勤務データがロックされます。

従業員や一般管理者による操作を制限し、全権管理者だけが編集を行なえるようになります。

給与計算等を行なった後に勤務データが変更されることを防ぎます。

4.1. 締め処理を行なう

【アクセス方法】締め処理は、以下の3つの画面から行なうことができます。

- ・ 全メニュー > 勤務データ > 日別データ
- ・ 全メニュー > 勤務データ > 月別データ
- ・ 日別データ、またはタイムカード（出勤表） > 勤務データ編集

上記画面で「勤怠を締める」ボタンをクリックしてください。確認画面表示後に締め処理が完了します。対象期間にエラー勤務が存在する場合は締め処理は行なえません。



勤怠を締める		勤怠の締めを解除する		Excel出力					
No.	所属	雇用区分	名前	タイムカード	締	平日出勤日数	休日出勤日数	遅刻回数	早退回数
1	1000 本社	1000 正社員	1001 勤怠一			20.0			
2	1000 本社	1000 正社員	1002 勤怠二		✓	20.0	1.0	1.0	

締められた日は、日別データ、タイムカードの「締」欄に マークが表示されます。

月別データでは、すべての日が締められている場合のみ マークが表示されます。

4.2. 締め処理を行なえるアカウント

全権管理者、または「締め」権限を付与された一般管理者で勤怠処理を行なうことができます。

「勤怠を締める」、 「勤怠の締めを解除する」 ボタンは、

権限がある管理者アカウントでログインした場合には表示されます。

権限は、管理者設定にて管理者を作成するときに付与することができます。

4.3. 締め状況をチェックする

締め状況画面にて、締め処理の状況を確認することができます。

【アクセス方法】 全メニュー > 確認 > 締め状況

4.3.1. 画面の説明

締め状況

表示条件の指定

所属: 全ての所属 | 全ての雇用区分

表示期間: 2016/06

表示

2016/06/01(水) ~ 2016/06/30(木) < 今月 >

※各所属の対象日をクリックすると、対象所属のその日の締め状況を確認することができます。

Excel出力

No.	所属	01 水	02 木	03 金	04 土	05 日	06 月	07 火	08 水	09 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木
1	1000 本社		✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
2	2000 札幌事業所		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
3	3000 名古屋事業所		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓
4	4000 大阪事業所		✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓

締め状況

日毎の締め状況を、所属別に表示します。

その所属のすべての従業員が締められているときは マークが表示されます。

対象日をクリックするとポップアップで詳細状況が表示され、締めが行われた、または解除された状況の詳細を確認できます。

本社 2016/06/03(金) の締め状況

雇用区分	名前	締め日時	管理者名	締め解除日時	解除管理者名
正社員	1001 勤怠一	2016/07/07 11:56	全権管理者	2016/07/07 13:36	全権管理者
正社員	1002 勤怠二	2016/08/15 11:46	全権管理者		
正社員	1003 勤怠三				
正社員	1004 勤怠四				

閉じる

5. 申請を承認したい

従業員や管理者からの打刻修正や、スケジュール変更依頼を受けることができます。

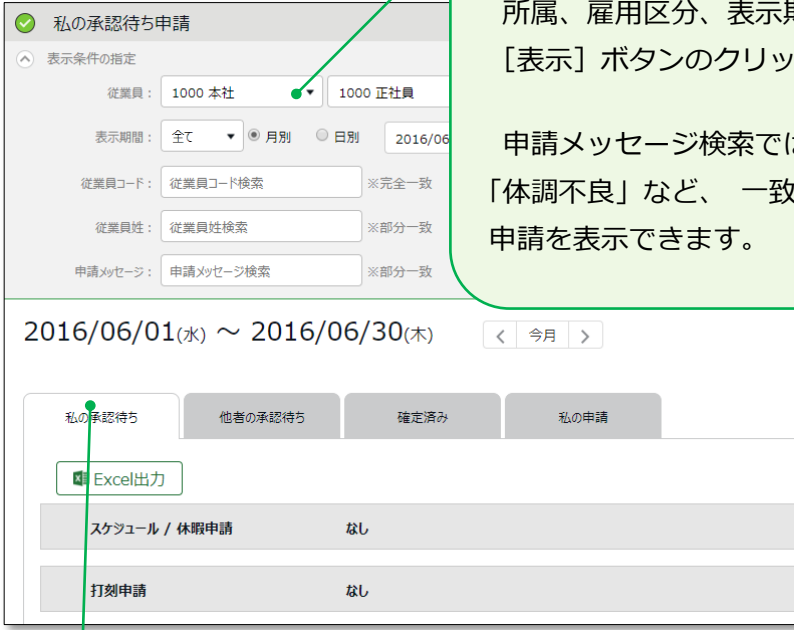
5.1. 申請をチェックする

申請承認画面にて、申請状況を確認します。

【アクセス方法】 全メニュー > 確認 > 申請承認

5.1.1. 画面の説明

表示条件の指定



The screenshot shows the '私の承認待ち申請' (My Pending Approval Applications) screen. It includes search filters for employee department (1000 本社), display period (2016/06), and search criteria (employee code, name, message). Below the filters are tabs for '私の承認待ち', '他者の承認待ち', '確定済み', and '私の申請'. An 'Excel出力' button is also visible. The main content area shows a table with columns for 'スケジュール / 休暇申請' and '打刻申請', both currently showing 'なし' (None).

所属、雇用区分、表示期間などを指定します。
 [表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。



申請メッセージ検索では「私用」「結婚式」「体調不良」など、一致したメッセージが含まれる申請を表示できます。

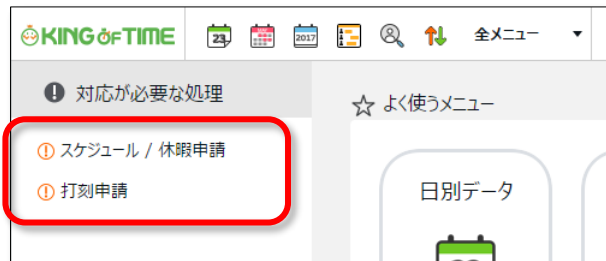
申請承認メニュー

4つのタブに分かれており、それぞれのステータスの申請処理状況を確認できます。

タブ名	表示内容
私の承認待ち	あなたに対応する申請を表示します。
他者の承認待ち	あなたが申請承認フローに含まれる申請を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> あなたが承認した後、上位承認者の対応を待っている申請 下位承認者の対応を待っており、後にあなたに対応する申請
確定済み	あなたが申請承認フローに含まれる申請のうち、確定されたものを表示します。棄却、あるいは最終承認者によって承認することで確定します。
私の申請	あなたが管理者として代理申請を行った申請の処理状況を確認します。代理申請は、管理者の設定で「■ 閲覧・申請」の権限を付与された管理者が行なうことができます。

5.2. 申請を承認する

- 自分が承認すべき申請が存在すると、ホーム画面の「対応が必要な処理」に「 スケジュール／休暇申請」、「 打刻申請」などと表示されます。これらの項目をクリックすると、私の承認待ち申請画面が表示されます。（全メニュー > 確認 > 申請承認からもアクセスできます。）



- 表示条件を指定して [表示] ボタンをクリックします。「あり」と表示された部分をクリックすると詳細が展開し、承認または棄却を行なうことができます。

対応内容

[承認] または [棄却] ボタンをクリックして対応します（即時処理されます）。最終承認者による承認時に、「タイムカードにコピー」のチェックがオンになっていると、「申請メッセージ」または「管理者コメント」がタイムカードの「備考」にコピーされます。



チェックしたすべての申請を一括処理します。

勤務データ
勤務データの詳細を確認します。

対応内容	対象日	締	対象従業員	申請内容 (打刻)
<input type="checkbox"/> 承認 <input type="checkbox"/> 棄却 管理者コメントを入力 タイムカードにコピー: <input type="checkbox"/> 管理者コメント <input checked="" type="checkbox"/> 申請メッセージ	2016 06/15 (水)		1001 勤怠 一 1000 本社 1000 正社員 打刻先所属: 1000 本社	2016/06/15(水) 19:00 (退勤) 申請者: 勤怠 一 申請日時: 2017/05/23 18:20 申請メッセージ: 打刻誤り 申請前: 2016/06/15(水) 18:02 (退勤)



- 申請時に管理者へメール通知されます。承認・棄却時は従業員へメール通知されます。
- メール通知するには管理者、従業員それぞれメールアドレスを登録する必要があります。

6. スケジュールを管理したい

スケジュール管理について解説します。

6.1.1. スケジュールを登録する方法

スケジュールは、以下4つのいずれかの方法で登録します。

スケジュールを自動登録する

事前に「自動スケジュール設定 (p.54)」を行なうことで、各曜日に設定した基本スケジュールを、自動登録します。

スケジュール申請を行なう

従業員がタイムカードにログインして、スケジュール変更申請を行なうことができます。休暇の取得や、シフト変更などを申請するときに便利です。

スケジュールを登録する

管理画面にて、スケジュールを手動登録します。次頁から手順をご案内いたします。

スケジュールをインポートする

全メニュー > エクスポート/インポート > データ入力 (インポート) > 「スケジュールデータ [CSV]」より、インポートして登録することもできます。

6.2. スケジュールを登録する

スケジュール管理から、スケジュールの確認や登録を行ないます。

【アクセス方法】 全メニュー > スケジュール > スケジュール管理

6.2.1. 画面の説明

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示期間などを指定します。
 [表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

表示期間:

月別…月単位の集計データを確認します。
 週別…週単位の集計データを確認します。
 日付…指定した期間（最大3ヶ月間）の集計データを確認します。

オプション:

パターン名を省略しない…表示時にスケジュールパターン名が省略されなくなります。

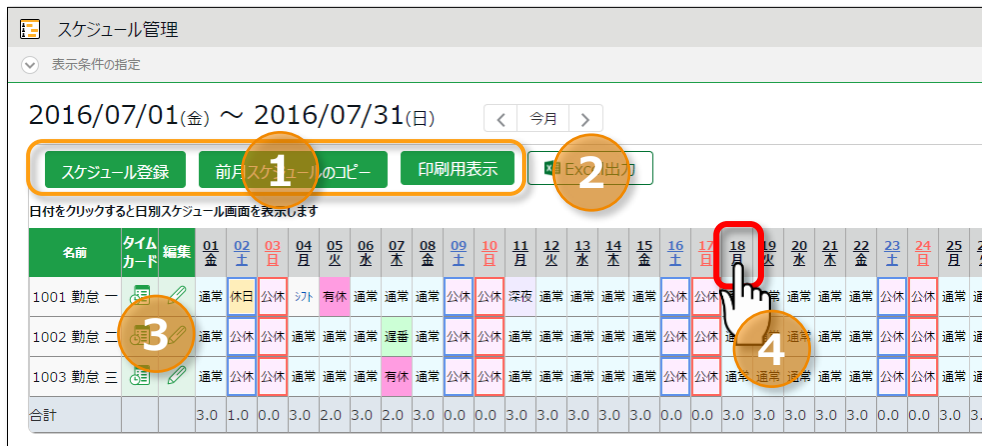
名前	タイムカード	編集	01 金	02 土	03 日	04 月	05 火	06 水	07 木	08 金	09 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金
1001 勤怠一			通常	休日	公休	シフト	有休	通常	通常	通常	公休	公休	深夜	通常	通常	通常	通常	公休	公休	通常	通常	通常	通常	通常
1002 勤怠二			通常	公休	公休	通常	通常	通常	遅番	通常	公休	公休	通常	通常	通常	通常	通常	公休	公休	通常	通常	通常	通常	通常
1003 勤怠三			通常	公休	公休	通常	通常	通常	有休	通常	公休	公休	通常	通常	通常	通常	通常	公休	公休	通常	通常	通常	通常	通常
合計			3.0	1.0	0.0	3.0	2.0	3.0	2.0	3.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0

スケジュール一覧

登録されているスケジュールを表示します。
 「シフト」と表示された日には、パターン化されていないスケジュールが登録されています。
 勤務日種別が法定休日のときは赤色、法定外休日のときは青色の枠線が表示されています。
 最終行の「合計」では、スケジュールに基づいた予定人員数を表示します

6.2.2. 各種操作

スケジュール管理画面では、以下の操作を行なうことができます。



位置	操作ボタン	機能概要
1		所属単位で一括スケジュール登録します（次頁）。 ※所属が 1 つだけ選択表示されている時に表示されます。
		前月のスケジュールをコピーして登録します。同じスケジュールを繰り返したい際にお使いいただけます。 ※所属が 1 つだけ選択表示されている時に表示されます。
		印刷用ページを表示します。 ※カラー印刷するときには、Google Chrome の場合、Chrome メニューの「印刷」>「詳細設定」>「背景のグラフィック」のチェックをオンにしてください。
2		スケジュール管理画面を Excel 形式でダウンロードします。
3	 (タイムカード)	タイムカード画面を開きます (p.82) 。
	 (編集)	月別スケジュール登録画面を開きます (p.102) 。
4	(日付)	所属が 1 つだけ選択表示されているときに日付をクリックすると、日別スケジュール画面 (p.103) を表示します。 該当日のスケジュールを、所属別に確認・編集します。

6.2.3. スケジュールを登録する

所属毎にまとめてシフト表を作成する手順を解説します。

1. スケジュール管理画面にて、1つの所属を選んだ状態で表示してください。
[スケジュール登録] ボタンが表示されますので、これをクリックします。
2. 「コピー元スケジュール」で設定したスケジュールが、
チェックボックスをクリックした日の勤務データに反映されます。
これを繰り返して1ヶ月のシフト表を作成します。

コピー元スケジュール

登録したいスケジュールを選択します。パターンを選択すると、予め登録された予定時刻が適用されます。「詳細項目設定」をクリックすると、スケジュールの各項目を直接入力することもできます。

コピー先

従業員と対象日の一覧が表示されています。
チェックボックスをクリックすると、「コピー元スケジュール」で設定したスケジュールがその日のスケジュールに適用されます。
「全て」欄をチェックすると、全てのスケジュールに適用されます。

3. 最後に [保存] ボタンをクリックしてスケジュールを確定してください。

6.2.4. 一人ずつスケジュールを登録する

従業員毎にスケジュールを登録する手順を解説します。

1. スケジュール管理画面にて [編集] ボタンをクリックします。

名前	タイムカード	編集	01月	02火	03水	04木	05金	06土
1001 勤怠一			通常	通常	通常	通常	通常	公休
1002 勤怠二			通常	遅番	通常	通常	通常	休日
1003 勤怠三			出張	有休	出張	通常	通常	公休

2. 月別スケジュール登録画面が表示されます。「コピー元スケジュール」で設定したスケジュールが、チェックボックスをクリックした日の勤務データに反映されます。

月別スケジュール登録

表示条件の指定
表示期間: 2016/08 表示

本社 / 正社員 / 1001 勤怠一

2016/08/01(月) ~ 2016/08/31(水)

はじめに、(1)コピー元スケジュール欄で適用したいスケジュールを設定してください。その後、(2)スケジュール表のチェックボックスを選択することで、各日付に適用します。

(1)コピー元スケジュール

パターン: 深夜勤務 勤務日種別: 指定なし 平日 法定休日 法定外休日

詳細項目設定

出勤/退勤予定	出勤: 当日 20:00	退勤: 翌日 05:00
休憩予定時間	予定時間: 分	
半休種別	--	
出勤所属	--	
備考		

コピー元スケジュール

登録したいスケジュールを選択します。パターンを選択すると、予め登録された予定時刻が適用されます。「詳細項目設定」をクリックすると、スケジュールの各項目を直接入力することもできます。

適用

(2)スケジュール表

登録

日付	コピー	種	スケジュール	休憩予定時間	勤務日種別	半休種別	出勤所属	備考 (全て)
08/01 (月)	<input type="checkbox"/>		深夜勤務		平日	--	本社	詳細
08/02 (火)	<input checked="" type="checkbox"/>		通常勤務		平日	--	本社	詳細

備考

[詳細] ボタンをクリックすると備考欄が展開します。

コピー先

対象日の一覧が表示されています。チェックボックスをクリックすると、「コピー元スケジュール」で設定したスケジュールがその日のスケジュールに適用されます。

3. 最後に [登録] ボタンをクリックしてスケジュールを確定してください。

102

第2章 運用方法

6.2.5. 日別にスケジュールを登録する

所属毎に、各時間帯の人員数を確認しながらスケジュール登録することができます。

1. スケジュール管理画面にて、1つの所属を選んだ状態で表示してください。
日付がリンクとなっていますので、クリックします。



2. 日別スケジュール画面が表示されます。

表示条件の指定

所属、雇用区分、表示日などを指定します。
[表示] ボタンのクリックでデータが表示されます。

表示期間:
当日の24時間を表示する他、前日、翌日、
または前日～翌日までの72時間表示を選択できます。

オプション:
 打刻含む……………打刻実績を同時に表示します。
 シフトのみ……………スケジュールのみを表示します。
 パターン名を省略しない…スケジュールパターン名が省略されなくなります。
 出勤順表示……………スケジュールの出勤予定が早い順に並べます。
 従業員の勤務先で表示……選択された所属で勤務した従業員のデータを確認します。

日別スケジュール

表示条件の指定

従業員: 1000 本社 | 1000 正社員

日付: 2016/08/05

表示期間: 当日のみ

オプション: 打刻含む シフトのみ パターン名を省略しない 出勤順表示 従業員の勤務先で表示

表示

2016/08/05(金) < 今日 >

編集 Excel出力

名前	パターン	種	出勤予定	退勤予定	休憩予定時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
1001 勤怠一	通常		09:00	18:00																									
1002 勤怠二	運番		11:00	20:00																									
1003 勤怠三	有休																												
予定合計人数															1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	1.0	1.0				

編集

スケジュールを編集します。

日別スケジュール

スケジュールや打刻実績を視覚的に表します。

スケジュール **勤務実績 (表示条件で「打刻含む」としたとき表示)**

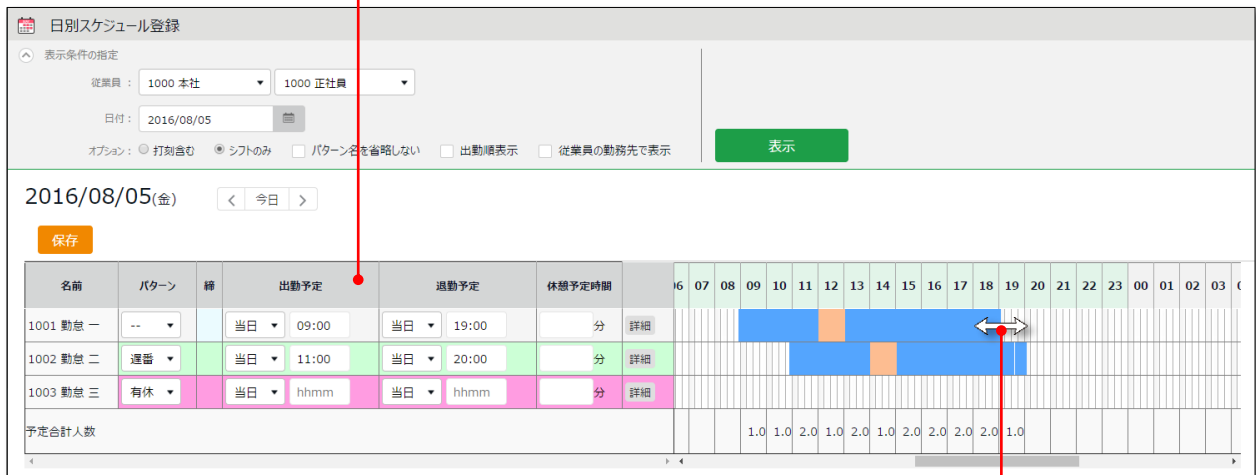
青…勤務予定時間 黒…勤務時間 (打刻実績)

橙…休憩時間 赤…休憩時間 (打刻実績)

また、予定合計人数では、時間帯毎の予定人員数を表示します。

3. [編集] ボタンをクリックすると、日別スケジュール登録画面が表示され、スケジュールを編集することができます。

スケジュールを編集します。
 パターンを選択するか、出退勤予定を入力してください。
 [詳細] ボタンをクリックすると、
 休憩開始/終了予定の入力欄が表示されます。



名前	パターン	種	出勤予定	退勤予定	休憩予定時間	6	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	00	01	02	03
1001 勤怠一	--		当日 09:00	当日 19:00	分 詳細																						
1002 勤怠二	連番		当日 11:00	当日 20:00	分 詳細																						
1003 勤怠三	有休		当日 hhmm	当日 hhmm	分 詳細																						
予定合計人数									1.0	1.0	2.0	1.0	2.0	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0								

ドラッグして予定時刻を変更することもできます。

4. [保存] ボタンのクリックでスケジュールが保存されます。
 前画面に戻るには、画面左上の [< 戻る] ボタンをクリックしてください。

7. 休暇を管理したい

休暇の管理について解説します。

7.1. 休暇を取得する

スケジュール管理画面 (p.99) にて、休暇取得日に「パターン」または「半休種別」を登録してください。

【アクセス方法】全メニュー > スケジュール > スケジュール管理

7.1.1. 全日休暇を取得する

「パターン」欄で、全日休暇パターン（有休、代休など）を割り当ててください。

日数集計										休暇詳細表示
平日	休日	遅刻	早退	有休	代休	欠勤	公休	特別休暇		
20.0	0.0	0	0	1.0 (残 14.0)	0.0 (残 0.0)	0.0	8.0	0.0		

日別データ											
編集	日付	締	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休憩開始	休憩終了	所定	所定外	残業
	06/01 (水)		有休	平日							

7.1.2. 半日休暇を取得する

「半休種別」欄で半休種別（AM 有休、PM 代休など）を登録してください。

半休種別を登録した日のスケジュール欄には、半休名が表示されます。

また、日数集計欄には、休暇取得日数が 0.5 日と表示されます。

日数集計										休暇詳細表示
平日	休日	遅刻	早退	有休	代休	欠勤	公休	特別休暇		
21.0	0.0	0	0	0.5 (残 14.5)	0.0 (残 0.0)	0.0	8.0	0.0		

日別データ											
編集	日付	締	スケジュール	勤務日種別	出勤	退勤	休憩開始	休憩終了	所定	所定外	残業
	06/01 (水)		通常勤務 (AM有休)	平日	P 13:48	P 18:25			4.00	0.37	



未来日に割り当てた休暇はカウントされません（当日以降に集計されます）。

※休暇管理方法が新仕様のお客様は、未来日に割り当てた休暇がカウントされます。

ご注意ください。

7.2. 休暇の取得数や残数を確認する

休暇管理画面では、休暇の取得数や残数などを確認できます。

【アクセス方法】 全メニュー > スケジュール > 休暇管理

7.2.1. 画面の説明

表示条件にて指定された「休暇区分」によって、表示が変わります。

「全ての休暇」を表示したとき

「表示条件の指定」内の「休暇区分」にて「全ての休暇」を選んで表示すると、休暇残数、または休暇取得数が表示されます。

休暇管理

休暇管理 有休付与対象者

表示条件の指定

従業員: 1000 本社 1000 正社員

休暇区分: 全ての休暇

表示件数: 100件

表示

Excel出力

No.	名前	詳細	有休	代休	欠勤	公休	特別休暇
1	1001 勤怠一	詳細	35.0	0.0	0.0	9.0	0.0
2	1002 勤怠二	詳細	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0
3	1003 勤怠三	詳細	8.5	0.0	0.0	10.0	0.0

休暇残数

休暇区分のタイプが「減算」の場合、現在の休暇残数が表示されます。

休暇取得数

休暇区分のタイプが「加算」の場合、本年度の取得合計が表示されます。



減算タイプ、加算タイプとは？

ホーム画面の設定 > スケジュール > 休暇区分設定 > 「休暇取得による休暇数の計算方法」の設定状況を指します (p.42)。

休暇区分を絞り込み表示したとき

「表示条件の指定」にて「休暇区分」を選択して表示してください。

年度内の残数や取得数、失効数を確認できます（加算休暇の場合は取得数のみが表示されます）。

No.	従業員コード	名前	詳細	2017年度開始時点	付与	取得	取得率	失効済み	失効予定	2018年度開始時点
1	1001	勤怠一	詳細	36.0						36.0
2	1002	勤怠二	詳細	20.0	20.0	10.0	50%			30.0
3	1003	勤怠三	詳細	3.0	12.0	2.0	17%		1.0	12.0


休暇データ

休暇の残数や取得計の詳細を確認できます。各項目については下表をご覧ください。

(表示年度)開始時点	表示年度開始時点の残数を表示します。 開始日の付与・取得は含みません。
付与	表示年度内の付与数を表示します。
取得	表示年度内の取得計を表示します。 ※加算タイプ休暇の場合はこの項目のみ表示されます。
取得率	算定期間中の取得率を四捨五入で表示します。 前年度からの繰越分は計算内容に含まれません。
失効済み	期間内に失効した休暇残数を表示します。 期間は表示する年度に従って以下となります。 <ul style="list-style-type: none"> 過去の年度を表示……表示年度内 本年度………年度開始時点～現在まで
失効予定	期間内に執行する予定の残数を表示します。 期間は表示する年度に従って以下となります。 <ul style="list-style-type: none"> 本年度………現在～年度終了時点まで 未来の年度を表示……表示年度内
(次年度)開始時点	次年度開始時点の残数を表示します。開始日の付与・取得は含みません。

7.2.2. 各種操作

休暇管理画面では、以下の操作を行なうことができます。



休暇管理 有休付与対象者

表示条件の指定

従業員： 1000 本社 1000 正社員

休暇区分： 有休

表示期間： 2017 年度

表示件数： 100件

表示

2017/04/01(土) ~ 2018/03/31(土) < 本年度 >

一括編集 Excel出力

No.	従業員コード	名前	詳細	2017年度開始時点	付与	取得	取得率	失効済み	失効予定	2018年度開始時点
1	1001	勤怠一	詳細	36.0						36.0
2	1002	勤怠二	詳細	20.0	20.0	10.0	50%			30.0
3	1003	勤怠三	詳細	3.0	12.0	2.0	17%		1.0	12.0

位置	操作ボタン	機能概要
1	一括編集	複数の従業員に休暇を一括付与します (p.111)。 ※表示条件を指定する際に、「休暇区分」に減算タイプの休暇を選択すると表示されます。
2	Excel出力	休暇管理画面を Excel 形式でダウンロードします。
3	詳細	従業員ごとに、付与日、取得日を確認します。 また、休暇付与を行ないます。詳しくは次頁をご参照ください。

7.3. 従業員ごとに休暇を付与する

従業員ごとの休暇詳細を表示します。

【アクセス方法】 全メニュー > スケジュール > 休暇管理 > 各従業員の [詳細]

7.3.1. 画面の説明

有効残日数（減算タイプ）

現在の残日数と、本日以降の年度内失効予定数を表示します。

年間累計日数（加算タイプ）

年度内の取得数の累計を表示します。

🏠 休暇詳細

本社 / 正社員 / 1001 勤怠 ー

2017年度 2017/04/01(土) ~ 2018/03/31(土)

< 本年度 >

Excel出力

有効残日数（減算タイプ）

	有休	代休
現在の残日数	35.0	0.0
本日以降の年度内失効予定数	19.0	--

年間累計日数（加算タイプ）

	欠勤	公休	特別休暇
2017年度開始から現在までの累計日数	0.0	9.0	0.0

勤怠 ーさんの 休暇支給/取得履歴

- 有休（減算タイプ）有効期間：2年
- 代休（減算タイプ）
- 欠勤（加算タイプ）
- 公休（加算タイプ）
- 特別休暇（加算タイプ）

休暇支給/取得履歴

クリックすると、各休暇の支給・取得履歴を表示します。
また、休暇の付与を行なうことができます。

7.3.2. 休暇を付与する

1. 休暇詳細画面にて、対象となる休暇の詳細を開きます。

2. 「付与日」、「付与日数」を入力して、[保存] をクリックしてください。

休暇の残数や取得数の状況を表示します。

項目	表示内容
(表示年度)合計	表示年度内の休暇付与、休暇取得の日数を、有効期限に関わらず累計して表示します。
取得率	算定期間中の取得率を四捨五入で表示します。 前年度からの繰越分は計算内容に含まれません。
現在の残日数	現在の休暇残日数を表示します。
(表示年度)内失効日数	表示年度内に失効する付与の日数を表示します。「状態」欄に「(表示年度)内で失効」と表示された付与の残数合計となります。
(次年度)開始時点日数	表示している年度の次年度開始時点の残日数を表示します。 次年度へ繰り越される残日数となります。

7.4. 複数の従業員に一括付与する

1. 休暇管理画面の表示条件にて、付与したい休暇区分を選択して表示します。
[一覧編集] ボタンが表示されますのでクリックしてください。
2. 次の画面で「付与増減日数」に数字を入力してください。
表示従業員すべてに同じ付与を行なう場合、最上段に数字を入力した後、
[コピー] ボタンをクリックします。
3. [登録] ボタンをクリックすると付与が完了します。

7.5. 休暇残数を CSV インポートする

エクスポート/インポート画面より休暇残数のインポートが可能です。

【アクセス方法】 全メニュー > その他 > エクスポート/インポート
> 「従業員データ [CSV] 」

休暇付与用のレイアウトを準備する

初めて休暇付与をインポートするときは、[p.34](#) を参考に従業員データ入力用レイアウトを作成してください。休暇付与を行なう場合、「使用区分」は「更新のみ」を選び、入力項目に以下を選択します。

- 従業員コード
- 休暇付与日
- [休暇名] 付与日数

休暇付与データをインポートする

[p.36](#) を参考に、休暇付与をインポートしてください。

7.6. 月々の休暇取得数を確認する

月毎の休暇取得数を一覧表示する場合は、年別データ画面 ([p.84](#)) より操作を行なってください。

【アクセス方法】 全メニュー > 勤務データ > 年別データ

7.7. 自動計算された有休付与を適用する



事前に有給休暇付与設定 (p.43) を行なってください。

付与基準に基づいて有休付与対象者が発生すると、ホーム画面の「対応が必要な処理」に「**① 有休付与対象者**」と表示されます。この項目をクリックすると、有休付与対象者画面が表示されます。
(全メニュー > 休暇管理 > 有休付与対象者 からアクセスできます。)

7.7.1. 操作方法

1. 付与対象者の「付与日数」「有休付与日」を確認します。
「付与日数」には自動算出された数字が表示されますが、個別に編集することもできます。
2. 右側ラジオボタンにて「付与」を選びます。
3. [有休付与] をクリックします。次の画面で [適用] をクリックします。

付与対象者数

有休付与対象者の人数を表示します。

有休付与設定 / 従業員別有休設定

有休付与基準を変更できます。この項目は雇用区分設定、従業員設定からも設定できます。

有休付与対象者
休暇管理 有休付与対象者

表示条件の指定

従業員: 1000 本社 1000 正社員 表示

付与対象者数 / 1人

有休付与対象者

有休付与設定
従業員別有休設定
Excel出力

No.	名前	入社日または前回付与日	付与方法	有休日数 選択方法	週間契約 労働日数	期間内 日数	全労働 日数	勤務 日数	出勤率(%)	付与 日数	有休 付与日	付与日時点の 勤続年数	付与 すべて	棄却 すべて	保留 すべて
1	1001 勤怠 一	2016年07月06日	入社日基準	契約日数	5日	365日	36日	36日	100.0	18日	2017年07月06日	5年6ヶ月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	1002 勤怠 二	2015年10月01日	入社日基準	契約日数	5日	366日	141日	115日	81.6	20日	2016年10月01日	6年0ヶ月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3	1003 勤怠 三	2017年04月01日	入社日基準	契約日数	5日	365日	2日	2日	100.0	20日	2018年04月01日	7年6ヶ月	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

有休付与

有休付与対象者、付与条件、付与のために参照する勤務実績などを表示します。各項目の詳細は次頁をご参照ください。

7.7.2. 項目の説明

有休付与対象者画面の各項目について解説します。

入社年月日 または 前回付与日	<p>初回付与が行なわれるまでは入社年月日、それ以降は前回付与日が表示されます。</p> <p>実際に付与した実績からではなく、付与基準設定と入社年月日から算出された年月日となります。</p>
付与方法	<p>付与基準設定によって選択された付与方法が表示されます。</p> <p>「入社日基準」、「付与日基準」のいずれかとなります。</p>
有休付与日数 選択方法	<p>付与基準設定によって選択された休暇日数選択方法が表示されます。</p> <p>「契約日数」、「労働日数」のいずれかとなります。</p>
週間契約 労働日数	<p>有休付与日数選択方法によって以下の内容を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「契約日数」の場合:設定されている週の契約労働日数を表示します。週間契約労働日数が未設定の場合はセルが黄色く表示されます。 「労働日数」の場合:有給付与基準設定内の「休暇付与のための最小限の勤務日数」を満たしている週の契約労働日数を算出し()付きで表示します。
期間内日数	<p>休暇付与のための基準期間内日数を表示します。</p>
全労働日数	<p>期間内日数のうち、有休付与基準設定で「全労働日」として指定された日数を表示します。</p>
勤務日数	<p>期間内日数のうち、有休付与基準設定で「勤務日」として指定された日数を表示します。</p>
出勤率 (%)	<p>$\text{勤務日数} / \text{全労働日数} = \text{出勤率}$として表示します。</p> <p>有休付与のための最低出勤率(80%)に満たない場合は黄色く表示されます。</p>
付与日数	<p>付与される日数を表示します。0日の場合は薄赤色に表示されます。</p>
有休付与日	<p>有休付与日を表示します。</p>
付与日時点の 勤続年数	<p>入社日から付与日までの勤続年数を表示します。</p>

8. データをエクスポートしたい

データ出力について解説します。

8.1. エクスポートメニューについて

エクスポート/インポート画面では、打刻データや自動集計された勤務データ、登録された従業員データ等を出力できます。

【アクセス方法】 全メニュー > その他 > エクスポート/インポート

初期状態で出力できるデータ

項目名称	機能概要	形式
月別データ	月別または任意の期間（3ヶ月以内）の集計データを出力します。 給与ソフト連携などに利用します。	CSV
日別データ	打刻時刻やスケジュールなど、日々の詳細な勤務データを出力します。	CSV
タイムカード	タイムカードを出力します。	PDF
従業員データ	登録された従業員データを出力します。	CSV
組織別データ	所属及び雇用区分単位で合計した勤務データを、月別または任意の期間（3ヶ月以内）で出力します。	CSV
管理者データ	登録された管理者権限データを出力します。	CSV
年次有給休暇 管理簿データ	従業員の有休休暇データ(付与詳細や取得詳細など)を年度ごとに出力します。	EXCEL

8.1.1. 画面の説明



出カメニュー

データ出力を行ないます。

出カレイアウト作成

月別データ、日別データ、タイムカードの出力を行なうときは、事前にレイアウトを作成します。タイムカード出力には基本レイアウトが準備されていますが、独自にレイアウトを作成することもできます。

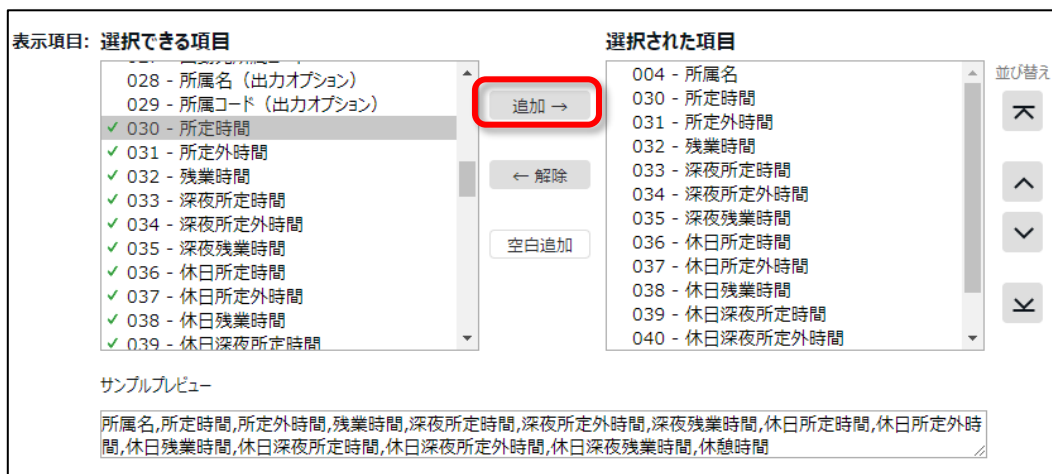
8.2. 出力レイアウトを作成する

どの項目をどのような並び順で出力するのか、出力レイアウトを独自に作成できます。

1. 「月別データ [CSV]」（または「日別データ [CSV]」、「タイムカード [PDF]」）の隣の「出力レイアウト作成」をクリックし、次の画面で「新規作成」ボタンをクリックします。
2. 各項目を入力します。

レイアウト名	任意のレイアウト名を 20 文字以内で入力します。
出力方向	データを出力する方向を設定します。一般的には縦で設定します。 ※月別データ出力のレイアウト登録画面にのみ表示されます。
項目名の出力	所定時間・残業時間といったタイトル行を出力するかどうかを設定します。 項目名を任意に変更したい場合は、「カスタム項目名」欄にカンマ (,) 区切りで項目名を入力します。 ※月別データ出力、日別データ出力のレイアウト登録画面に表示されます。
クオート文字列	データ出力時に各種データをダブルクォート (") で囲むかどうかを設定します。 ※月別データ出力、日別データ出力のレイアウト登録画面に表示されます。
時間表示形式	データ出力時の時間表示形式を設定できます。「10 進数」で出力した場合の小数第 3 位以下の数字は、ホーム画面の設定 > オプション > 「10 進表示の際の小数第 3 位の取扱い」にて設定できます。
捺印名	捺印欄に表示する名称を入力します。 ※タイムカードレイアウトの登録画面にのみ表示されます。

3. 「選択できる項目」にて項目名をクリックした後、「追加 →」ボタンで選択してください。
[空白追加] ボタンのクリックで、空白項目を追加できます。
画面下部にサンプルプレビューが表示されますので、参考にしてください。
4. 項目の選択後、「登録」ボタンをクリックします。



The screenshot shows a configuration window for creating an output layout. It is divided into two main sections: '表示項目: 選択できる項目' (Display Items: Selectable Items) on the left and '選択された項目' (Selected Items) on the right. In the left section, a list of items is shown with checkboxes, and the '追加 →' (Add) button is highlighted with a red box. Below the list are buttons for '← 解除' (Cancel) and '空白追加' (Add Blank). The right section shows the selected items, including '004 - 所属名' through '040 - 休日深夜所定外時間', with a '並び替え' (Sort) button and navigation arrows. At the bottom, a 'サンプルプレビュー' (Sample Preview) section displays a text box containing a list of time-related items: '所属名, 所定時間, 所定外時間, 残業時間, 深夜所定時間, 深夜所定外時間, 深夜残業時間, 休日所定時間, 休日所定外時間, 休日残業時間, 休日深夜所定時間, 休日深夜所定外時間, 休日深夜残業時間, 休憩時間'.

5. レイアウトの一覧画面にて「既定に設定」ボタンをクリックすると、既定レイアウトとして登録されます。既定レイアウトはデータ出力時に初期選択されます。



8.2.1. カスタム項目を作成する

既存の勤怠項目を組み合わせたオリジナル項目を作成し、レイアウトに加えて出力できます（例えば、残業時間と深夜残業時間の合算項目など）。

1. 「月別データ出力 [CSV]」（または「日別データ出力 [CSV]」、「タイムカード出力 [PDF]」）の隣の「出力レイアウト作成」を開き、月別データカスタム項目（または 日別データカスタム項目、タイムカードカスタム項目）をクリックします。



2. 「新規作成」をクリックし、各項目を入力します。

基本情報

カスタム項目名	任意のカスタム項目名を 20 文字以内で入力します。
計算単位	「時間」または「日」のいずれかを選択します。
計算結果	「マイナス値は出力しない」にチェックを入れると、マイナスの値は 0 として出力されます。

固定値を使用する場合

固定値	自由な値を 50 文字以内で入力します。
計算値として 使用	<p>固定値を勤怠項目と合算して計算するかどうかを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しない」に設定した場合には入力した固定値がそのまま出力されます。 「する」に設定した場合には入力した固定値とチェックした勤怠項目が合算されて出力されます。 計算単位が時間の際に「する」に設定した場合には固定値は分単位で入力してください。 「選択項目の合計が 0 分/0 日の場合には 0 を出力」にチェックを行なうと、出力の際に選択勤怠項目の合計値が 0 であれば 0 と出力されます。

3. 追加する項目を選択します。

加算する項目は+を、減算する項目は-をチェックすることによって複数の項目間の加減算が可能です。計算単位（時間・日）が違う項目は同時に登録できません。

追加する項目の選択

休暇残日数項目を追加した場合は、タイムカードにのみ表示されます。

+	-	No.	項目名	計算単位
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1	所定時間	時間
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2	所定外時間	時間
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3	残業時間	時間
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4	深夜所定時間	時間
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5	深夜所定外時間	時間
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6	深夜残業時間	時間

4. [登録] をクリックすると、カスタム項目が作成されます。

5. 作成したカスタム項目は、レイアウト登録時に「選択できる項目」として表示されます。

067 - 公休付与日数 (手動付与)
068 - 特別休暇付与日数 (手動付与)
069 - 有休半休取得回数
070 - 残業計

8.3. エクスポートする

データ出力の手順を解説します。

1. エクスポート/インポート画面内の、「月別データ [CSV]」（または「日別データ [CSV]」、「タイムカード [PDF]」）をクリックします。
2. 出力対象期間、出力レイアウト、対象所属などの出力条件を選択して [データ出力] をクリックします。
3. 出力確認画面が表示されます。出力内容を確認して [データ出力] をクリックすると、データがダウンロードされます。

↑↓ 月別データ出力確認

データ出力したい項目を確かめてください

出力対象雇用区分	正社員
出力対象期間	2017/04/01(土) ~ 2017/04/30(日)
出力対象所属	本社
出力対象従業員数	3名 従業員選択
対象内のエラー勤務数	0件
対象内の未確定申請数	0件
時間の区切り文字	. (ドット) ▼
改行文字	CR+LF(Windows) ▼

データ出力

出力対象従業員数	出力対象者数を表示します。一部の従業員だけを出力したい場合は [従業員選択] から出力対象者を指定できます。
対象内のエラー勤務数	出力対象期間内に存在するエラー勤務数を表示します。エラー勤務が存在しても出力操作自体は可能ですが、正しく集計されていない可能性がありますので、エラー勤務画面よりご確認をお願いいたします。
時間の区切り文字	時間の区切り文字をドット (.) またはコロン (:) から選択します。 ※タイムカード出力には表示されません。
改行文字	改行コードを変更できます。Windows 以外の OS でデータを参照したい場合はご確認ください。 ※タイムカード出力には表示されません。

8.3.1. 出力対象期間について

月単位以外の期間でも出力できます。

出力対象期間を指定する

データ出力画面の「出力対象年月」にて「日付指定」をクリックすると、3ヶ月以内の任意の期間を指定して出力できます。



5年間のデータ出力を行なう

1名ずつであれば、「日別データ [CSV] 」と「タイムカード [PDF] 」を最大5年分まで一括出力できます。

【アクセス方法】全メニュー > その他 > 従業員検索

1. 「姓」または「従業員コード」で対象者を検索します。
2. 対象従業員の [三] (その他) ボタンをクリックするとプルダウンメニューが開くので、「日別データ出力」または「タイムカード出力」をクリックします。



従業員コード	名前	所属	雇用区分	タイムカード	従業員設定	削除	その他
1001	勤怠一	1000 本社	1000 正社員				
1002	勤怠二	1000 本社	1000 正社員				
1003	勤怠三	1000 本社	1000 正社員				
1006	勤怠六	1000 本社	2000 パート・アルバイト				
1007	勤怠七	1000 本社	2000 パート・アルバイト				
1005	勤怠五	3000 名古屋事業所	2000 パート・アルバイト				

3. データ出力画面の「出力対象年月」にて「日付指定」をクリックすると、最大5年間の任意の期間を指定して出力できます。タイムカードの場合、「出力オプション」にて「締め日基準で集計する」にチェックを入れると、月毎にページが分かれるようになります。

9. 勤怠項目の定義

本システムでの、各勤怠項目の名称と定義は以下の通りです。

時間集計

勤務時間は、「勤務日種別」と「雇用区分設定」、そして「打刻」によって定義されます。1日に複数回出退勤を行なっても、同日内であれば1日の集計として合算されます。

勤怠項目	詳細	勤務日種別
所定時間	スケジュール（出退勤予定）で定められた労働時間です。	平日
所定外時間 （所定外労働時間）	出退勤予定時刻を超過した勤務時間が計上されます。ただし、残業開始時間を超過した分は「残業時間」へ、深夜勤務時間に発生した分は「深夜所定外時間」（または「深夜残業時間」）へ計上され、所定外時間からは除外されます。	平日
残業時間	雇用区分設定内の「残業開始時間」にて設定された計上ルールによって計算されます。「8時間を超過した勤務を残業とする」などの設定が一般的です。（変形労働機能を利用することで、週・月単位での残業起算も可能です）	平日
深夜所定時間	雇用区分設定内の「深夜勤務時間」にて設定された計上ルールによって計算されます。「22:00～翌日 5:00」などの設定が一般的です。	平日
深夜所定外時間	深夜の出退勤予定時刻を超過した勤務時間が計上されます。残業開始時間を超過した分は「深夜残業時間」へ計上されます。	平日
深夜残業時間	「残業時間」「深夜時間」両方の条件を同時に満たす労働時間が集計されます。「残業時間」「深夜時間」とは重複しません。	平日
休日所定時間/ 休日深夜所定時間	勤務日種別にて「法定休日」または「法定外休日」を選択した日に発生した勤務時間です。法定休日と法定外休日の勤務時間を合算します。深夜の定義は前述の通りです。	法定休日 + 法定外休日
休日所定外時間/ 休日深夜所定外時間	勤務日種別にて「法定休日」または「法定外休日」を選択した日に発生した所定外時間です。法定休日と法定外休日の所定外時間を合算します。深夜の定義は前述の通りです。	法定休日 + 法定外休日
法定休日所定時間/ 法定休日深夜所定時間	勤務日種別にて「法定休日」を選択した日に発生した勤務時間です。深夜の定義は前述の通りです。データ出力にて確認可能です。	法定休日

法定休日所定外時間/ 法定休日深夜所定外 時間	勤務日種別にて「法定休日」を選択した日に発生した所定外時間です。深夜の定義は前述の通りです。データ出力にて確認可能です。	法定休日
法定外休日所定時間/ 法定外休日深夜所定 時間	勤務日種別にて「法定外休日」を選択した日に発生した勤務時間です。深夜の定義は前述の通りです。データ出力にて確認可能です。	法定外休日
法定外休日所定外時 間/法定外休日深夜所 定外時間	勤務日種別にて「法定外休日」を選択した日に発生した所定外時間です。深夜の定義は前述の通りです。データ出力にて確認可能です。	法定外休日
遅刻時間	出勤予定時刻と、実際の打刻時刻の差異を集計します。	-
早退時間	退勤予定時刻と、実際の打刻時刻の差異を集計します。	-
労働合計時間	勤務時間の合計を表示します。	-
休憩時間	打刻休憩または雇用区分やスケジュールの設定に従って休憩時間を集計し、労働時間から減算します。	-

日数集計

出勤日数は、勤務時間の長短に関わらず 1 日と計上されます。

1 日に複数回出退勤を行なっても、同日内であれば 1 日の出勤として扱われます。

集計項目	詳細	勤務日種別
平日出勤日数	勤務日種別が「平日」となっている日に出勤した日数です。	平日
休日出勤日数	勤務日種別が「法定休日」または「法定外休日」となっている日に出勤した日数です。法定休日と法定外休日の出勤日数を合算します。	法定休日 + 法定外休日
法定休日出勤日数	勤務日種別が「法定休日」となっている日に出勤した日数です。	法定休日
法定外休日出勤日数	勤務日種別が「法定外休日」となっている日に出勤した日数です。	法定外休日
総出勤日数	出勤した日数の合計です。	-



本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。

Copyright© Human Technologies, Inc. All Rights Reserved.

Last Update - 2019/8/6